

令和元年度版

# 水道事業概要

H31. 4. 1~R 2. 3. 31

大東市上下水道局

事業の沿革  
と推移

機構及び  
職制

給水状況

料金調定

給水装置工事  
及び修繕工事状況

財務状況

施設

広報



# 目 次

## I 事業の沿革と推移

1 事業の沿革	1
(1) 第5回拡張事業	2
(2) 管路更新事業	3
(3) 老朽管更新事業	4
(4) IT(情報技術)の活用	5
2 事業の推移	7
3 業務量の概要	25
(1) 業務の推移	25
(2) 市内水道管口径別延長	26
① 導水管口径別延長	26
② 送水管口径別延長	26
③ 配水管口径別延長	27

## II 機構及び職制

1 機構図	29
2 事務分掌	29
3 職員配置表	31
4 年齢別職員構成	31
5 勤続年数別職員構成	32
6 年度別・職種別職員数	32
7 所属別・職種別職員構成	33
8 職員給与費	33
9 電算業務概要	34
(1) 電算処理に伴う業務内容	34
(2) 電算機器構成・明細	35

### Ⅲ 給 水 状 況

1 配 水 区 域 図	37
2 受・配水系統図	39
3 配 水 量	41
(1) 月間配水量の推移	41
(2) 系統別毎月配水量	42
(3) 系統別一日平均配水量	42
(4) 月別一日最大配水量の系統別配水量	44
4 月別電力使用量比較表	44
5 用途別年間使用水量	46
(1) 用途別年間使用水量比較表	46
(2) 用途別・段階別給水量比較表	48
6 大口需要者一覧表	50
7 水 質 検 査 表	51
8 配 水 量 分 析 表	53

### Ⅳ 料 金 調 定

1 料 金 表	55
(1) 水道料金表	55
(2) メーター使用料金、予納金及び加入金表	55
2 水道料金調定収入	56
3 メーター使用料金調定収入	57
4 年度別調定及び料金収納状況表（水道料金+メーター使用料金）	58
5 水道料金調定等件数一覧表	60
6 水道料金等収納種別件数一覧表（納付書等）	62
7 月別検針状況表	64
8 府下各市水道料金比較表	65
9 料 金 変 遷 表	67
(1) 水道料金変遷表	67

(2) 加入金変遷表 .....	69
10 手数料一覧表 .....	70

## V 給水装置工事及び修繕工事状況

1 給水装置工事实績表 .....	71
2 量水器関係工事实績表 .....	71
(1) 開栓・閉栓等 .....	71
(2) 量水器取替 .....	71
3 修繕工事实績表 .....	72
(1) 屋内・外修繕 .....	72
(2) 道路上漏水修繕 .....	73
4 指定給水装置工事事業者 .....	74

## VI 財務状況

1 収益的・資本的収支構成図 .....	75
2 収益的収支 .....	76
3 資本的収支 .....	78
4 貸借対照表 .....	80
(1) 借方 .....	80
(2) 貸方 .....	82
5 企業債償還明細書 .....	84
6 企業債利率別未償還残高 .....	85
7 有形固定資産明細書 .....	86
(1) 有形固定資産明細書 .....	86
(2) 投資 .....	86
8 経営分析 .....	88
(1) 収益分析 .....	88
(2) 費用分析 .....	88

(3) 経 営 分 析 表 .....	90
(4) 業 務 分 析 表 .....	92
9 費 用 構 成 表 .....	94
10 水 道 料 金 原 価 表 .....	96
11 東 部 大 阪 各 市 決 算 比 較 表 .....	98

## VII 施 設

1 施 設 位 置 図 .....	103
2 施 設 概 要 .....	105
(1) 中 央 管 理 セ ン タ ー .....	105
(2) 灰 塚 配 水 場 .....	106
(3) 東 部 配 水 場 .....	107
(4) 東 部 第 二 配 水 場 .....	108
(5) 東 部 第 二 高 区 配 水 場 .....	109
(6) 東 部 第 三 配 水 場 .....	110
(7) 東 部 第 四 配 水 場 .....	111
(8) 東 部 第 五 配 水 場 .....	112
(9) 北 条 ポ ン プ 場 .....	113
(10) 水 質 監 視 モ ニ タ ー .....	114
3 水 源 別 計 画 水 量 表 .....	116
4 管 路 用 地 等 .....	116

## VIII 広 報

1 広 報 だ い と う 掲 載 記 事 .....	117
-----------------------------	-----

# I 事業の沿革と推移

1 事業の沿革

2 事業の推移

3 業務量の概要



# I 事業の沿革と推移

## 1 事業の沿革

拡張事業名 工 期	事業費	給水区域	基 本 計 画			
			給水人口	1 日 最大配水量	1 人 1 日 最大配水量	水 源
創 設 (住道上水 株式会社) 昭和6年7月6日 } 昭和7年5月6日	千円  78	住道村一円  (東六郷村の 一部を含む)	人  6,000	m <sup>3</sup>  1,350	ℓ  225	浅 井 戸
第1回拡張事業  昭和27年7月1日 } 昭和29年3月31日	22,800	住道町一円  (旧盾津町の 一部を含む)	9,800	3,446	352	深 井 戸 大阪府営水道 (昭和26年7月1日 受水開始)
第2回拡張事業 (第2拡張変更) 昭和30年10月1日 } 昭和40年3月31日	318,711	大東市一円と 旧河内市の一部	50,000	14,000	280	深 井 戸 大阪府営水道 大阪市営水道
第3回拡張事業  昭和40年4月1日 } 昭和53年3月31日	1,548,800	大東市内一円 (龍間地区の一部 を除く)と 東大阪市の一部	96,000	43,200	450	深 井 戸 大阪府営水道 大阪市営水道
第4回拡張事業  昭和50年4月1日 } 平成3年3月31日	4,073,700	大東市内一円 (龍間地区の一部 を除く)と 東大阪市の一部	130,000	61,000	469	大阪府営水道 大阪市営水道
第5回拡張事業  平成3年4月1日 }	7,000,000 (認可値 4,500,000)	大東市内一円 (龍間地区の一部 を除く)	133,000 (認可値 141,000)	64,000 (認可値 70,000)	481 (認可値 496)	平成23年度より 大阪広域水道企業団 (認可時) 大阪府営水道 大阪市営水道

## (1) 第5回拡張事業

本事業は、近年における給水人口及び水需要の停滞から、事業の見直しを実施し、計画給水人口133,000人、計画1日最大給水量64,000m<sup>3</sup>で執行しています。

主な事業概要

### ①配水方式の変更

東部配水場からのポンプ加圧方式を、大阪広域水道企業団の受水圧力を利用して揚水（ブースターポンプを設置）し、東部第二配水場からの自然流下方式に改める。

### ②「安定・安全な水」の供給のための施設

配水池貯留時間を現行の8時間から12時間に改める。

耐震対策・赤水対策として、耐震施設の築造、老朽管の布設替えを図る。

給水条件の均等化・水源の相互運用を図るため、配水管の管網整備を図る。

事業執行にあたっては、ランニングコストの削減、災害に強い、環境にやさしい施設造りを目指すものです。

### ・事業概要

第 5 回 拡 張 事 業			
拡 張 事 業 内 容	送水ポンプ場 3ヶ所		配水管 34,591m
	送水管 1,110m		φ800mm× 415m
	φ600mm×400m		φ600mm× 5,450m
	φ400mm×640m		φ500mm× 2,960m
	φ200mm× 70m		φ400mm× 1,430m
			φ300mm× 2,105m
配水池			φ200mm× 881m
	8,000m <sup>3</sup> ×1池		φ150mm×10,996m
	6,000m <sup>3</sup> ×1池		φ100mm×10,354m
		用地買収	2,282m <sup>2</sup>
		用地造成	4,782m <sup>2</sup>
	耐震性緊急貯水槽（100m <sup>3</sup> ）1基		
年 月 日	申請年月日	平成3年1月18日（大東水第2633号）	
	認可年月日	平成3年3月30日（厚生省生衛第325号）	
	工事着手年月日	平成3年4月1日 事業継続中	
事業費	7,000,000,000円		
基本計画	給水人口	133,000人	（※認可値 141,000人）
	1日最大給水量	64,000m <sup>3</sup>	（※認可値 70,000m <sup>3</sup> ）
	一人1日最大給水量	481ℓ	（※認可値 496ℓ）

### ・本年度拡張工事内容

<主たる事業>

- ・大阪生駒線配水管布設工事（H31-1）

（GX形耐震管）φ150mm×103m

## (2) 管路更新事業

厚生労働省では、「水道施設の耐震化の計画的実施について（平成20年4月8日健水発第0408002号）」において、既存の水道施設の耐震化に関し、「災害時に重要な拠点となる病院、診療所、介護や援助が必要な災害時要援護者の避難拠点など、人命の安全確保を図るために給水優先度が特に高いものとして地域防災計画等へ位置づけられている施設へ給水する管路については、優先的に耐震化を進める。」としています。また、新水道ビジョン（平成25年3月厚生労働省策定）においては、重要給水施設配水管路の耐震化を優先して推進することを掲げています。

本市においても、平成30年度から10年計画で大東市地域防災計画で避難所に指定されている8中学校や災害医療協力病院、市役所、消防署などの重要施設へ、災害時においても生活用水を確保するため、配水池から各重要施設への配管ルートを優先的に耐震化しています。

### ・本年度工事内容

令和元年度は、大東中央病院前、仁泉会病院前、東部配水場から北条中学校までの配水管を耐震管に布設替えしました。

#### <事業一覧>

- ・大阪生駒線配水管布設替工事（H31-1）  
GX形耐震管 φ300mm×51m
- ・大阪生駒線配水管布設替工事（H31-2）  
GX形耐震管 φ300mm×173m
- ・大阪生駒線配水管布設替工事（H31-5）  
GX形耐震管 φ150mm×152m
- ・谷川二丁目地内配水管布設替工事（H31-1）  
GX形耐震管 φ300mm×133m
- ・北条寺川線配水管布設替工事（H31-2）  
GX形耐震管 φ200mm×115m
- ・国道170号線配水管布設替工事（H31-1）  
GX形耐震管 φ300mm・200mm×76m
- ・辻南野崎駅前線配水管布設替工事（H31-1）  
GX形耐震管 φ150mm×173m
- ・辻南野崎駅前線配水管布設替工事（H31-2）  
GX形耐震管 φ150mm×104m
- ・北条中学校西側線配水管布設替工事（H31-1）  
GX形耐震管 φ150mm×168m



谷川二丁目地内配水管布設替工事

谷川二丁目地内  
GX形耐震管 φ300mm

北条中学校西側線配水管布設替工事  
(H31-1)

北条二丁目地内  
G X形耐震管  $\phi 150\text{mm}$



### (3) 老朽管更新事業

平成21年度から、ライフライン強化のため老朽管更新事業に本格的に着手しました。本事業につきましては、布設後40年以上経過している配水支管（給水分岐されている配水管）を優先して布設替えを行っています。

#### ・本年度工事内容

令和元年度は、大阪生駒線(昭和39年)・国道170号線(昭和33年)の配水管を耐震管に布設替えしました。

#### <事業一覧>

- ・大阪生駒線配水管布設替工事 (H31-3)  
G X形耐震管  $\phi 150\text{mm} \times 17\text{m}$
- ・国道170号線配水管布設替工事 (H31-1)  
G X形耐震管  $\phi 200\text{mm} \times 112\text{m}$

#### (4) IT（情報技術）の活用

##### ① 水道施設情報システム

平成9年度から水道管管理情報システムの構築を始め、基図・戸番図の作成、各種台帳・図面のファイリングを行い、平成12年10月より運用しています。

また、継続した各種台帳・図面のファイリング及びデータ修正と共に、検針データを定期的に取り組むことにより、変更の多い水道メータ情報も常に最新の状態で管理しています。

これにより、窓口業務での施設情報の表示、検索などに迅速に対応しています。

##### ② 設計・積算支援システム

平成13年4月から設計積算支援システムを導入し、設計図面作成、数量計算、設計書作成の効率化を図っています。

##### ③ 給水装置工事受付システム

平成22年度の電算処理システム変更に伴い、給水装置工事受付システムを平成22年3月末から導入しています。



機 器 構 成	台 数
<b>1. マッピングシステム及びファイリングシステム</b>	
(1) サーバ及びサーバ周辺機器	
①サーバ (Express5800/R120h-1E)	1台
②サーバ (Express5800/R120h-2E)	1台
③バックアップデータカートリッジ	1台
④無停電電源装置	2台
⑤17型ディスプレイ	1台
(2) クライアント及びクライアント周辺機器	
①パソコン	5台
②21.5型ワイドフルHD液晶ディスプレイ	4台
③23.0型フルHD液晶ディスプレイ	1台
<b>2. 設計積算CADシステム</b>	
(1) パソコン	4台
(2) 21.5型ワイドフルHD液晶ディスプレイ	4台

機 器 構 成	台 数
<p>3. 給水装置工事受付システム</p> <p>(1) サーバ及び周辺機器</p> <p>①サーバ (Express5800/R120h-1E)</p> <p>②無停電電源装置</p>	<p>1台</p> <p>1台</p>
<p>4. その他周辺機器及び入出力装置</p> <p>(1) A1サイズ複合プリンタ</p> <p>(2) A1サイズカラープロッタ</p>	<p>1台</p> <p>1台</p>

## 2 事業の推移

年月日	拡張事項	主な事項
(昭和4年度) S 4. 10. 6		・住道上水株式会社設立の件申請
(昭和5年度) S 5. 9. 3  S 6. 3. 2 S 6. 3. 6		・住道上水株式会社設立の件認可（大阪府指令土道第1128号） ・住道上水株式会社設立期限伸張の件申請 ・住道上水株式会社設立期限伸張の件認可（大阪府指令土道第1128号）
(昭和6年度) S 6. 5. 24 S 6. 7. 6 S 6. 7. 20 S 6. 10. 19		・住道上水株式会社設立 ・住道上水株式会社工事着手 ・水道使用規則に関する件申請 ・水道使用規則に関する件認可（大阪府指令土道第1128号）
(昭和7年度) S 7. 5. 5 S 7. 5. 6  S 7. 5. 23   S 7. 5. 24		・通水開始の件申請 ・住道上水株式会社工事完成 ・水道工事出来高の件申請 ・通水開始の件認可（大阪府指令土道第472号） ・水道工事出来高の件認可（大阪府指令土道第474号） ・通水開始
(昭和11年度) S 12. 1. 1		・住道町制の施行
(昭和24年度) S 24. 5. 10 S 24. 6. 13 S 24. 7. 1		・町営移管の件申請 ・町営移管の件認可（大阪府指令土道第591号） ・料金改定実施
(昭和25年度) S 25. 12. 13 S 26. 1. 17	・第1回拡張事業の件申請（住水第123号） ・第1回拡張事業の件認可（大阪府指令土道第1763号）	
(昭和26年度) S 26. 7. 1		・大阪府営水道受水開始
(昭和27年度) S 27. 7. 1	・第1回拡張事業着手	
(昭和28年度) S 28. 4. 1 S 29. 3. 31	・第1回拡張事業完成	・料金改定実施

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
(昭和29年度) S 29. 7. 1 S 30. 1. 1	・第2回拡張事業の件申請(住水第401号)	・料金改定実施
(昭和30年度) S 30. 4. 1 S 30. 5. 27 S 30. 10. 1	・第2回拡張事業の件認可(厚生省阪衛第270号) ・第2回拡張事業着手	・大阪府営水道料金改定(12.50円/㎥)
(昭和31年度) S 31. 4. 1		・大東市制の施行
(昭和33年度) S 33. 7. 1  S 34. 3. 19 S 34. 3. 30	・第2回拡張変更事業の件申請 ・第2回拡張変更事業の件認可(厚生省阪衛第628号)	・城東水道組合が解散し本市と河内市に分轄統合
(昭和34年度) S 34. 4. 1 S 34. 9. 1	・第2回拡張変更事業着手	・料金改定実施
(昭和36年度) S 36. 4. 1		・地方公営企業法の財務規定一部適用
(昭和37年度) S 37. 9. 1		・料金改定実施・予納金制度実施
(昭和39年度) S 39. 11. 27 S 39. 12. 21  S 40. 2. 18 S 40. 3. 31	・第3回拡張事業の件申請 ・第3回拡張事業の件認可(厚生省収環第519号)  ・第2回拡張事業完成	・委託集金制度採用(私人委託)
(昭和40年度) S 40. 4. 1	・第3回拡張事業着手	・地方公営企業法の全部適用(水道局発足) ・大阪府営水道料金改定(16.00円/㎥)
(昭和41年度) S 41. 4. 1 S 42. 3. 31	・東部第二配水場及び加圧ポンプ場竣工(旧.寺川配水場)	・料金改定実施
(昭和42年度) S 42. 6. 1		・郵便局口座振替制度採用 ・ダクタイル鋳鉄管採用



年月日	拡張事項	主な事項
(昭和43年度) S 43. 4. 1 S 43. 8. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主納付制度採用</li> <li>・大阪市営水道分水料金改定(16.00円/㎡)</li> </ul>
(昭和45年度) S 45. 4. 1 S 45. 10. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行口座振替制度採用</li> <li>・委託検針制度採用(法人委託)</li> </ul>
(昭和47年度) S 47. 7. 13  S 47. 9. 17  S 48. 1. 5 S 48. 3. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和47年7月豪雨による浸水(被災者に対する減免措置)</li> <li>・台風20号による浸水(被災者に対する減免措置)</li> <li>・地下水涵養実験開始</li> <li>・大阪市営水道分水料金改定(25.00円/㎡)</li> </ul>
(昭和48年度) S 48. 7. 31  S 48. 8. 15  S 48. 8. 16  S 48. 9. 4  S 48. 9. 5 S 48. 11. 5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖異常湧水により淀川の第1次取水制限始まる(上水道10%、工業用水道15%)</li> <li>・琵琶湖異常湧水により淀川の第2次取水制限始まる(上水道15%、20日から20%、工業用水道25%)</li> <li>・第2次取水制限から第1次取水制限に一時緩和</li> <li>・第2次取水制限(大阪府営水道・大阪市営水道)始まる</li> <li>・第2次取水制限から第1次取水制限に緩和</li> <li>・第1次取水制限解除</li> </ul>
(昭和49年度) S 49. 6.  S 49. 10. S 49. 10. 15 S 49. 11. 1 S 49. 12. 1  S 50. 2. 28  S 50. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水代替導水管布設工事着手</li> <li>・第4回拡張事業の件申請(大東水第115号)</li> <li>・第4回拡張事業の件認可(厚生省環第338号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水涵養実験終了</li> <li>・大阪府営水道料金改定(19.70円/㎡)</li> <li>・加入金制度実施</li> <li>・全井停止</li> <li>・料金改定実施・電算機導入</li> <li>・下水道使用料徴収事務受託</li> </ul>
(昭和50年度) S 50. 4. 1 S 50. 8. 26  S 50. 9. 1 S 50. 10. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回拡張事業着手</li> <li>・地下水揚水休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風6号、8月6～7日豪雨による浸水(被災者に対する減免措置)</li> <li>・大阪市営水道分水料金改定(50.00円/㎡)</li> </ul>

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
(昭和51年度) S 51. 4. 30 S 51. 7. 1  S 51. 7. 2 S 51. 10. 1  S 51. 11. 1 S 52. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府水深野分岐取水開始</li> <li>・中垣内分岐廃止</li> <li>・五軒堀分岐廃止</li> <li>・東部配水場通水開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵便物の料金後納制度利用開始</li> <li>・大阪府営水道料金改定 (29.70円/㎥)</li> <li>・料金改定実施</li> <li>・集金制度廃止</li> </ul>
(昭和52年度) S 52. 4. 1  S 52. 8. 26  S 52. 10. 1 S 52. 11. 10 S 52. 12. 1 S 53. 1. 1 S 53. 1. 7 S 53. 2. 14 S 53. 3. 1 S 53. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部配水池増設工事着手</li> <li>・第3回拡張事業完成</li> <li>・地下水代替導水管布設工事竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全市内納付制度実施</li> <li>・伝票会計方式を採用</li> <li>・琵琶湖異常渇水 (-41cm) により府営水道の給水制限始まる (上水道10%、工業用水道15%)</li> <li>・大阪府営水道料金改定 (43.70円/㎥)</li> <li>・機構改革実施</li> <li>・テープ交換による銀行口座振替制度実施</li> <li>・料金改定実施 (平均改定率20.4%)</li> <li>・第1次取水制限解除</li> <li>・検針カードによる口座振替済通知を実施</li> </ul>
(昭和53年度) S 53. 8. 31 S 53. 9. 1  S 53. 10. 1  S 53. 10. 23 S 54. 2. 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部配水池増設工事竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖異常渇水 (-50cm) により府営水道の給水制限始まる (上水道10%、工業用水道15%)</li> <li>・大阪府営水道料金改定 (48.70円/㎥)</li> <li>・料金改定実施 (平均改定率4.7%)</li> <li>・琵琶湖水位 (-61cm)</li> <li>・取水制限解除</li> </ul>
(昭和54年度) S 54. 4. 1  S 54. 11. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外給水区域 (寝屋川市河北) を寝屋川市へ返還</li> <li>・地域別集中検針実施</li> </ul>

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項							
(昭和55年度) S 55. 6. 2 S 55. 10. 1  S 56. 2. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・龍間地区給水のための送水管布設工事着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RJE稼働開始 (OCR)</li> <li>・オンラインシステム開始 (市情報管理課と水道局)</li> <li>・異常低温による凍結対策(応急措置件数)               <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>2月26日</td> <td>直営</td> <td>887件</td> <td rowspan="2">} 2,906 件</td> </tr> <tr> <td>3月6日</td> <td>業者</td> <td>2,019件</td> </tr> </table> </li> </ul>	2月26日	直営	887件	} 2,906 件	3月6日	業者	2,019件
2月26日	直営	887件	} 2,906 件						
3月6日	業者	2,019件							
(昭和56年度) S 56. 9. 1 S 57. 2. 9  S 57. 3. 18 S 57. 3. 30 S 57. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部第三配水場築造工事</li> <li>・東部第四配水場築造工事</li>  <li>・灰塚配水場管理棟工事</li> <li>・南谷配水池築造工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異形管粉体塗装採用</li>  <li>・水道事業用無線局開局</li>  <li>・地下水揚水用 5、6、7、9、10号井廃止</li> </ul>							
(昭和57年度) S 57. 5. 24  S 57. 6. 1 S 57. 8. 10 S 58. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部第四配水場通水開始</li>  <li>・灰塚配水池4,500m<sup>3</sup>増設工事</li> <li>・東部第五配水場築造工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東市水道通水50周年並びに龍間地区通水記念式典</li> <li>・テープ交換による郵便局口座振替開始</li> <li>・沈澱池、濾過池、気曝槽など除去</li> </ul>							
(昭和58年度) S 58. 4. 19 S 58. 6. 7  S 58. 10. 1  S 58. 11. 1  S 58. 12. 26 S 59. 2. 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部第三配水場直送開始</li>  <li>・灰塚配水場増設工事着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部第五配水場完成並びに野外活動センター通水記念式典</li> <li>・ガスクロマトグラフECD表示付導入 (トリハロメタンの測定開始)</li> <li>・オフコン (システム100/85) 導入</li> <li>・オフコン稼働開始 (下水オンライン) (会計・設計業務)</li>  <li>・異常低温対策本部設置 (凍結による応急措置件数)               <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>2月7日</td> <td>直営</td> <td>500件</td> <td rowspan="2">} 972 件</td> </tr> <tr> <td>～9日</td> <td>業者</td> <td>472件</td> </tr> </table> </li> </ul>	2月7日	直営	500件	} 972 件	～9日	業者	472件
2月7日	直営	500件	} 972 件						
～9日	業者	472件							

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
(昭和59年度) S 59. 5. 30 S 59. 7. 10 S 59. 10. 1  S 59. 10. 8  S 59. 11. 1 S 59. 11. 6  S 59. 12. 2 S 60. 1. 26 S 60. 2. 1 S 60. 3. 1  S 60. 3. 12 S 60. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・灰塚配水場増設工事竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機構改革実施</li> <li>・大阪府営水道料金改定 (57.20円/㎡)</li> <li>・大阪市営水道分水料金改定(55.00円/㎡)</li> <li>・琵琶湖異常渇水 (-55cm) により淀川の第1次取水制限始まる(上水道10%、工業用水道12%)</li> <li>・「大東市渇水対策本部」の設置</li> <li>・琵琶湖異常渇水 (-75cm) により淀川の第2次取水制限始まる(上水道20%、工業用水道22%)</li> <li>・琵琶湖水位-90cm史上第2位</li> <li>・琵琶湖水位-95cm(今期渇水最低水位)</li> <li>・「渇水対策本部」から「水道対策部」に縮小</li> <li>・第2次取水制限から第1次取水制限に緩和</li> <li>・渇水対策の「水道対策部」を解散</li> <li>・取水制限56日ぶりに全面解除</li> <li>・節水活動が本格化した昭和59年11月～昭和60年3月までの5ヶ月間の配水量と前年同期の配水量と対比した場合、7.5%減となった</li> </ul>
(昭和60年度) S 60. 4. 1 S 61. 1. 1 S 61. 3. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部第三配水池600m<sup>3</sup>増設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者制度発足</li> <li>・料金改定実施 (平均改定率10.2%)</li> </ul>
(昭和61年度) S 61. 10. 17  S 61. 11. 28  S 61. 12. 28  S 62. 1. 27  S 62. 2. 10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖異常渇水 (-59cm) により淀川の第1次取水制限始まる (上水道10%、工業用水道12%)</li> <li>・琵琶湖異常渇水 (-81cm) により淀川の第2次取水制限始まる (上水道20%、工業用水道22%)</li> <li>・12月28日から4日間取水制限緩和 (上水道20%から15%)</li> <li>・第2次取水制限から第1次取水制限に緩和</li> <li>・取水制限116日ぶりに全面解除</li> </ul>
(昭和62年度) S 62. 4. 1  S 62. 10. 1  S 62. 11. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水引き込み管の管種を鉛管からHIVPに変更</li> <li>・オフコンの機種変更 (システム3100モデル60)</li> <li>・料金調定収納業務稼働</li> </ul>

年月日	拡張事項	主な事項
(昭和63年度) S 63. 9. 24 S 63. 10. 1	・管末圧力監視装置設置	・水道管漏水調査実施
(平成元年度) H 1. 4. 1  H 2. 1. 1		・消費税法適用（但し本市は未転嫁） ・大阪府営水道料金消費税（外税）導入 ・大阪市営水道分水料金消費税（外税）導入 ・市納金（給水工事費）の予納に関する事務手続変更
(平成2年度) H 2. 4. 1 H 3. 1. 1 H 3. 1. 18 H 3. 3. 30  H 3. 3. 31	・第5回拡張事業の件申請（大東水第2633号） ・第5回拡張事業の件認可（厚生省生衛第325号） ・第4回拡張事業完成 ・南谷配水池廃止	・ハンディターミナルによる計量業務開始 ・給水装置工事許可申請受付業務のOA化
(平成3年度) H 3. 4. 1 H 3. 6. 1 H 3. 7. 16 H 3. 8. 26 H 4. 3.	・第5回拡張事業着手 ・府営水道新灰塚分岐開栓 ・東部第二高区配水場建設用地買収	・給水装置工事許可申請等の様式全面変更 ・4週6休制施行  ・琵琶湖総合開発特別措置法による琵琶湖治水及び水資源開発事業が概成（琵琶湖水位－150cmまで利用可能となる）
(平成4年度) H 4. 4. 1 H 4. 7. 10  H 4. 8. 1 H 4. 12. 28  H 5. 1. 5	・東部第二高区配水場築造工事着手 ・府道・高槻橋本線配水管布設工事その1・2竣工 ・市道・野崎7号線他配水管布設替工事竣工	・検針業務全面委託 ・オフコンの機種変更（システム3100モデルA95）
(平成5年度) H 5. 4. 1  H 5. 6. 1  H 5. 7. 1 H 5. 10. 15  H 5. 12. 1  H 6. 3. 31	・東部第二高区配水幹線布設工事（第1・2工区）竣工    ・東部第二高区配水場築造工事竣工	・大阪府営水道料金改定（74.50円／m <sup>3</sup> ・外税） ・大阪市営水道分水料金改定（74.00円／m <sup>3</sup> ・外税） ・料金改定実施（平均改定率24.7%）  ・水質基準改定・大阪府市町村水道水質共同検査委託実施

年月日	拡張事項	主な事項
(平成6年度) H6.4.1  H6.7.2 H6.8.22  H6.9.3  H6.9.10  H6.10.4 H6.11.14  H7.1.1  H7.1.17 H7.1.18～ 3.10 H7.3.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部第二高区配水場運用開始</li> <li>・ 都市計画道路・諸福中垣内線配水管布設工事竣工</li> <li>・ 府道・八尾枚方線配水管布設工事竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市外給水区域(東大阪市加納)を東大阪市へ返還</li> <li>・ 琵琶湖異常渇水(−94cm)により府営水道第1次取水制限(10%)</li> <li>・ 琵琶湖異常渇水(−103cm)により府営水道第2次取水制限(15%)</li> <li>・ 琵琶湖異常渇水(−116cm)により府営水道第3次取水制限(20%)</li> <li>・ 取水制限全面解除</li> <li>・ 水道料金納入通知書などにプライバシー保護のため三つ折はがき採用</li> <li>・ 阪神淡路大震災</li> <li>・ 阪神淡路大震災被災地(兵庫県西宮市)へ応急給水班・施設復旧班を派遣</li> </ul>
(平成7年度) H8.2.1 H8.3.13  H8.3.15  H8.3.29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御領土地区画整理事業に伴う配水管布設工事竣工</li> <li>・ ループ配水幹線布設工事(第1工区) φ600mm×91m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南廻りループ配水幹線布設工事着手</li> <li>・ SⅡ形・S形耐震管採用</li> <li>・ 東部第三配水場送水ポンプ容量増設(18.5KW/h→45KW/h)</li> </ul>
(平成8年度) H8.5.21 H8.6.26 H8.7.1  H8.7.24 H9.1.22  H9.3.24  H9.3.24  H9.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部配水場内送配水管施設改良工事(管工事)</li> <li>・ 南廻りループ配水幹線配水管布設工事(第2・4～7工区) φ600mm×520m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全対策事業工事着手</li> <li>・ 規制緩和を内容とする水道法の一部改正</li> <li>・ 灰塚配水場内応急給水栓設置(災害対策用)</li> <li>・ 大東市病原性大腸菌O-157対策本部設置</li> <li>・ 異常低温凍結事故対策本部設置            1月22日 直営 323件            ～23日 業者 217件 } 540件</li> <li>・ 大阪府水道震災対策相互応援協定締結</li> </ul>
(平成9年度) H9.4.1    H9.7.9 H9.10.1  H10.3.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道管管理情報システム導入着手</li> <li>・ 南廻りループ配水幹線推進工事(第B工区)他配水管布設工事 φ600mm×277m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三階直圧給水試験的導入取扱要綱を制定、実施</li> <li>・ 三階直圧給水試験的導入指導基準を制定、実施</li> <li>・ 給水引き込み管の管種をHIVPからPPに変更</li> <li>・ 公共工事などに係る入札結果を広報誌に掲載</li> </ul>

年月日	拡張事項	主な事項
(平成10年度) H10. 4. 1  H10. 7. 22 H11. 3. 8  H11. 3. 10  H11. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南廻りループ配水幹線布設工事 (第8～10工区) φ600mm×408m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金改定実施 (消費税転嫁 (外税) による改定 平均改定率1.8%)</li> <li>・加入金について消費税外税化</li> <li>・水道法の一部改正に伴う指定工事業者制度実施</li> <li>・大阪府営水道高度浄水処理水供給開始</li> <li>・オフコン機種変更 (Express5800モデル670AD)</li> <li>・安全対策事業工事完了</li> </ul>
(平成11年度) H11. 4. 1  H11. 5. 10 H11. 6. 30  H11. 8. 5  H12. 2. 15  H12. 2. 20 H12. 2. 29 H12. 3. 15～ 3. 17 H12. 3. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恩智川水管橋架設工事 φ600mm×37m</li> <li>・南廻りループ配水幹線 (第13工区) 布設工事 φ600mm×162m</li> <li>・府水との災害対策管設置 (産大前)</li> <li>・南廻りループ配水幹線推進工事 (第A工区) φ600mm×77m</li> <li>・鍋田川水管橋架設工事 φ600mm×37m</li> <li>・太子田橋架設工事他 φ400mm×90m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストア (ローソン・ファミリーマート)、郵便局での料金収納取扱実施</li> <li>・東部第四・五配水場潜水工法による配水池清掃</li> <li>・大阪市営水道高度浄水処理水の全給水区域通水</li> </ul>
(平成12年度) H12. 7. 10 H12. 9. 9  H12. 9. 18 H12. 10. 1  H12. 12. 1  H13. 2. 4  H13. 2. 11  H13. 2. 23  H13. 3. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道管管理情報システム運用開始</li> <li>・南廻りループ配水幹線推進工事 (第C～D工区) φ600mm×143m</li> <li>・太子田橋梁添架管接合工事他 φ400mm×154m</li> <li>・南廻りループ配水幹線 (第11～12工区及び第14工区) 布設工事 φ600mm×412m</li> <li>・設計積算システム構築業務竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機構改革 (係制の廃止)</li> <li>・琵琶湖異常渇水 (-95cm) により府営水道第1次取水制限 (10%)</li> <li>・取水制限解除 (琵琶湖水位 -50cm)</li> <li>・大阪府営水道料金改定 (88.10円/m<sup>3</sup>・外税)</li> <li>・ホームページの開設 [ようこそ大東の水道へ]</li> </ul>

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
(平成13年度) H13. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金改定実施（平均改定率11.6%）</li> <li>・水道予納金制度廃止</li> <li>・加入金改定実施</li> <li>・灰塚配水場における宿日直業務を全面委託</li> <li>・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の施行による発注の見通し及び入札・契約に係る情報の公表などの実施</li> </ul>
H13. 4. 2	・設計積算システム運用開始	
H13. 7. 1		・四條畷市水道局と相互応援給水協定締結
H13. 9. 7	・南廻りループ配水幹線(第15～16工区) 布設工事 φ 600mm×280m	
H14. 3. 8	・耐震性緊急貯水槽100m <sup>3</sup> ×1基設置	
H14. 3. 18	・老朽管更新事業（市道・三住扇町線他） 竣工 φ 150mm×1,520m	
H14. 3. 31		・企業手当廃止
(平成14年度) H14. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市営水道分水料金改定(H14. 4. 1～84.00円/m<sup>3</sup>・外税)</li> <li>・漏水減免規定の細目の改正</li> <li>・門真市水道局と相互応援給水協定締結</li> <li>・建設工事に係る資材の再資源化などに関する法律の施行による契約事務手続などの変更</li> </ul>
H14. 6. 28		
H14. 7. 15		
H14. 10. 30	・隣接市との相互連絡管工事（門真市）	
H14. 11. 1		・納入通知書などの形式変更 (封書タイプからはがきに)
H14. 12. 2		・寝屋川市水道局と相互応援給水協定締結
H14. 12. 12	・隣接市との相互連絡管工事（寝屋川市）	
H15. 2. 25	・老朽管更新事業（府道・大東四條畷線他） 竣工 φ 150mm×586m φ 200mm×196m	
H15. 3. 20	・御領4丁目地内区域外給水解消工事 φ 150mm×786m	
(平成15年度) H15. 4. 1		・配水場運転管理業務の一部委託化
H15. 6. 25	・南廻りループ配水幹線(第17～18工区) 布設工事 φ 600mm×288m	
H15. 8. 1		・市内転居者の口座振替継続受付開始
H15. 10. 1		・コンビニエンスストア一収納窓口の拡大（2社から18社に）
H15. 11. 1		・検針用ハンディ及びシステム更新 ・「水道ご使用量のお知らせ」様式変更



年月日	拡張事項	主な事項
(平成16年度) H16. 11～ H17. 1 H17. 2. 7 H17. 3. 1 H17. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸福中垣内線配水管布設工事 NS形耐震管 φ150mm×558m</li> <li>・ 老朽管更新事業（旧国道170号線） SⅡ形耐震管 φ200mm×409m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内全域漏水調査の実施</li> <li>・ 東大阪市水道局と相互応援給水協定締結</li> <li>・ 水質検査計画の策定、公表</li> <li>・ NS形耐震管採用</li> </ul>
(平成17年度) H17. 4. 1 H17. 9. 1  H17. 11. 1 H18. 2. 27  H18. 3. 20  H18. 3. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南廻りループ配水幹線（第19-1工区） 布設工事 φ600mm×73m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全戸検針実施（閉栓中メーターを検針）</li> <li>・ 設計積算、管路管理情報システムのハードウェア更新</li> <li>・ 配水場運転管理業務の全面委託</li> <li>・ 納付書等のバーコードをEANコードに変更</li> <li>・ 緊急給水拠点確保事業実施（灰塚配水場内緊急遮断弁設置）</li> </ul>
(平成18年度) H18. 4. 1  H18. 7. 5 H18. 10. 5  H18. 10. 10 H18. 11. 14 H18. 11. 22  H18. 12. 22 H18. 12. 27 H19. 3. 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部第二配水場建設等工事着手</li> <li>・ 隣接市との相互連絡管工事（門真市）</li> <li>・ 南廻りループ配水幹線（第19-2～第22工区・第27工区）布設工事 φ600mm×585m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直結増圧式給水試行要綱の制定施行</li> <li>・ 口座振替データのオンライン伝送開始</li> <li>・ 門真市水道局と相互応援給水協定締結（三箇4丁目）</li> <li>・ 郵便入札制度開始</li> <li>・ 東部第五配水場緊急遮断弁設置</li> <li>・ 東部第二配水区域（自然流下）を東部第二高区配水区域（自然流下）に変更</li> <li>・ 東部第二配水区域（自然流下）を廃止</li> </ul>
(平成19年度) H19. 4. 3  H19. 7. 26  H19. 9. 1  H19. 10. 29 H20. 2. 19 H20. 3. 18 H20. 3. 21 H20. 3. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旧170号線配水管改設工事 NS形耐震管 φ200mm×91.5m</li> <li>・ 諸福中垣内線配水管布設工事 NS形耐震管 φ150mm×484m</li> <li>・ 市道・氷野東西線配水管布設工事 NS形耐震管 φ300mm×239m</li> <li>・ 南廻りループ配水幹線（第25工区・第26工区）布設工事 φ600mm×235m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部第二配水場新管理棟運用開始（旧管理棟及び配水池（1,800m<sup>3</sup>）運用停止）</li> <li>・ AED（自動体外式除細動器）灰塚配水場に設置</li> <li>・ 東部配水場ポンプ室内アスベスト除去工事</li> <li>・ 東部第四配水場 緊急遮断弁設置</li> </ul>

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
(平成20年度)		
H20. 5. 1		・ 給与振込データのオンライン伝送開始
H20. 6. 11		・ 東部第二配水池の運用 配水調整弁 (φ800mm) 運用
H20. 8. 1		・ 東部第二配水場内緊急遮断弁設置
H20. 10. 1		・ 大東市役所玄関ドライ型ミスト装置設置 ・ 灰塚配水場中央管理センター運用開始 (東部第二配水場の新配水池からの運用開始)
H20. 11. 10	・ 灰塚2丁目地内配水管布設工事 NS形耐震管 φ300mm×52m	
H20. 11. 17		・ 第1回指定給水装置工事事業者研修会 (於東大阪市)の実施
H20. 11. 28	・ 大野2丁目配水管布設工事 NS形耐震管 φ150mm×108m	
H20. 12. 8	・ 氷野1丁目地内配水管布設工事 NS形耐震管 φ300mm×128m ・ 扇町地内配水管布設工事 NS形耐震管 φ400mm×96m	
H20. 12. 19	・ 南廻りループ配水幹線布設工事 (第23・24工区) φ600mm×136m	・ 南廻りループ配水幹線布設完了 (総延長3,760m)
H20. 12. 24	・ 諸福中垣内線配水管布設工事 (第9工区・第10工区) NS形耐震管 φ150mm×229m	
H21. 2. 19		・ 第2回指定給水装置工事事業者研修会 (於守口市)の実施
H21. 3. 18	・ 東部第二配水場建設等工事完了	
H21. 3. 20		・ 東部配水場内に大東市消防署東分署 を併設
H21. 3. 23	・ 市道片町線附属街路南側2号線配水管 布設工事 NS形耐震管 φ150mm×75m	
H21. 3. 25		・ 灰塚配水場管理棟耐震補強工事
(平成21年度)		
H21. 4. 1		・ 建物内喫煙禁止 ・ 老朽管更新事業本格的着手 ・ 機構改革 (料金課をお客さまセンター に改称し、工務課の給水グループを吸 収。配水場を工務課と統合し、施設課 に改称。3課1配水場→2課1セン ター) ・ 通勤用車両の敷地内駐車を有料化

年月日	主要工事	主な事項
H21. 5. 11 H21. 9. 1 H21. 10. 1  H21. 12. 1 H21. 12. 15 H22. 1. 21 H22. 3. 20 H22. 3. 25 H22. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府道八尾枚方線配水管布設工事(その7)</li> <li>(老朽管更新事業)</li> <li>・府道大阪生駒線配水管布設替工事 NS形耐震管 φ150mm～φ300mm×39m</li> <li>(老朽管更新事業)</li> <li>・市道灰塚大野南北線配水管布設替工事 NS形耐震管 φ100mm～600mm×285m</li> <li>(老朽管更新事業)</li> <li>・市道灰塚大野東西線配水管布設替工事 NS形耐震管 φ100mm～300mm×347m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休息时间（12:45～13:00）を廃止</li> <li>・ 大阪市営水道分水料金改定 （70円/m<sup>3</sup>・税抜）</li> <li>・ 滞納整理業務全面委託</li> <li>・ 東部大阪水道協議会水道災害時相互 応援協定締結（東水協会員9市）</li> <li>・ 給水工事受付システム構築</li> <li>・ 全石綿管布設替完了</li> </ul>
(平成22年度) H22. 4. 1  H22. 10. 1 H22. 10. 4 H22. 11. 2 H23. 1. 20 H23. 3. H23. 3. 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>(老朽管更新事業)</li> <li>・ 市道太子田萱島線配水管布設替工事 NS形耐震管 φ300mm×698m</li> <li>(老朽管更新事業)</li> <li>・ 府道大阪生駒線配水管布設替工事 NS形耐震管 φ300mm×222m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新公営企業会計システム稼働</li> <li>・ 大阪府営水道分水料金改定 （78円/m<sup>3</sup>・税抜）</li> <li>・ 新料金システム稼働</li> <li>・ 給水工事受付システム稼働</li> <li>・ 料金改定実施（平均改定率－4.7%）</li> <li>・ 大阪広域水道企業団の設立許可 （構成団体：37市町村）</li> <li>・ 大阪広域水道企業団の構成団体の追加 及び規約の変更許可 （構成団体：37→42市町村）</li> <li>・ アセットマネジメントの導入</li> <li>・ 東日本大震災発生、岩手県陸前高田市 に給水応援を派遣</li> </ul>
(平成23年度) H23. 4. 1  H23. 9. 5 H23. 10. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>(老朽管更新事業)</li> <li>・ 市道太子田萱島線配水管布設替工事 NS形耐震管 φ300mm×239m</li> <li>(老朽管更新事業)</li> <li>・ 市道新田中央線配水管布設替工事 NS形耐震管 φ200mm×207m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大東市水道局直結増圧式給水実施要綱 制定施行</li> <li>・ 直結増圧式給水設計施工指針制定</li> <li>・ 大阪広域水道震災対策相互応援協定締 結（大阪市を除く府域42市町村の水道 事業者及び泉北水道企業団、大阪広域 水道企業団、大阪府）</li> <li>・ 灰塚配水場管理棟別館築造</li> </ul>

年月日	主要工事	主な事項
H23. 12. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・口座振替日の変更（14日→16日）</li> <li>・残高不足による振替不能の全件を対象に再振替を実施</li> </ul>
H23. 12. 19	(老朽管更新事業) ・市道北条寺川線配水管布設替工事 NS形耐震管 φ200mm×367m (老朽管更新事業)	
H24. 2. 17	・市道大野灰塚線配水管布設替工事 NS形耐震管 φ150mm×240m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定給水装置工事事業者研修会                (府統一型ブロック別開催、於守口市の実施)</li> </ul>
(平成24年度) H24. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道部の創設               <ul style="list-style-type: none"> <li>○水道局                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道部 (局の内部組織)                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課</li> <li>・お客さまセンター</li> <li>・施設課</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○市長部局                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道部 (水道局との重複組織)                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道課 (街づくり部から移管水道局敷地内に移転。)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
H24. 8. 1	(老朽管更新事業) ・北条寺川線配水管布設替工事 (H24-1) NS形耐震管 φ200mm×91m (老朽管更新事業)	
H25. 1. 21	・氷野太子田線配水管布設替工事 (H24-1～2) NS形耐震管 φ300mm×445m (老朽管更新事業)	
H25. 1. 23	・大阪生駒線配水管布設替工事 (H24-1) NS形耐震管 φ300mm×146m	
H25. 3. 21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・加圧式小型給水車(容量1.8t) 1台配備</li> </ul>
H25. 3. 31		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質監視モニター設備設置                (東部第二配水系中間)</li> </ul>
(平成25年度) H25. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東市水道料金等徴収業務委託                (H25. 4. 1～28. 3. 31) 検針・開閉栓・滞納整理に窓口を加えた包括委託</li> <li>・大阪広域水道企業団給水料金改定                (75円/m<sup>3</sup>・税抜き)</li> </ul>
H25. 9. 26	・灰塚配水場ポンプ室築造等工事着手 (老朽管更新事業)	
H25. 10. 23	・新田2号線配水管布設替工事 (H25-1～2) NS形耐震管 φ150mm×481m (老朽管更新事業)	
H25. 10. 25	・三年坂会所橋線配管布設替工事 (H25-1～2) NS形耐震管 φ150mm×613m	

年月日	主要工事	主な事項
H26. 3. 4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・四條畷市上下水道局と相互応援給水協定締結</li> </ul>
H26. 3. 17	(老朽管更新事業) ・太子田萱島線配水管布設替工事 (H25-1) N S形耐震管 φ300mm×241m	
H26. 3. 31		
(平成26年度) H26. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新会計制度適用</li> <li>・消費税率改定(5%→8%)</li> <li>・指定給水装置工事事業者研修会 (府統一型ブロック別開催、於枚方市の実施)</li> </ul>
H26. 7. 16		
H26. 10. 23	(老朽管更新事業) ・深野南寺方大阪線配水管布設替工事 (H26-1~2) N S形耐震管 φ200mm×525m	
H26. 11. 4	(老朽管更新事業) ・国道170号線配水管布設替工事 (H26-1~2) N S形耐震管 φ200mm×555m	
H27. 2. 20	(老朽管更新事業) ・扇町地内配水管布設替工事 (H26-1) N S形耐震管 φ150mm×315m	
H27. 3. 16	(老朽管更新事業) ・新田2号線配水管布設替工事 (H26-1) N S形耐震管 φ150mm×170m	
H27. 3. 27 H27. 3. 31	・灰塚配水場ポンプ室築造等工事完了	
(平成27年度) H27. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道局の創設 総務課 お客さまセンター 水道施設課 下水道施設課</li> <li>・GX形ダクタイル鋳鉄管採用</li> </ul>
H27. 8. 6	(老朽管更新事業) ・諸福中垣内線配水管布設替工事 (H27-1) GX形耐震管 φ200mm×308m	
H27. 9. 10	(老朽管更新事業) ・鴻池新田停車場線配水管布設替工事 (H27-1~2) GX形耐震管 φ200mm×96m φ150mm×60m	
H27. 11. 25	(老朽管更新事業) ・野崎駅前線配水管布設替工事 (H27-1) GX形耐震管 φ150mm×370m	
H28. 3. 6		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質監視モニター設備設置 東部第二配水系末端・大阪市水系末端</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質監視モニター設備設置 東部受水系・東部第四配水系末端</li> </ul>

年月日	主要工事	主な事項
(平成28年度) H28. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東市上下水道局お客さまセンターに係る包括業務委託 (H28. 4. 1～H31. 3. 31)</li> <li>・配水池屋上防水改修工事 (東部第五配水場)</li> </ul>
H28. 7. 15		
H28. 8. 1	(老朽管更新事業) ・住道中垣内線配水管布設替工事 (H28-1) GX形耐震管 φ300mm×200m	
H28. 9. 21	(老朽管更新事業) ・八尾枚方線配水管布設替工事 (H28-1) GX形耐震管 φ150mm×150m	
H28. 12. 8	(老朽管更新事業) ・大阪生駒線配水管布設替工事 (H28-1) GX形耐震管 φ300mm×135m	
H29. 1. 27		
H29. 2. 3	(老朽管更新事業) ・太子田萱島線配水管布設替工事 (H28-1) GX形耐震管 φ200mm×215m	
H29. 3. 28		
H29. 3. 28		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4500m<sup>3</sup>配水池流動壁修繕工事 (灰塚配水場)</li> <li>・配水場送水ポンプ取替工事 東部第二配水場、東部第二高区配水場</li> <li>・水質監視モニター設備設置 東部第二高区南部系末端</li> </ul>
(平成29年度) H29. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子入札導入</li> <li>・配水池屋上防水改修工事 (東部第四配水場)</li> </ul>
H29. 5. 31		
H29. 9. 6	(老朽管更新事業) ・太子田福島線配水管布設替工事 (H29-1) GX形耐震管 φ150mm×230m	
H29. 10. 6	(老朽管更新事業) ・国道170号線配水管布設替工事 (H29-1) GX形耐震管 φ300mm×158m	
H29. 10. 23	(老朽管更新事業) ・大東四條畷線配水管布設替工事 (H29-1) GX形耐震管 φ150mm×122m	
H29. 12. 12	(老朽管更新事業) ・諸福中垣内線配水管布設替工事 (H29-1～2) GX形耐震管 φ200mm×435m	
H30. 3. 22	・津の辺町地内配水管布設工事 (H29-1) HPP E形耐震管 φ100・150mm×112m	
H30. 3. 30		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>(HPP E管試験採用)</li> <li>・水質監視モニター設備設置 灰塚系受水</li> </ul>

年月日	主要工事	主な事項
(平成30年度) H30. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪広域水道企業団料金改定 (72円/㎡・税抜き)</li> <li>・H P P E管本格採用 (φ150mmまで)</li> <li>・北条ポンプ場完成 (試験運用開始)</li> <li>・大阪北部地震発生</li> <li>・大阪北部地震に伴う高槻市断水地区への給水応援を派遣</li> </ul>
H30. 5. 31		
H30. 6. 18		
H30. 6. 20		
H30. 7. 2	(管路更新事業) ・末広線配水管布設替工事 (H30-1) G X形耐震管 φ75mm～φ300mm×160m	
H30. 8. 27	(管路更新事業) ・八尾枚方線配水管布設替工事 (H30-5) G X形耐震管 φ150mm・φ300mm×106m	
H30. 9. 26	(管路更新事業) ・八尾枚方線配水管布設替工事 (H30-3) G X形耐震管 φ150mm・φ300mm×122m	
H30. 10. 17	(管路更新事業) ・八尾枚方線配水管布設替工事 (H30-1) G X形耐震管 φ200mm・φ300mm×147m	
H30. 11. 8	(第5回拡張事業) ・大阪生駒線配水管布設工事 (H30-1) G X形耐震管 φ150mm×110m	
H31. 3. 25	(管路更新事業) ・灰塚配水場内配水管布設替工事 (H30-1) G X形耐震管 φ300mm×31m N S形耐震管 φ600mm×39m	
H31. 3. 29		・水質監視モニター設備設置 灰塚系末端・東部第二高区北部系末端
(令和元年度) H31. 4. 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ決済アプリ「PayB」による自主納付開始</li> <li>・大東市上下水道局お客さまセンターに係る包括業務委託 (H31. 4. 1～R6. 3. 31)</li> <li>・大東市水道事業経営戦略の策定</li> <li>・灰塚配水場内にメーター倉庫南棟新設</li> <li>・水道法の一部改正に伴う指定給水装置工事事業者更新制度実施</li> <li>・消費税率改定 (8%→10%)</li> </ul>
H31. 4. 30		
R 1. 9. 30		
R 1. 10. 1		
R 1. 12. 23	(管路更新事業) ・大阪生駒線配水管布設替工事 (H31-2) G X形耐震管 φ300mm×173m	

年 月 日	主 要 工 事	主 な 事 項
R 1 . 12 . 27	(管路更新事業) ・ 国道170号線他配水管布設替工事 (H 3 1 - 1) G X形耐震管 φ 300mm・ φ 300mm×76m	
R 2 . 1 . 10	(管路更新事業) ・ 谷川二丁目地内配水管布設替工事 (H 3 1 - 1) G X形耐震管 φ 300mm×133m	
R 2 . 2 . 19	(管路更新事業) ・ 大阪生駒線配水管布設替工事 (H 3 1 - 5) G X形耐震管 φ 150mm×168m	
R 2 . 3 . 19		・ 北条ポンプ場 運用開始 ・ 灰塚配水場2000m <sup>3</sup> 配水池取り毀し撤去 工事
R 2 . 3 . 31		



### 3 業務量の概要

#### (1) 業務の推移

項目	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
行政区域内人口 (人)	120,138	120,537	121,337	122,227	123,268
行政区域内世帯数 (戸)	57,103	56,519	56,236	55,899	55,811
給水人口 (人)	120,390	120,791	121,591	122,484	123,527
給水戸数 (戸)	57,236	56,651	56,367	56,031	55,943
普及率 (%)	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	13,166,336 (100%)	13,815,045 (100%)	13,671,513 (100%)	13,731,322 (100%)	13,848,909 (100%)
企業団水道 (m <sup>3</sup> )	12,982,156 (98.6%)	13,636,850 (98.7%)	13,575,501 (99.3%)	13,612,108 (99.1%)	13,686,195 (98.8%)
大阪市水 (m <sup>3</sup> )	184,180 (1.4%)	178,195 (1.3%)	96,012 (0.7%)	119,214 (0.9%)	162,714 (1.2%)
自己水 (m <sup>3</sup> )	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
一日最大配水量 (m <sup>3</sup> )	39,260 (8月26日)	41,657 (7月18日)	40,684 (7月3日)	42,027 (7月5日)	41,842 (7月14日)
一日最小配水量 (m <sup>3</sup> )	31,462 (1月1日)	33,936 (1月1日)	32,997 (1月1日)	32,639 (1月1日)	32,877 (1月1日)
一日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	35,974	37,849	37,456	37,620	37,839
一人一日最大配水量 (ℓ)	326	343	333	341	338
一人一日最小配水量 (ℓ)	261	281	271	266	266
一人一日平均配水量 (ℓ)	299	313	308	307	306
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	12,748,491	12,849,241	12,967,276	13,112,613	13,188,024
有収率 (%)	(96.8%)	(93.0%)	(94.8%)	(95.5%)	(95.2%)
年間無収水量 (m <sup>3</sup> )	317,589	532,109	517,378	519,343	522,958
年間無効水量 (m <sup>3</sup> )	100,256	433,695	186,859	99,366	137,927
配水管延長 (m)	255,782	255,084	254,910	254,481	254,072
公設消火栓 (基)	2,007	2,007	2,013	2,008	2,006
仕切弁 (基)	4,717	4,686	4,674	4,691	4,633
空気弁 (基)	136	136	136	136	135
供給単価 (円)	158.71	159.47	158.85	159.62	159.83
給水原価 (円)	163.53	156.45	154.01	152.58	152.93
職員数 (管理者含む) (人)	24	23	22	23	26

## (2) 市内水道管口径別延長

### ① 導水管口径別延長

(単位：m)

年度 口径(mm)	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
φ 350以下	51	51	58	58	58
400	676	676	676	676	676
450	14	14	14	14	14
500	0	0	0	0	0
600	1,021	1,021	1,021	1,021	1,021
合 計	1,762	1,762	1,769	1,769	1,769

### ② 送水管口径別延長

(単位：m)

年度 口径(mm)	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
φ 150以下	1,454	1,454	1,454	1,454	1,454
200	1,522	1,522	1,522	1,522	1,522
300	16	16	16	301	16
350	25	25	25	25	25
400	482	482	482	482	482
450	0	0	0	0	0
600	477	477	477	477	477
700	22	22	22	22	22
合 計	3,998	3,998	3,998	4,283	3,998

③ 配水管口径別延長（管種別）

（単位：m）

口径 (mm)	年度 管種	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
φ75	D I P	5,966	5,928	5,958	6,027	6,031
	C I P	17	17	18	18	18
	G P	110	143	148	148	148
	H P P E	380	79	26		
	H I V P	35,127	35,047	34,619	34,657	34,247
φ100	D I P	34,091	34,204	34,232	34,195	34,180
	C I P	43	43	64	104	364
	G P	68	68	68	68	69
	H P P E	281	145	145		
	H I V P	345	345	353	353	353
φ150	D I P	108,512	108,245	108,200	107,811	107,415
	C I P	301	318	334	707	1,195
	H P P E	47	0	0		
	G P	166	166	166	166	168
φ200	D I P	25,360	25,311	25,297	24,679	24,033
	C I P	79	130	0	152	304
	G P	221	209	209	209	209
φ250	D I P	2,541	2,899	3,053	3,052	3,119
	C I P	2	0	163	420	857
	G P	48	58	58	74	74
φ300	D I P	19,706	19,350	19,309	18,762	18,729
	C I P	1,062	1,062	1,062	1,161	1,135
	G P	484	493	493	493	493
φ350	D I P	1,103	1,103	1,201	1,201	1,200
	G P	26	26	26	26	26
φ400	D I P	1,778	1,777	1,784	1,784	1,776
	G P	8	8	8	8	8
φ500	D I P	1,708	1,708	1,707	1,707	1,707
	C I P	506	506	506	506	506
	G P	96	96	96	96	96
φ600	D I P	9,167	9,167	9,167	9,172	9,172
	G P	155	155	155	155	155
φ700	D I P	75	75	75	75	75
φ800	D I P	424	424	424	424	424
φ2600	D I P	19	19	19	19	19
合 計		250,022	249,324	249,143	248,429	248,305

※DIP:ダクタイル鋳鉄管 CIP:鋳鉄管 GP:鋼管 HVP:ビニール管 HPPE:水道配水用ポリエチレン管



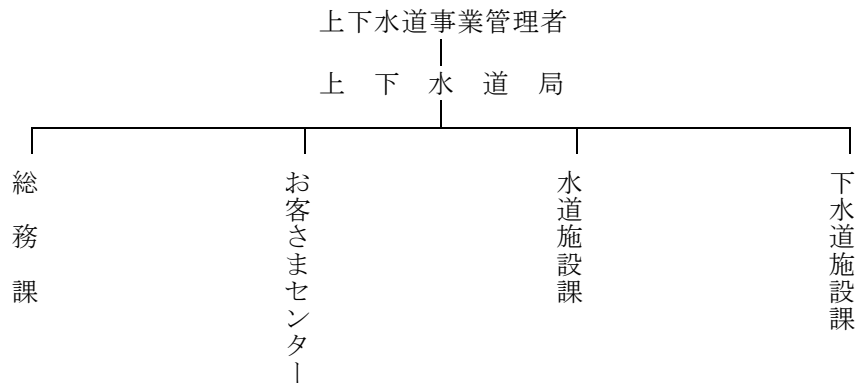
## Ⅱ 機構及び職制

- 1 機 構 図
- 2 事 務 分 掌
- 3 職 員 配 置 表
- 4 年 齢 別 職 員 構 成
- 5 勤 続 年 数 別 職 員 構 成
- 6 年 度 別 ・ 職 種 別 職 員 数
- 7 所 属 別 ・ 職 種 別 職 員 構 成
- 8 職 員 給 与 費
- 9 電 算 業 務 概 要

## II 機構及び職制

### 1 機構 図

(平成27年4月1日施行)



### 2 事務分掌

総務課においては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 水道事業及び下水道事業の基本計画の策定及び総合調整に関すること。
- (2) 文書及び公印に関すること。
- (3) 職員の任免、給与、勤務時間その他の勤務条件、懲戒、研修及びその他の身分取扱に関すること。
- (4) 労務管理に関すること。
- (5) 庁舎管理に関すること。
- (6) 指定給水装置工事事業者の指定並びに排水設備工事に係る指定工事店の決定に関すること。
- (7) 予算編成及び予算執行の調整に関すること。
- (8) 決算に関すること。
- (9) 財政計画及び資金計画に関すること。
- (10) 主要事業の進行管理に関すること。
- (11) 資産の取得、管理及び処分に関すること。
- (12) 契約及び用度に関すること。
- (13) 公債及び一時借入金に関すること。
- (14) 出納その他経理事務に関すること。
- (15) 電子計算機業務の運営管理及び調整に関すること。
- (16) 流域下水道協議会に関すること。
- (17) 課の所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (18) 他の課等の主管に属さないこと。
- (19) 局の庶務に関すること。
- (20) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

お客さまセンターにおいては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 水道料金、メーター使用料金、下水道使用料、戸別浄化槽施設使用料等の徴収及び還付に関すること。
- (2) 上下水道使用に関する諸届の受付に関すること。

- (3) 使用水量の計量及び用途の認定に関すること。
- (4) 開栓及び閉栓に関すること。
- (5) メーターの管理に関すること。
- (6) その他計量に関すること。
- (7) 水洗便所改造資金の助成及び融資のあっ旋に関すること。
- (8) 受益者負担金及び戸別浄化槽設置分担金の賦課及び徴収に関すること。
- (9) 汚水排出量の認定に関すること。
- (10) センターの所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (11) センターの庶務に関すること。
- (12) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

水道施設課においては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 水道施設の整備計画に関すること。
- (2) 技術上の重要事項の調査、研究及び調整に関すること。
- (3) 水道施設の改良に関すること。
- (4) 給水の緊急停止及び給水制限に関すること。
- (5) 応急給水に関すること。
- (6) 配水管設備の受託工事に関すること。
- (7) 配水管設備の受託工事に係る負担金の徴収及び還付に関すること。
- (8) マッピングシステムの運用管理に関すること。
- (9) 配水管設備の維持管理に関すること。
- (10) 給水装置の維持修繕に関すること。
- (11) その他維持修繕に関すること。
- (12) 受水及び配水に関すること。
- (13) 配水場の運転操作及び維持管理に関すること。
- (14) 配水場の衛生上の措置に関すること。
- (15) 水質管理に関すること。
- (16) 給水装置の基準に関すること。
- (17) 給水装置工事の申込みの受付に関すること。
- (18) 給水装置工事の設計審査及び施工に関すること。
- (19) 給水装置工事に係る加入金、手数料等及び修繕工事費の徴収及び還付に関すること。
- (20) その他給水装置に関すること。
- (21) 課の所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (22) 課の庶務に関すること。
- (23) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

下水道施設課においては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 下水道施設の整備及び維持管理に関すること。
- (2) 下水道施設の整備計画に関すること。
- (3) 下水道の供用開始に係る工事に関すること。
- (4) 下水道に流入する水質の規制に関すること。
- (5) 除外施設及び特定施設に関すること。

- (6) 開発行為に係る指導及び下水道の協議に関すること。
- (7) 排水設備工事の確認申請に関すること。
- (8) 市設置型合併浄化槽の整備及び維持管理に関すること。
- (9) 課の所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (10) 課の庶務に関すること。
- (11) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

### 3 職員配置表

(単位：人)

所 属	職 名	事務職員	技術職員	任期付職員	再任用職員	計
管 理 者	1	0	0	0	0	1
局 長	0	0	0	0	0	0
総 括 次 長	0	0	0	0	0	0
総 務 課	0	5	0	0	0	5
お客さまセンター	0	4	0	0	2	6
水道施設課	0	3	10	1	2	16
合 計	1	12	10	1	4	28

(非常勤職員、臨時職員、下水道会計職員を除く)

### 4 年齢別職員構成

(単位：人)

年 齢	職 種	事務職員	技術職員	任期付職員	再任用職員	計
20 歳以下		0	0	0	0	0
21 歳～25 歳		1	1	0	0	2
26 歳～30 歳		0	0	0	0	0
31 歳～35 歳		3	0	0	0	3
36 歳～40 歳		3	1	0	0	4
41 歳～45 歳		2	6	0	0	8
46 歳～50 歳		1	1	0	0	2
51 歳～55 歳		1	1	0	0	2
56 歳～60 歳		1	0	0	0	1
61 歳以上		0	0	1	4	5
合 計		12	10	1	4	27
平均年齢		40 歳 7 月	41 歳 11 月	62 歳 0 月	63 歳 9 月	45 歳 4 月

(管理者、非常勤職員、臨時職員、下水道会計職員を除く)



## 5 勤続年数別職員構成

(単位：人・%)

職  
機  
構  
及  
制  
び

勤続年数	事務職員		技術職員		任期付職員		再任用職員		計	
	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率
～5年未満	1	8.3	2	20.0	1	100.0	0	0.0	4	14.9
5年以上～10年未満	2	16.7	1	10.0	0	0.0	0	0.0	3	11.1
10年以上～15年未満	3	25.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	11.1
15年以上～20年未満	1	8.3	1	10.0	0	0.0	0	0.0	2	7.4
20年以上～25年未満	2	16.7	5	50.0	0	0.0	0	0.0	7	25.9
25年以上～30年未満	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.7
30年以上～35年未満	1	8.3	1	10.0	0	0.0	0	0.0	2	7.4
35年以上～40年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	1	3.7
40年以上～45年未満	1	8.3	0	0.0	0	0.0	1	25.0	2	7.4
45年以上～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	2	7.4
合 計	12	100.0	10	100.0	1	100.0	4	100.0	27	100.0
職員1人当り 平均勤続年数	17年 10月		17年 7月		3年 0月		42年 9月		20年 8月	
平均年齢	40歳 7月		41歳 11月		62歳 0月		63歳 9月		45歳 4月	

(管理者、非常勤職員、臨時職員、下水道会計職員を除く)

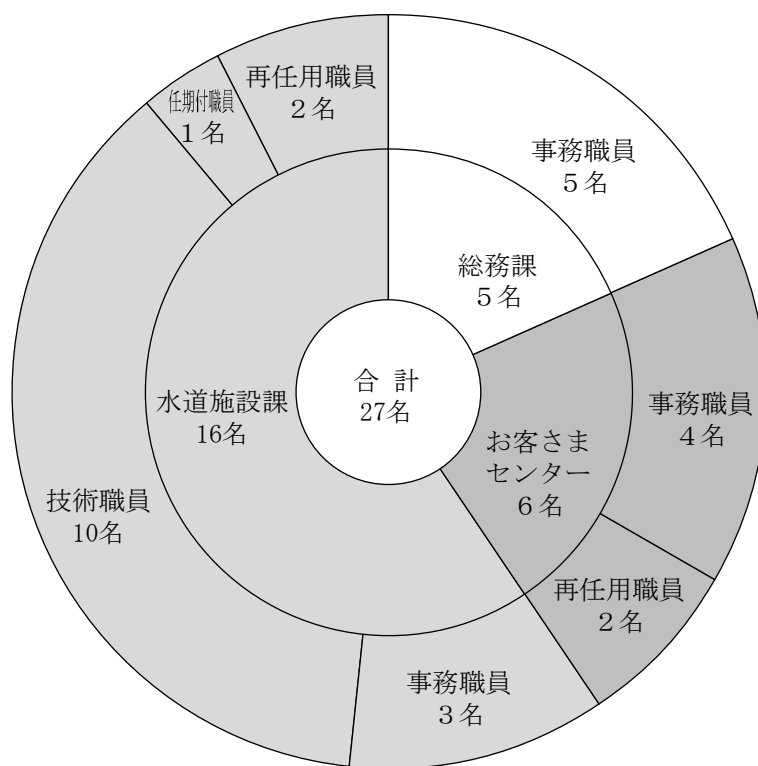
## 6 年度別・職種別職員数

(単位：人)

年 度	事務職員	技術職員	任期付職員	再任用職員	計
R元年度	12	10	1	4	27
H30年度	13	8	1	3	25
H29年度	12	9	1	4	26
H28年度	11	11	1	4	27
H27年度	13	11	0	6	30

(管理者、非常勤職員、臨時職員、下水道会計職員を除く)

## 7 所属別・職種別職員構成



\*課に属さない者（管理者・局長・総括次長）を除く

## 8 職員給与費

(単位：千円)

年度		R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
科目						
	基本給	118,647	111,486	109,541	110,140	121,725
	手当	41,427	42,649	38,467	38,993	47,623
内訳	時間外勤務	4,919	5,330	3,378	2,352	7,025
	特殊勤務	104	183	100	157	120
	期末勤勉	31,195	29,063	27,795	26,737	30,506
	その他	5,209	8,073	7,194	9,747	9,972
	法定福利費	33,927	31,737	32,170	32,689	34,651
	賞与引当金繰入額	16,307	15,165	14,364	14,492	14,992
	退職給付金	15,621	15,930	14,202	11,716	4,939
	計	225,929	216,967	208,744	208,030	223,930

(資本勘定職員を含む)

## 9 電算業務概要

### (1) 電算処理に伴う業務内容

窓口業務の円滑化、事務作業の効率化を図るため、昭和49年12月に電算機処理を導入、以下の業務開発を行った。(当初、プログラム作成は職員により開発 平成22年4月システム開発業者に全面委託)

#### [料金調定システム]

処理業務名	処 理 内 容
料金調定収納	・ 検針、料金調定、納付書、調定集計など、料金全般の処理 (昭和49年12月開発 平成22年4月帳票様式変更)
	・ パンチャー依存処理の廃止、職員による即時入力処理の採用 (昭和62年11月全面変更)
	・ 検針カードの廃止、ハンディーターミナル機器による検針業務の採用 (平成2年4月開発 平成22年4月システム変更)
	・ 水道料金納入通知書等に三つ折りはがきを採用(プライバシー保護) (平成7年1月帳票様式変更)
	・ 水道料金納入通知書等のバーコードをEANコードに変更 (平成18年3月変更)
	・ スマートデバイス及びモバイルプリンタによる検針業務の採用 (令和元年10月変更)
検定満期取替	計量法に基づくメーターの定期取替に伴う処理 (昭和51年4月開発 平成22年4月システム全面変更)

#### [給水装置工事受付システム]

給水窓口受付	工事許可証等の打出及び加入金、手数料の調定処理 (平成3年1月開発 平成8年4月全面変更 平成22年4月システム全面変更)
--------	------------------------------------------------------------------

#### [公営企業会計システム]

固定資産管理	資産の適正管理と減価償却、資産台帳打出等の処理 (昭和56年4月開発 昭和60年4月全面変更 平成22年4月システム全面変更)
財務会計	予算編成、試算表、精算表、給水原価表等会計全般の処理 (昭和58年11月開発 平成22年4月システム全面変更)
入札・契約	入札・契約関係様式の打出、統計資料作成などの処理 (昭和63年7月開発 平成2年5月変更 平成22年4月システム全面変更)
企業債償還台帳作成	企業債の借入・償還の管理並びに年次別償還台帳打出などの処理 (昭和59年1月開発 平成2年11月全面変更 平成22年4月全面変更)

#### [給与計算システム]

給与計算	職員の給与、賞与、差額、年末調整、福利厚生などの処理 (市長部局へ電算機処理委託)
------	----------------------------------------------

## (2) 電算機器構成・明細

[料金調定システム]

職  
制  
機  
構  
及  
び

	機器種別	機器構成	容量・台数	
電 算 室	[ホストマシン] NEC Express 5800 /R320c-E4	17型LCDコンソールユニット	1台	
		無停電電源装置 1500VA	2台	
	[バックアップサーバ]	BUFFALO RAID対応NAS “TeraStation WSS”	1台	
お 客 さ ま セ ン タ ー	[周 辺 装 置]	端 末 機	Mate MKM30/B-4 (デスクトップ型)	11台
			VersaPro VKT16/X-4 (ノート型)	4台
		プ リ ン タ ー	MultiWriter8700	4台
			MultiWriter5500	2台
			MultiWriter9300C	1台
			MultiWriter4700	1台
			LL4000 (ページプリンタ)	1台
			OCR読取装置 (N6376-501A)	1台
		スマートデバイス (FZ-X1)	15台	
モバイルプリンタ (SM-T300i2)	15台			
水 道 施 設	[周 辺 装 置]	端 末 機	Mate MKM30/B-4 (デスクトップ型)	1台
		プ リ ン タ ー	MultiWriter8700	1台
市 窓 口	[周 辺 装 置]	プ リ ン タ ー	MultiWriter8700	1台

[公営企業会計システム]

	機器種別	機器構成	容量・台数	
電 算 室	[ホストマシン] PRIMERGY TX2540M1	主記憶装置		
		磁気ディスク 500GB・HDD	3台	
		無停電電源装置 Smart-UPS SNT 1500J	1台	
総 務	[周 辺 装 置]	端 末 機	FMVD12004	2台
		プ リ ン タ ー	LP-S3250Z	2台



### Ⅲ 給 水 状 況

- 1 配 水 区 域 図
- 2 受 ・ 配 水 系 統 図
- 3 配 水 量
- 4 月別電力使用量比較表
- 5 用途別年間使用水量
- 6 大口需要者一覽表
- 7 水 質 檢 査 表
- 8 配 水 量 分 析 表

### Ⅲ 給 水 状 況

#### 1 配 水 区 域 図



大阪広域水道企業団深野分岐配水区域



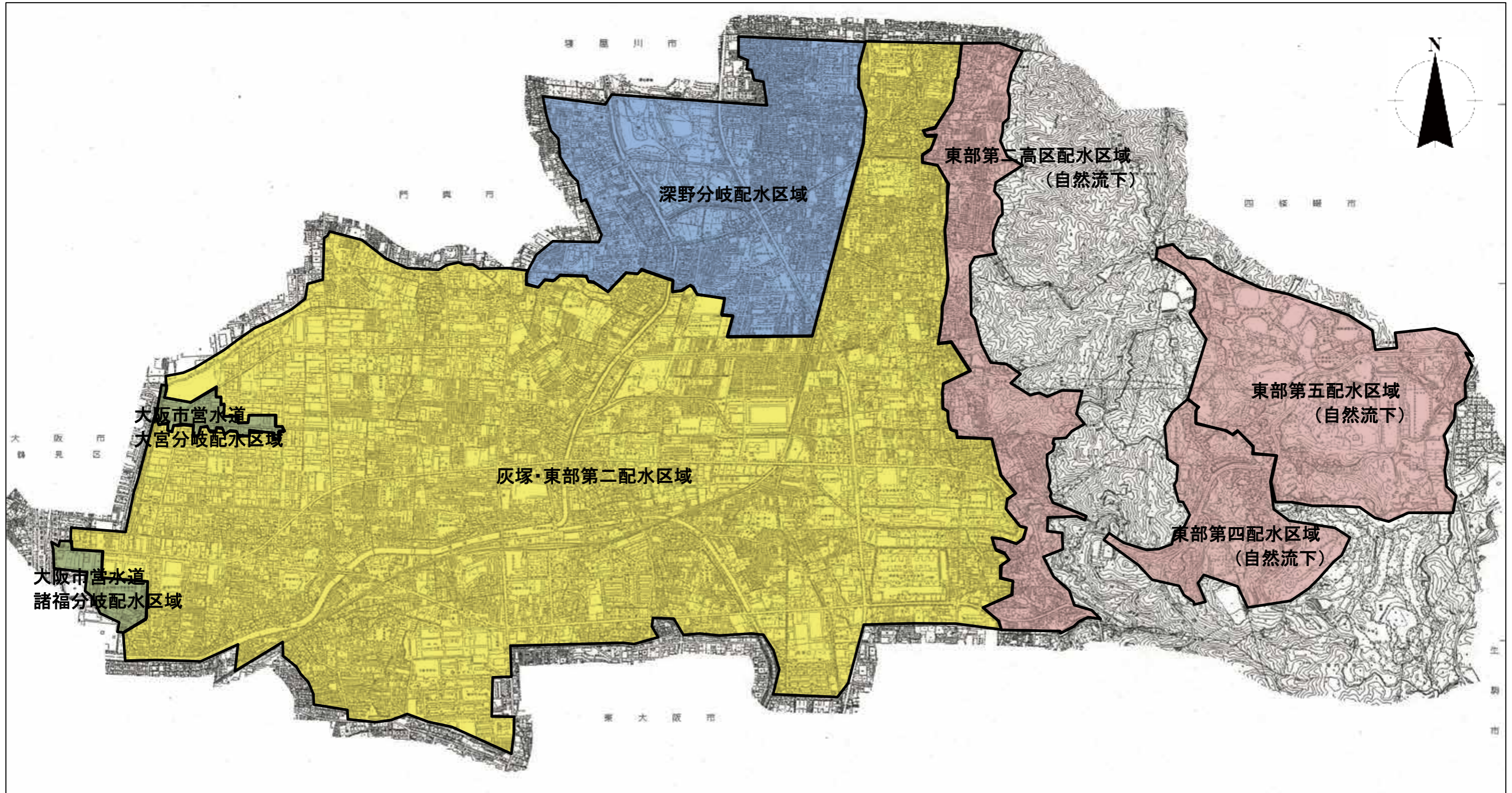
灰塚・東部第二配水区域



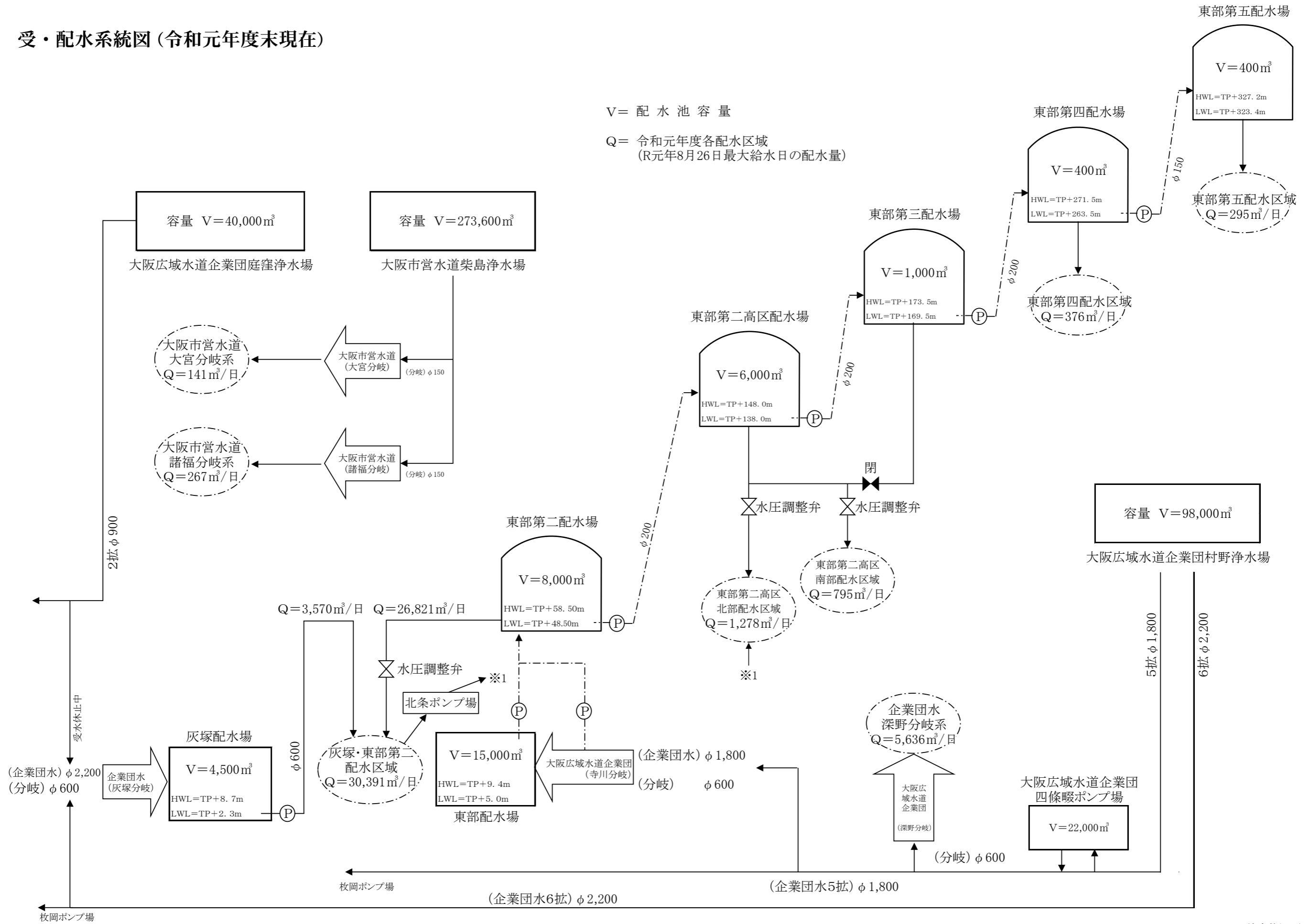
東部高区系配水区域(自然流下)



大阪市営水道配水区域



## 2 受・配水系統図 (令和元年度末現在)

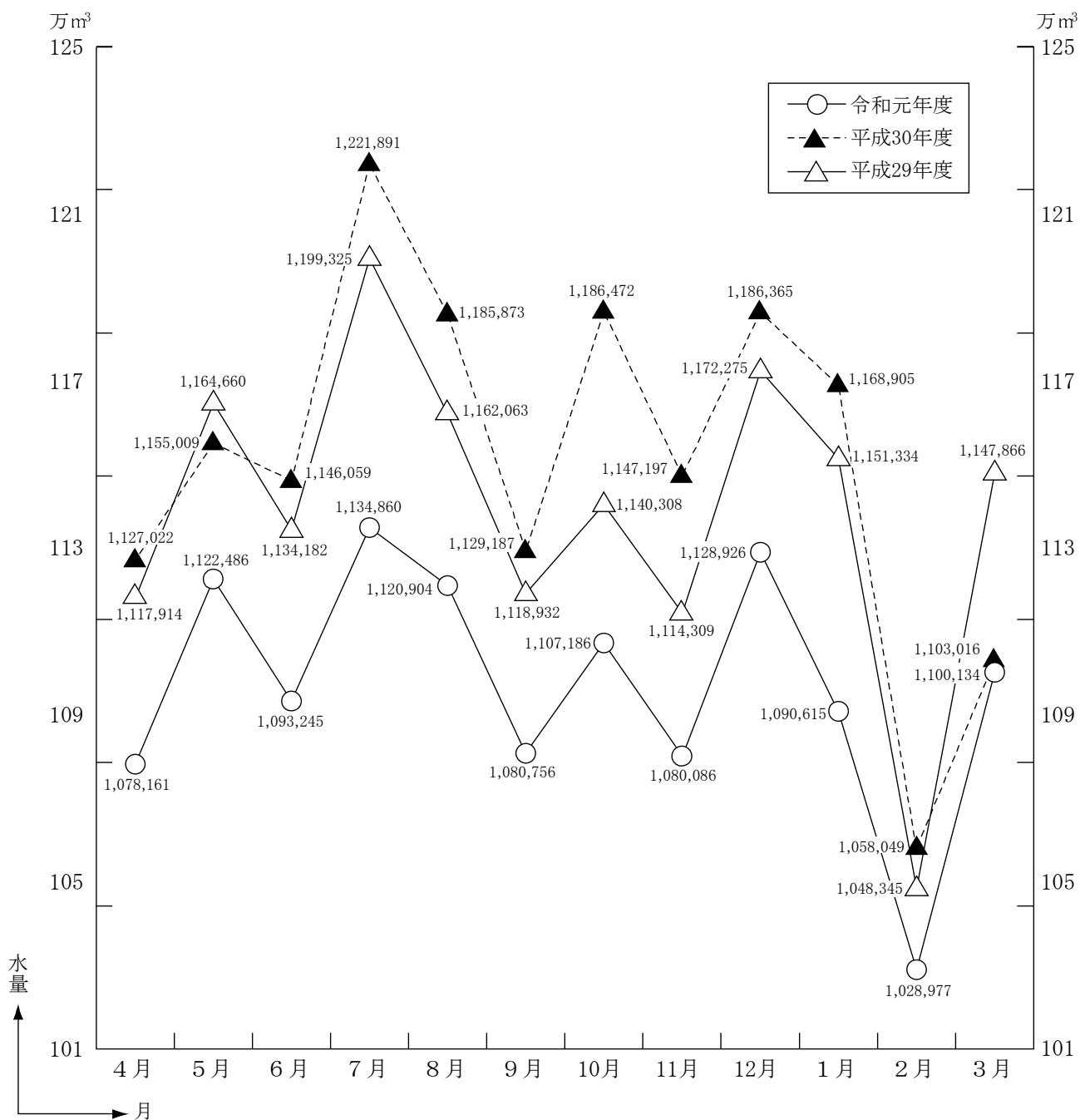


V= 配水池容量  
 Q= 令和元年度各配水区域  
 (R元年8月26日最大給水日の配水量)



### 3 配水量

#### (1) 月間配水量の推移



給水状況

(単位：m³)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和元年度	1,078,161	1,122,486	1,093,245	1,134,860	1,120,904	1,080,756	1,107,186	1,080,086	1,128,926	1,090,615	1,028,977	1,100,134
平成30年度	1,127,022	1,155,009	1,146,059	1,221,891	1,185,873	1,129,187	1,186,472	1,147,197	1,186,365	1,168,905	1,058,049	1,103,016
平成29年度	1,117,914	1,164,660	1,134,182	1,199,325	1,162,063	1,118,932	1,140,308	1,114,309	1,172,275	1,151,334	1,048,345	1,147,866

## (2) 系統別毎月配水量

区分 月	大阪広域水道企業団水				
	東部第二	高区北部系	高区南部系	東部第四	東部第五
H31年4月	761,409	28,396	23,755	10,933	7,420
R元年5月	786,124	29,843	25,231	11,396	8,876
6月	769,628	28,759	24,000	10,630	7,920
7月	799,222	30,645	24,593	11,044	7,816
8月	791,152	31,704	24,097	11,145	8,954
9月	753,721	30,418	23,368	10,633	7,796
10月	777,500	28,537	25,207	11,157	7,110
11月	760,252	27,627	23,891	11,113	6,470
12月	794,095	28,536	25,295	12,265	6,769
2年1月	773,884	26,774	25,155	12,095	6,475
2月	728,449	24,258	22,163	10,259	6,334
3月	782,045	25,636	23,464	10,021	6,494
計	9,277,481	341,133	290,219	132,691	88,434
前年度	9,989,423	333,713	285,393	151,160	84,839
増減	△ 711,942	7,420	4,826	△ 18,469	3,595

## (3) 系統別一日平均配水量

区分 月	大阪広域水道企業団水				
	東部第二	高区北部系	高区南部系	東部第四	東部第五
H31年4月	25,380	947	792	364	247
R元年5月	25,359	963	814	368	286
6月	25,654	959	800	354	264
7月	25,781	989	793	356	252
8月	25,521	1,023	777	360	289
9月	25,124	1,014	779	354	260
10月	25,081	921	813	360	229
11月	25,342	921	796	370	216
12月	25,616	921	816	396	218
2年1月	24,964	864	811	390	209
2月	25,119	836	764	354	218
3月	25,227	827	757	323	209
平均	25,347	932	792	362	241
前年度	27,369	914	781	413	232
増減	△ 2,022	18	11	△ 51	9

(単位：m<sup>3</sup>)

			大 阪 市 営 水 道 ( 浄 水 )	合 計
灰 塚	深 野	計		
79,990	151,838	1,063,741	14,420	1,078,161
87,210	159,379	1,108,059	14,427	1,122,486
84,220	152,594	1,077,751	15,494	1,093,245
87,920	156,945	1,118,185	16,675	1,134,860
80,920	156,904	1,104,876	16,028	1,120,904
86,880	151,819	1,064,635	16,121	1,080,756
86,110	155,674	1,091,295	15,891	1,107,186
83,340	152,812	1,065,505	14,581	1,080,086
85,670	159,701	1,112,331	16,595	1,128,926
75,460	155,906	1,075,749	14,866	1,090,615
76,850	147,003	1,015,316	13,661	1,028,977
79,200	157,853	1,084,713	15,421	1,100,134
993,770	1,858,428	12,982,156	184,180	13,166,336
879,040	1,913,282	13,636,850	178,195	13,815,045
114,730	△ 54,854	△ 654,694	5,985	△ 648,709

(単位：m<sup>3</sup>)

			大 阪 市 営 水 道 ( 浄 水 )	合 計
灰 塚	深 野	計		
2,666	5,061	35,458	481	35,939
2,813	5,141	35,744	465	36,209
2,807	5,086	35,925	351	36,442
2,836	5,063	36,070	381	36,608
2,610	5,061	35,641	517	36,158
2,896	5,061	35,488	537	36,025
2,778	5,022	35,203	513	35,716
2,778	5,094	35,517	486	36,003
2,764	5,152	35,882	535	36,417
2,434	5,029	34,702	480	35,181
2,650	5,069	35,011	471	35,482
2,555	5,092	34,991	497	35,488
2,715	5,077	35,469	476	35,974
2,409	5,240	37,361	465	37,849
306	△ 163	△ 1,892	11	△ 1,875

#### (4) 月別一日最大配水量の系統別配水量

区分 月	大阪広域水道企業団水				
	東部第二	高区北部系	高区南部系	東部第四	東部第五
H31年4月	26,480	990	839	468	255
R元年5月	26,140	1,003	825	403	258
6月	27,126	997	805	394	311
7月	26,623	1,021	834	378	290
8月	26,821	1,278	795	376	295
9月	26,153	1,057	806	395	283
10月	26,539	941	848	347	237
11月	25,545	943	799	356	206
12月	26,120	994	969	470	155
2年1月	25,913	874	854	422	227
2月	25,609	858	764	323	236
3月	25,846	841	752	359	206
年間最大	27,126	1,278	969	470	311
前年度	31,420	1,068	880	535	291
増減	△ 4,294	210	89	△ 65	20

#### 4 月別電力使用量比較表

区分 月	灰塚配水場	東部配水場	東部第二配水場	東部第二高区配水場	東部第三配水場	東部第四配水場
H31年4月	14,870	98,930	30,470	3,919	10,772	2,932
R元年5月	16,170	104,280	30,600	4,311	12,072	3,554
6月	15,890	103,720	28,260	4,031	11,062	3,233
7月	16,990	110,090	29,650	4,137	11,240	3,206
8月	16,280	106,240	31,030	4,389	12,007	3,635
9月	16,810	100,380	29,510	4,023	11,033	3,195
10月	16,020	104,530	29,410	4,016	10,937	2,962
11月	15,460	100,560	27,940	3,747	10,515	2,630
12月	15,900	102,520	29,680	4,199	11,287	2,734
2年1月	14,430	95,780	29,300	4,212	11,145	2,620
2月	14,350	89,300	26,570	3,810	10,020	2,567
3月	14,910	95,880	27,780	3,806	9,917	2,618
計	188,080	1,212,210	350,200	48,600	132,007	35,886
前年度	172,410	1,353,890	375,530	49,804	139,023	34,930
増減	15,670	△ 141,680	△ 25,330	△ 1,204	△ 7,016	956

(単位：m<sup>3</sup>)

灰 塚	深 野	計	大 阪 市 水 ( 浄 水 )	合 計	最大配水日
3,200	5,336	37,568	486	38,054	22日
3,370	5,299	37,298	475	37,773	13日
3,200	5,259	38,092	502	38,594	6日
3,620	5,281	38,047	516	38,563	8日
3,570	5,636	38,771	489	39,260	26日(年間最大日)
3,300	5,237	37,231	613	37,844	2日
2,950	5,301	37,163	503	37,666	16日
3,550	5,204	36,603	479	37,082	6日
3,170	5,994	37,872	519	38,391	31日
2,990	5,195	36,475	446	36,921	9日
3,350	5,163	36,303	494	36,797	19日
2,960	5,226	36,190	538	36,728	9日
3,620	5,994	38,771	613	39,260	
3,890	6,158	41,120	595	41,657	7月18日
△ 270	△ 164	△ 2,349	18	△ 2,397	

(単位：kWh)

東 部 第 五 配 水 場	北 条 ポ ン プ 場	水 質 監 視 モ ニ タ ー	合 計	配水量1m <sup>3</sup> 当り使用電力量	
				総 合	直送をのぞく
435	433	356	163,117	0.151	0.179
345	2,067	395	173,794	0.155	0.183
321	2,641	364	169,522	0.155	0.183
345	2,558	381	178,597	0.157	0.186
360	2,300	400	176,641	0.158	0.186
335	2,131	380	167,797	0.155	0.184
344	2,004	399	170,622	0.154	0.182
453	2,111	371	163,787	0.152	0.179
583	2,459	446	169,808	0.150	0.178
598	2,640	473	161,198	0.148	0.175
536	1,843	452	149,448	0.145	0.172
510	1,855	423	157,699	0.143	0.170
5,165	25,042	4,840	2,002,030	0.152	0.180
5,124	3,751	3,722	2,138,184	0.155	0.182
41	21,291	1,118	△ 136,154	△ 0.003	△ 0.002

## 5 用途別年間使用水量

(1) 用途別年間使用水量比較表（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

用途		一般用（家庭用）		事業用		官公署・学校・
		使用量	%	使用量	%	使用量
令和 元	水量	10,817,460	84.88	1,172,339	9.20	716,073
	件数	54,340	98.54	400	0.73	286
平成 30	水量	10,867,127	84.61	1,168,081	9.09	761,559
	件数	54,117	98.47	403	0.73	303
29	水量	11,007,068	84.92	1,138,769	8.78	753,023
	件数	54,007	98.54	396	0.72	304
28	水量	11,103,447	84.68	1,184,398	9.03	766,030
	件数	53,956	98.52	398	0.73	304
27	水量	11,160,662	84.63	1,188,346	9.01	777,960
	件数	53,875	98.52	395	0.72	303
26	水量	11,255,795	84.45	1,225,173	9.19	792,274
	件数	53,752	98.55	398	0.73	299
25	水量	11,473,352	84.61	1,218,458	8.99	800,283
	件数	53,550	98.52	399	0.73	298
24	水量	11,596,920	84.74	1,240,323	9.06	782,305
	件数	53,692	98.56	404	0.74	290
23	水量	11,761,518	84.40	1,313,423	9.42	793,533
	件数	53,670	98.55	400	0.73	288
22	水量	11,972,891	83.62	1,436,231	10.03	833,229
	件数	54,364	98.63	398	0.72	252
21	水量	11,931,491	83.18	1,556,515	10.85	767,274
	件数	54,155	98.61	419	0.76	249
20	水量	12,039,471	82.66	1,650,013	11.33	775,931
	件数	53,881	98.57	411	0.75	243
19	水量	12,228,234	82.33	1,730,630	11.65	787,974
	件数	53,285	98.51	412	0.76	247
18	水量	12,307,892	82.18	1,804,799	12.05	752,186
	件数	52,864	98.55	406	0.76	243
17	水量	12,384,117	81.73	1,817,064	11.99	823,953
	件数	52,670	98.60	407	0.76	236
16	水量	12,376,640	81.58	1,816,748	11.97	836,313
	件数	51,823	98.53	393	0.75	228
15	水量	12,408,004	81.70	1,798,945	11.85	810,401
	件数	51,039	98.47	392	0.76	242
14	水量	12,530,830	81.51	1,850,444	12.04	808,925
	件数	50,647	98.48	394	0.77	238
13	水量	12,691,016	80.66	1,982,311	12.60	873,918
	件数	49,685	98.33	402	0.80	288

(単位：m<sup>3</sup>・戸)

病院用	公衆浴場用		臨時用		合計		年度
	%	使用量	%	使用量	%	使用量	
5.62	26,291	0.21	11,480	0.09	12,743,643	100	令和元
0.52	3	0.01	113	0.2	55,142		
5.93	31,599	0.25	15,631	0.12	12,843,997	100	30
0.55	3	0.01	131	0.24	54,957		
5.81	39,180	0.30	25,188	0.19	12,963,228	100	29
0.55	4	0.01	99	0.18	54,810		
5.84	45,301	0.35	13,437	0.10	13,112,613	100	28
0.56	6	0.01	100	0.18	54,764		
5.90	46,456	0.35	14,600	0.11	13,188,024	100	27
0.55	6	0.01	112	0.20	54,691		
5.94	46,938	0.35	9,720	0.07	13,329,900	100	26
0.55	6	0.01	89	0.16	54,544		
5.90	50,071	0.37	17,145	0.13	13,559,309	100	25
0.55	6	0.01	105	0.19	54,358		
5.72	53,920	0.39	12,726	0.09	13,686,194	100	24
0.53	6	0.01	85	0.16	54,477		
5.69	52,682	0.38	14,819	0.11	13,935,975	100	23
0.53	6	0.01	96	0.18	54,460		
5.82	64,005	0.45	10,844	0.08	14,317,200	100	22
0.46	8	0.01	99	0.18	55,121		
5.35	68,971	0.48	20,378	0.14	14,344,629	100	21
0.45	8	0.01	95	0.17	54,926		
5.33	70,352	0.48	29,637	0.20	14,565,404	100	20
0.44	9	0.02	119	0.22	54,663		
5.31	80,602	0.54	25,449	0.17	14,852,889	100	19
0.46	10	0.02	137	0.25	54,091		
5.02	81,676	0.55	29,783	0.20	14,976,336	100	18
0.45	10	0.02	120	0.22	53,643		
5.44	87,415	0.58	38,999	0.26	15,151,548	100	17
0.44	10	0.02	97	0.18	53,420		
5.51	92,106	0.61	49,593	0.33	15,171,400	100	16
0.43	11	0.02	140	0.27	52,595		
5.34	99,200	0.65	69,293	0.46	15,185,843	100	15
0.47	11	0.02	143	0.28	51,827		
5.26	120,491	0.78	63,457	0.41	15,374,147	100	14
0.46	13	0.03	136	0.26	51,428		
5.56	137,837	0.88	46,410	0.30	15,731,492	100	13
0.57	14	0.03	137	0.27	50,526		

(2) 用途別・段階別給水量比較表 (平成31年4月～令和2年3月)

1か月の使用水量		0～5	6～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～100
家事 用	戸数	133,697	138,819	250,900	128,637	40,594	10,882	5,392
	比率(%)	18.8	19.6	35.3	18.1	5.7	1.5	0.8
	使用水量(m <sup>3</sup> )	302,160	1,076,662	3,855,568	3,135,593	1,387,142	481,220	335,276
	比率(%)	2.8	10.0	35.6	29.0	12.8	4.4	3.1
	水道料金(円)	121,918,727	135,718,301	450,266,295	431,596,552	221,385,688	85,487,994	68,368,389
	比率(%)	7.7	8.6	28.4	27.2	14.0	5.4	4.3
事業 用	戸数	444	330	460	359	328	223	772
	比率(%)	9.0	6.7	9.3	7.3	6.7	4.5	15.7
	使用水量(m <sup>3</sup> )	507	2,610	6,957	9,176	11,532	10,050	56,808
	比率(%)	0.0	0.2	0.6	0.8	1.0	0.9	4.8
	水道料金(円)	319,725	323,298	809,731	1,289,869	1,868,684	1,800,509	12,292,363
	比率(%)	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.5	3.3
官公署・学校	戸数	1,528	173	163	85	58	57	219
	比率(%)	43.9	5.0	4.7	2.4	1.7	1.6	6.3
	使用水量(m <sup>3</sup> )	990	1,284	2,449	2,148	2,044	2,587	16,124
	比率(%)	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	2.3
	水道料金(円)	1,416,987	169,326	284,141	299,695	331,498	462,957	3,491,295
	比率(%)	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	1.5
公衆浴場 用	戸数	0	0	0	0	0	0	0
	比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	使用水量(m <sup>3</sup> )	0	0	0	0	0	0	0
	比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	水道料金(円)	0	0	0	0	0	0	0
	比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
臨時 用	戸数	1,151	151	70	29	8	5	23
	比率(%)	79.1	10.4	4.8	2.0	0.5	0.3	1.6
	使用水量(m <sup>3</sup> )	1,548	1,175	1,044	729	261	228	1,515
	比率(%)	13.5	10.2	9.1	6.4	2.3	2.0	13.2
	水道料金(円)	6,310,050	855,360	579,590	395,600	141,250	124,000	823,240
	比率(%)	52.9	7.2	4.9	3.3	1.2	1.0	6.9
合 計	戸数	136,820	139,473	251,593	129,110	40,988	11,167	6,406
	比率(%)	19.0	19.4	34.9	17.9	5.7	1.6	0.9
	使用水量(m <sup>3</sup> )	305,205	1,081,731	3,866,018	3,147,646	1,400,979	494,085	409,723
	比率(%)	2.4	8.5	30.3	24.7	11.0	3.9	3.2
	水道料金(円)	129,965,489	137,066,285	451,939,757	433,581,716	223,727,120	87,875,460	84,975,287
	比率(%)	5.9	6.2	20.5	19.7	10.2	4.0	3.9



(単位：戸・m<sup>3</sup>・円)

101 ~ 300	301 ~ 500	501 ~ 600	601 ~ 1000	1001 ~	合 計	%	
837	117	32	30	25	709,962		1 カ月当りの 使用水量(m <sup>3</sup> )
0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	98.6	
127,847	46,528	17,176	22,246	30,042	10,817,460		15.24
1.2	0.4	0.2	0.2	0.3	100.0	84.9	1 m <sup>3</sup> 当りの 供給単価(円)
33,933,957	14,444,929	5,551,698	7,444,905	10,247,710	1,586,365,145		
2.1	0.9	0.3	0.5	0.6	100.0	72.0	146.65
998	378	138	239	263	4,932		1 カ月当りの 使用水量(m <sup>3</sup> )
20.2	7.7	2.8	4.8	5.3	100.0	0.7	
182,245	147,544	75,690	177,506	491,714	1,172,339		237.70
15.5	12.6	6.5	15.1	41.9	100.0	9.2	1 m <sup>3</sup> 当りの 供給単価(円)
50,268,390	45,802,555	24,562,431	59,155,210	171,464,520	369,957,285		
13.6	12.4	6.6	16.0	46.3	100.0	16.8	315.57
648	215	56	88	190	3,480		1 カ月当りの 使用水量(m <sup>3</sup> )
18.6	6.2	1.6	2.5	5.5	100.0	0.5	
115,791	83,709	30,662	68,211	390,074	716,073		205.77
16.2	11.7	4.3	9.5	54.5	100.0	5.6	1 m <sup>3</sup> 当りの 供給単価(円)
31,810,104	25,965,838	9,947,629	22,801,139	136,291,102	233,271,711		
13.6	11.1	4.3	9.8	58.4	100.0	10.6	325.77
0	0	2	34	0	36		1 カ月当りの 使用水量(m <sup>3</sup> )
0.0	0.0	5.6	94.4	0.0	100.0	0.0	
0	0	1,158	25,133	0	26,291		730.31
0.0	0.0	4.4	95.6	0.0	100.0	0.2	1 m <sup>3</sup> 当りの 供給単価(円)
0	0	88,076	2,107,178	0	2,195,254		
0.0	0.0	4.0	96.0	0.0	100.0	0.1	83.50
12	5	1	1	0	1,456		1 カ月当りの 使用水量(m <sup>3</sup> )
0.8	0.3	0.1	0.1	0.0	100.0	0.2	
1,896	1,901	527	656	0	11,480		7.88
16.5	16.6	4.6	5.7	0.0	100.0	0.1	1 m <sup>3</sup> 当りの 供給単価(円)
1,027,700	1,030,090	289,850	354,240	0	11,930,970		
8.6	8.6	2.4	3.0	0.0	100.0	0.5	1,039.28
2,495	715	229	392	478	719,866		1 カ月当りの 使用水量(m <sup>3</sup> )
0.3	0.1	0.0	0.1	0.1	100.0	100.0	
427,779	279,682	125,213	293,752	911,830	12,743,643		17.70
3.4	2.2	1.0	2.3	7.2	100.0	100.0	1 m <sup>3</sup> 当りの 供給単価(円)
117,040,151	87,243,412	40,439,684	91,862,672	318,003,332	2,203,720,365		
5.3	4.0	1.8	4.2	14.4	100.0	100.0	172.93

## 6 大口需要者一覧表

大口需要者		年間使用量 ( $\text{m}^3$ )	平均	
順位	業 種		1 か月 ( $\text{m}^3$ )	1 日 ( $\text{m}^3$ )
1	共用マンション	80,622	6,718	221
2	医療事業	67,900	5,658	186
3	共用マンション	62,482	5,207	171
4	テナントビル	58,143	4,845	159
5	医療事業	49,786	4,149	136
6	共用マンション	49,279	4,107	135
7	共用マンション	48,248	4,021	132
8	共用マンション	46,882	3,907	128
9	共用マンション	38,278	3,190	105
10	共用マンション	37,109	3,092	102
11	教 育	32,562	2,714	89
12	共用マンション	32,103	2,675	88
13	食 品 産 業	31,734	2,644	87
14	共用マンション	31,541	2,628	86
15	テナントビル	31,140	2,595	85
16	教 育	30,720	2,560	84
17	共用マンション	27,814	2,318	76
18	工 場	27,651	2,304	76
19	医療事業	27,629	2,302	76
20	工 場	25,718	2,143	70

7 水質検査表

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

検査項目	水質基準	灰塚配水場系(企業団村野系)			東部配水場系(企業団村野系)			深野系(企業団村野系)			大阪市水系		
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値
一般細菌	1ml中100個以下	8	0	0	4	0	0	2	0	0	1	0	0
大腸菌	検出されないこと	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし
カドミウム及びその化合物	0.003mg/l以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
六価クロム化合物	0.05mg/l以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
γ-HCHL及びβ-HCHL	0.04mg/l以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
塩素酸	0.6mg/l以下	0.06	0.06未満	0.06未満	0.09	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.01	0.006未満	0.006未満	0.016	0.006未満	0.006未満	0.008	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満
ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
臭素酸	0.01mg/l以下	0.002	0.001未満	0.001未満	0.002	0.001未満	0.001未満	0.002	0.001未満	0.001	0.002	0.002	0.002
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.02	0.001未満	0.01	0.03	0.001未満	0.01	0.02	0.001未満	0.01	0.02	0.001未満	0.01
トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.01	0.003未満	0.004	0.012	0.003未満	0.006	0.008	0.003未満	0.004	0.006	0.003未満	0.003
ブromoホルム	0.09mg/l以下	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	14.2	13.6	13.8	15.7	13.7	14.7	14.1	14.1	14.0	15.0	15.0	15.0
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
塩化物イオン	200mg/l以下	18.4	11.0	15.1	18.0	10.7	15.1	18.0	11.0	15.0	14.2	5.7	10.9
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	45	37	42	45	35	41	45	37	41	42	32	39
蒸発残留物	500mg/l以下	110	64	88	110	69	88	107	69	87	112	78	94
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
ジオキシシン	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/l以下	1.0	0.6	0.7	1.0	0.6	0.7	0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.6
PH値	5.8以上8.6以下	7.72	7.10	7.34	7.79	7.05	7.35	7.76	7.06	7.29	8.02	7.31	7.54
味	異常でないこと	異常なし			異常なし			異常なし			異常なし		
臭気	異常でないこと	異常なし			異常なし			異常なし			異常なし		
色度	5度以下	0.6	0.5未満	0.5未満	0.6	0.5未満	0.5未満	0.5	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
濁度	2度以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満

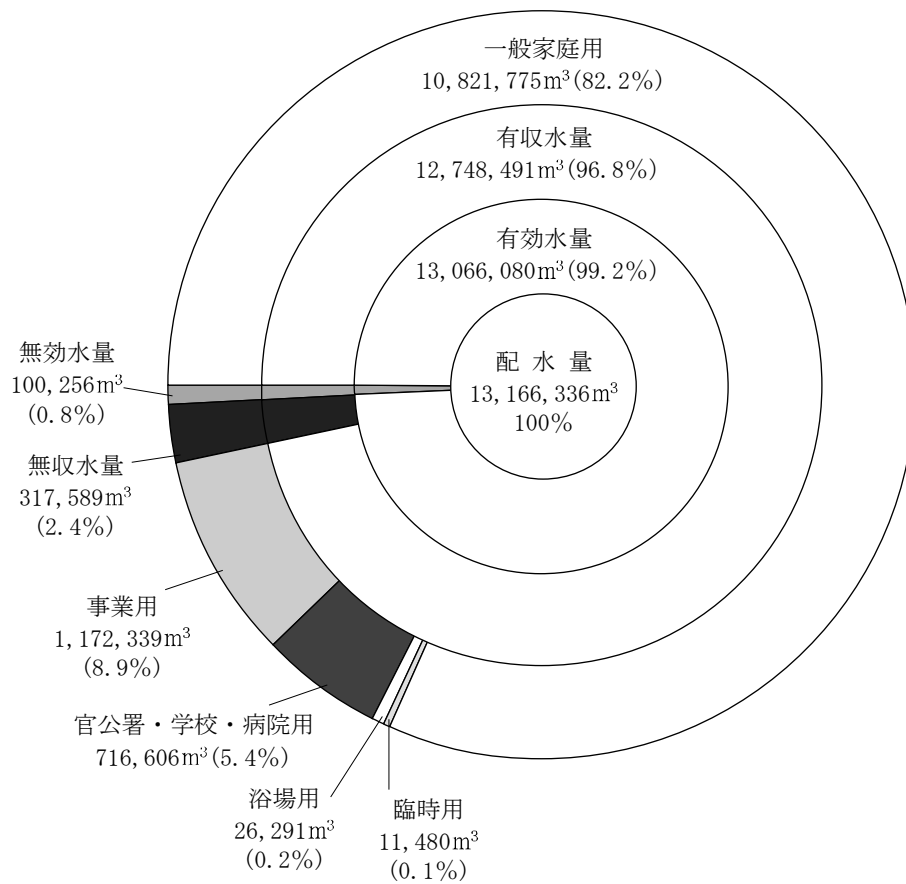
給水状況

## 8 配水量分析表

(単位：m<sup>3</sup>，%)

年 度 項 目	R 元 年 度		H 30 年 度		H 29 年 度	
	水 量	比 率	水 量	比 率	水 量	比 率
総 配 水 量	13,166,336	100.0	13,815,045	100.0	13,671,513	100.0
有 効 水 量	13,066,080	99.2	13,381,350	96.9	13,484,654	98.6
有 収 水 量	12,748,491	96.8	12,849,241	93.0	12,967,276	94.8
料 金 水 量	12,748,491	96.8	12,849,241	93.0	12,967,276	94.8
無 収 水 量	317,589	2.4	532,109	3.9	517,378	3.8
メーター不感水量	263,327	2.0	469,712	3.4	464,831	3.4
局事業用水量	52,865	0.4	60,836	0.4	50,165	0.4
消防用水量	1,397	0.0	1,561	0	2,382	0.0
無 効 水 量	100,256	0.8	433,695	3.1	186,859	1.4

給水状況





## IV 料 金 調 定

- 1 料 金 表
- 2 水 道 料 金 調 定 収 入
- 3 メーター使用料金調定収入
- 4 年度別調定及び料金収納状況表  
(水道料金+メーター使用料金)
- 5 水道料金調定等件数一覧表
- 6 水道料金等収納種別件数一覧表  
(納 付 書 等)
- 7 月 別 検 針 状 況 表
- 8 府下各市水道料金比較表
- 9 料 金 変 遷 表
- 10 手 数 料 一 覧 表

## IV 料 金 調 定

### 1 料 金 表

(1) 水道料金表 (1 か月)

(平成22年10月1日適用)

用 途	基 本 料 金		超 過 料 金	
	水 量	料 金	水 量	料 金
一 般 用	10 m <sup>3</sup>	900 円	11~20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき140円
			21~30	180
			31~50	220
			51~100	260
			101~300	300
			301以上	330
公 衆 浴 場 用	600	40,776	601~3,000	116
			3,001以上	135
臨 時 用	10	5,000	11以上	500

※ 上記の表により算定したそれぞれの額に消費税法(昭和63年法律第108号)の規定による消費税の額及び地方税法(昭和25年法律第226号)の規定による地方消費税の額に相当する額を加えた額(1円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とする。

(2) メーター使用料金、予納金及び加入金表

口 径	メーター使用料金 (1 か月分)	予 納 金 臨 時 用	加 入 金	
			新設工事	増 径 工 事
mm	円	千円	円	増口径後の口径に係る加入金の額と、増口径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。
13	48	150	150,000	
20	87	150		
25	97	220	300,000	
40	194	管理者が別に定める。	1,000,000	
50	388		1,700,000	
75	1,067		4,000,000	
100	1,359		8,000,000	
150	2,524		22,500,000	
200	3,883		管理者が別に定める。	
実施年月日	H10. 4. 1	S53. 1. 1	H13. 4. 1	

※ 上記の表に掲げる区分により定められたメーター使用料金・加入金それぞれの額に消費税法(昭和63年法律第108号)の規定による消費税の額及び地方税法(昭和25年法律第226号)の規定による地方消費税の額に相当する額を加えた額(1円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とする。

## 2 水道料金調定収入

(消費税等込み)

種別 月	調定		収入	
	件数	金額	件数	金額
	件	円	件	円
H31年4月	26,296	163,483,164	877	2,574,913
R元年5月	29,618	188,576,705	23,537	148,633,873
6月	26,401	182,476,637	27,007	177,825,964
7月	29,582	196,321,644	26,595	182,320,649
8月	26,357	178,706,454	28,851	196,100,237
9月	29,520	204,688,672	25,177	173,881,013
10月	26,406	173,580,063	30,267	207,414,352
11月	29,479	184,280,186	25,118	169,651,841
12月	26,333	175,281,663	29,759	189,013,177
R2年1月	29,537	191,690,964	26,685	177,401,408
2月	26,370	181,893,599	27,949	186,254,797
3月	29,671	178,462,026	26,243	178,624,172
計	335,570	2,199,441,777	298,065	1,989,696,396
前年度	334,481	2,213,053,199	296,992	2,005,939,486
比較増減	1,089	-13,611,422	1,073	-16,243,090
%	(0.3)	(-0.6)	(0.4)	(-0.8)
備考	( )内は対前年度増加率			



### 3 メーター使用料金調定収入

(消費税等込み)

種別 月	調 定		収 入	
	件 数	金 額	件 数	金 額
	件	円	件	円
H31年4月	23,839	3,960,346	705	115,405
R元年5月	25,208	4,418,148	21,532	3,589,826
6月	23,946	4,008,580	23,415	4,109,921
7月	25,209	4,417,499	24,124	4,047,439
8月	23,928	3,989,437	25,050	4,379,020
9月	25,149	4,411,748	22,953	3,839,463
10月	23,959	3,997,270	26,178	4,572,977
11月	25,117	4,415,020	22,954	3,841,856
12月	23,902	4,073,768	25,721	4,499,609
R2年1月	25,194	4,519,893	24,274	4,152,488
2月	23,912	4,077,236	24,224	4,328,146
3月	25,344	4,538,509	23,891	4,083,702
計	294,707	50,827,454	265,021	45,559,852
前年度	293,457	50,059,084	263,848	44,935,726
比較増減	1,250	768,370	1,173	624,126
%	(0.4)	(1.5)	(0.4)	(1.4)
備 考	( )内は対前年度増加率			

料金調定

#### 4 年度別調定及び料金収納状況表（水道料金＋メーター使用料金）

項 目 年 度		調 定 額		収
		件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)
31	過年度	36,118	218,339,473	34,321
	現年度	335,570	2,250,269,231	300,757
	計	371,688	2,468,608,704	335,078
30	過年度	35,730	217,403,251	34,150
	現年度	334,481	2,263,112,283	299,691
	計	370,211	2,480,515,534	333,841
29	過年度	34,892	222,231,683	33,159
	現年度	333,545	2,274,319,978	299,027
	計	368,437	2,496,551,661	332,186
28	過年度	35,246	224,668,023	33,325
	現年度	333,065	2,309,993,778	299,569
	計	368,311	2,534,661,801	332,894
27	過年度	35,753	223,933,268	33,805
	現年度	332,203	2,325,579,099	298,537
	計	367,956	2,549,512,367	332,342

(消費税等込み)

入 額	未 収 額		収 入 率 (%)
	金 額 (円)	件 数 (件)	
212,934,466	1,797	5,405,007	97.5
2,033,737,837	34,813	216,531,394	90.4
2,246,672,303	36,610	221,936,401	91.0
212,584,504	1,580	4,818,747	97.8
2,048,832,034	34,790	214,280,249	90.5
2,261,416,538	36,370	219,098,996	91.2
216,955,630	1,733	5,276,053	97.6
2,060,831,982	34,518	213,487,996	90.6
2,277,787,612	36,251	218,764,049	91.2
218,812,135	1,921	5,855,888	97.4
2,092,016,823	33,496	217,976,955	90.6
2,310,828,958	35,417	223,832,843	91.2
217,730,018	1,948	6,203,250	97.2
2,105,682,889	33,666	219,896,210	90.5
2,323,412,907	35,614	226,099,460	91.1

料金調定

## 5 水道料金調定等件数一覧表

検 針 月	調 定 関 係									D 再 通 知 件 数
	A 調 定 件 数	B A口座振 の替 う件 ち座数	B/A 口座振 替率	口座振替件数内訳				C A納付書 のう ち件 数	C/A 納付書 率	
				銀 行	率	郵 便 局	率			
	件	件	%	件	%	件	%	件	%	件
H31年4月	26,296	17,637	67.07	14,126	80.09	3,511	19.91	8,659	32.93	2,231
R元年5月	29,618	19,774	66.76	16,415	83.01	3,359	16.99	9,844	33.24	2,177
6月	26,401	17,699	67.04	14,154	79.97	3,545	20.03	8,702	32.96	2,108
7月	29,582	19,754	66.78	16,363	82.83	3,391	17.17	9,828	33.22	2,167
8月	26,357	17,711	67.20	14,155	79.92	3,556	20.08	8,646	32.80	2,229
9月	29,520	19,793	67.05	16,415	82.93	3,378	17.07	9,727	32.95	2,173
10月	26,406	17,749	67.22	14,173	79.85	3,576	20.15	8,657	32.78	2,243
11月	29,479	19,710	66.86	16,346	82.93	3,364	17.07	9,769	33.14	2,007
12月	26,333	17,715	67.27	14,144	79.84	3,571	20.16	8,618	32.73	2,131
R2年1月	29,537	19,717	66.75	16,344	82.89	3,373	17.11	9,820	33.25	2,115
2月	26,370	17,719	67.19	14,131	79.75	3,588	20.25	8,651	32.81	2,307
3月	29,671	19,773	66.64	16,359	82.73	3,414	17.27	9,898	33.36	2,095
計	335,570	224,751		183,125		41,626		110,819		25,983
月平均	27,964	18,729	66.99	15,260	81.40	3,469	18.60	9,235	33.01	2,165

再 通 知 関 係						停 水 関 係					
E	F	D/A	E/B	F/C		G	G/A	G/D	H	H/A	
D再 振替 うち 数	D納 付書 うち 数	再 通 知 率	口 座 再 振 替 率	納再 送付 書率	納再 送付 書日	督 促 件 数	督 促 率	再不 通納 知率	停 水 件 数	停 水 率	停 水 月 日
件	件	%	%	%		件	%	%	件	%	
715	1,516	8.48	4.05	17.51	5/31	1,264	4.81	56.66	48	0.18	8/20
511	1,666	7.35	2.58	16.92	6/28	1,317	4.45	60.50	39	0.13	9/10
587	1,521	7.98	3.32	17.48	7/31	1,205	4.56	57.16	42	0.16	10/16
513	1,654	7.33	2.60	16.83	8/30	1,348	4.56	62.21	50	0.17	11/12
647	1,582	8.46	3.65	18.30	9/30	1,230	4.67	55.18	44	0.17	12/10
556	1,617	7.36	2.81	16.62	10/31	1,347	4.56	61.99	26	0.09	1/21
678	1,565	8.49	3.82	18.08	11/29	1,218	4.61	54.30	35	0.13	2/18
438	1,569	6.81	2.22	16.06	12/27	1,223	4.15	60.94	42	0.14	3/17
621	1,510	8.09	3.51	17.52	1/31	1,215	4.61	57.02	1	0.00	4/14
493	1,622	7.16	2.50	16.52	2/28	1,287	4.36	60.85	8	0.03	5/12
678	1,629	8.75	3.83	18.83	3/31	1,223	4.64	53.01	15	0.06	6/16
546	1,549	7.06	2.76	15.65	4/30	1,212	4.08	57.85	85	0.29	7/14
6,983	19,000					15,089			435		
582	1,583	7.78	3.14	17.19		1,257	4.50	58.14	36	0.13	

## 6 水道料金等収納種別件数一覧表（納付書等）

	水 道 料 金 等 収 納 種 別 内 訳							
	コンビニ 収 納	比 率	ゆうちょ 銀行収納	比 率	銀 行 ・ 市窓口等	比 率	小 計	比 率
	件	%	件	%	件	%	件	%
H31年4月	8,240	85.8	327	3.4	1,036	10.8	9,603	100
R元年5月	8,792	86.8	339	3.3	993	9.8	10,124	100
6月	7,564	85.1	313	3.5	1,007	11.3	8,884	100
7月	8,744	86.4	402	4.0	971	9.6	10,117	100
8月	8,131	85.8	293	3.1	1,058	11.2	9,482	100
9月	6,916	86.5	312	3.9	766	9.6	7,994	100
10月	9,378	86.8	359	3.3	1,072	9.9	10,809	100
11月	6,698	84.8	305	3.9	895	11.3	7,898	100
12月	8,850	86.8	314	3.1	1,030	10.1	10,194	100
R2年1月	8,360	87.8	335	3.5	827	8.7	9,522	100
2月	7,322	86.1	294	3.5	890	10.5	8,506	100
3月	7,869	86.6	276	3.0	940	10.3	9,085	100
小 計	96,864		3,869		11,485		112,218	
月 平 均	8,072	86.3	322	3.5	957	10.3	9,352	100

収 納 業 務 委 託 料	口座振替手数料（税込）		
	銀行	収納件数1件につき	4.4円
	ゆうちょ銀行(郵便局)	収納件数1件につき	10円
	コンビニ取扱手数料(りそな決済サービスと一括契約)(税込)		
	電子計算手数料	基本料金1か月あたり	16,500円
		収納件数1件につき	0円
取扱手数料	収納件数1件につき	58.3円	

◎ 納付場所（令和2年3月31日現在）

○ 収納取扱金融機関

銀行 — みずほ・三菱UFJ・三井住友・りそな・京都  
池田泉州・南都・紀陽・関西みらい・みなど

信用金庫 — 大阪・大阪厚生・大阪シティ・大阪商工・北おおさか  
枚方・尼崎・京都

信用組合 — 大同・成協・のぞみ・近畿産業

労働金庫 — 近畿

農協 — 大阪東部

ゆうちょ銀行(郵便局) — 近畿二府四県のゆうちょ銀行(郵便局)

○ コンビニエンスストア

セブンイレブン・ローソン・ファミリーマート・ミニストップ

ポプラ・生活彩家・くらしハウス・スリーエイト

コミュニティ・ストア・セイコーマート・デイリーヤマザキ

ヤマザキスペシャルパートナーショップ

ニューヤマザキデイリーストア・MMK設置店

○ スマホ決済アプリ「PayB」

## 7 月別検針状況表

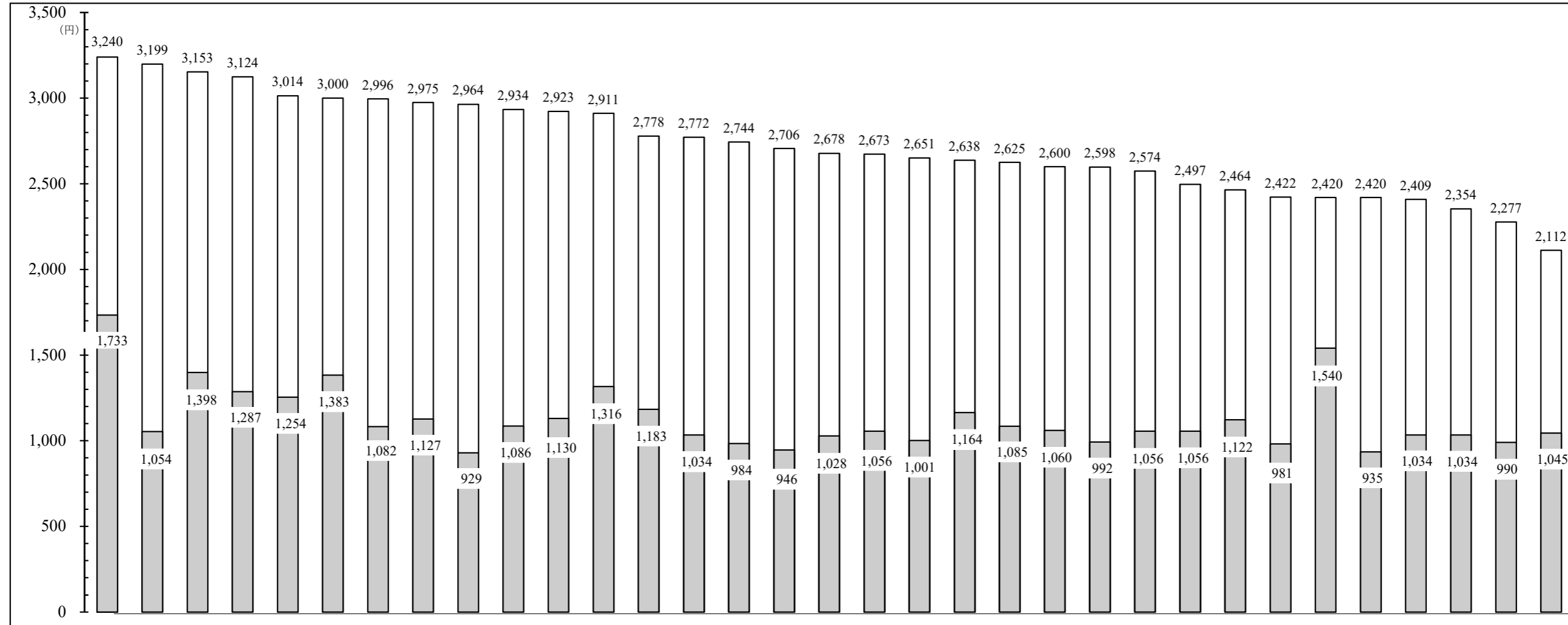
区分 月	検 針 件 数			左 の う ち 認 定 件 数				
	毎 月	隔 月	計	障 害	不 在	故 障	その他	計
H31年4月	854	28,834	29,688	7	4	0	0	11
R元年5月	856	32,030	32,886	6	3	0	0	9
6月	847	28,864	29,711	2	3	0	0	5
7月	843	32,010	32,853	5	3	2	0	10
8月	843	28,704	29,547	7	4	0	1	12
9月	843	32,014	32,857	5	5	0	0	10
10月	836	28,657	29,493	4	3	0	0	7
11月	827	31,983	32,810	10	3	0	0	13
12月	828	28,664	29,492	6	6	0	0	12
R2年1月	829	31,960	32,789	5	4	1	0	10
2月	830	28,661	29,491	5	6	0	1	12
3月	821	31,951	32,772	1	3	0	1	5
計	10,057	364,332	374,389	63	47	3	3	116
月平均	838	30,361	31,199	5	4	0	0	10

※備考 平成4年4月1日から検針業務全面委託



8 府下各市水道料金比較表 (一般家庭用・1か月・メーター口径20mm・メーター使用料金および消費税等を含む)

(令和2年3月31日現在)



料金調定

金額 市名	泉南市	泉大津市	阪南市	松原市	泉佐野市	交野市	門真市	河内長野市	藤井寺市	箕面市	四條畷市	高石市	摂津市	八尾市	羽曳野市	大阪狭山市	柏原市	岸和田市	池田市	守口市	大東市	寝屋川市	東大阪市	和泉市	豊中市	堺市	富田林市	茨木市	高槻市	貝塚市	吹田市	枚方市	大阪市
料金体系	口	用	用	用	口用	口用	用	口	用	用	用	用	口用	口用	用	用	用	口用	用	用	用	用	口用	口	口	口	口	口用	口	口用	口	用	用
料金改定 実施時期	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 12 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	H 26 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 12 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 10 ・ 1	R 1 ・ 11 ・ 1
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	26	25	27	28	29	30	31	32	33
基本水量	0	0	8	6	0	8	10	0	10	8	5・10	0	6	0	8	10	5	5	8	8	10	10	7	0	0	0	8	0	0	10	6	8	0

棒グラフ { 使用水量20m<sup>3</sup>の水道料金 (白) / 使用水量10m<sup>3</sup>の水道料金 (灰) }      料金体系 { 用-用途別 / 口-口径別 }

# 9 料金変遷表

## (1) 水道料金変遷表

用途別	改定年月日 料 金	昭和	28年4月	30年1月	34年9月	37年 9月	41年 4月			49年12月	51年11月	53年 1月	53年10月	61年 1月	平成	10年 4月	13年 4月	22年10月		
		24年7月					第1種 (φ13)	第2種 (φ20)	第3種 (φ25)						5年 7月					
家事 専用 栓	基本水量(m³)	10	10	10	10	10	—			基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	
	基本料金(円)	100	140	180	230	300	—			基本料金 360円	基本料金 510円	基本料金 650円	基本料金 650円	基本料金 750円	基本料金 1000円	基本料金 970円	基本料金 970円	基本料金 900円		
	超過料金(円/m³)	10	14	18	23	30	—			超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	
家事 用 共用 栓	基本水量(m³)	7	7	7	7	7	—			11~20m³まで 50	11~20m³まで 80	11~20m³まで 90	11~20m³まで 100	11~20m³まで 110	11~20m³まで 145	11~20m³まで 140	11~20m³まで 140	11~20m³まで 140	11~20m³まで 140	
	基本料金(円)	70	100	125	160	210	—			21~30 60	21~30 100	21~30 110	21~30 120	21~30 130	21~30 170	21~30 165	21~30 165	21~30 200	21~30 180	
	超過料金(円/m³)	10	14	18	23	30	—			31~50 70	31~50 120	31~50 130	31~50 140	31~50 150	31~50 190	31~50 184	31~50 184	31~50 230	31~50 220	
病 官 公 署 ・ 学 校 用	基本水量(m³)	20	20	20	20	20	—			51~100 80	51~100 135	51~100 150	51~100 160	51~100 170	51~100 215	51~100 208	51~100 208	51~100 260	51~100 260	
	基本料金(円)	160	280	360	460	600	—			101~200 100	101~300 160	101~300 180	101~300 190	101~300 200	101~300 250	101~300 242	101~300 242	101~300 300	101~300 300	
	超過料金(円/m³)	8	14	18	23	30	—			201以上 130	301以上 190	301以上 220	301以上 230	301以上 240	301以上 300	301以上 291	301以上 291	301以上 350	301以上 330	
公 衆 浴 場 用	基本水量(m³)	300	300	300	300	500	—			一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	
	基本料金(円)	2,500	3,500	4,800	6,900	14,000	—			一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	
	超過料金(円/m³)	8	12	16	23	30	—			一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	
事 業 用	基本水量(m³)	100	100	100	100	第1種 300	第2種 3,000	第3種 5,000	(φ30~φ50) 200	(φ75~φ100) 2,000	(φ125~φ150) 5,000	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ
	基本料金(円)	1,000	1,400	1,800	2,300	9,000	90,000	150,000	8,000	80,000	200,000	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ
	超過料金(円/m³)	10	14	18	23	30	30	30	40	40	40	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ
プ ー ル 用	基本水量(m³)	—	—	—	500	500	—			一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	
	基本料金(円)	—	—	—	11,500	14,000	—			一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	
	超過料金(円/m³)	—	—	—	23	30	—			一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	
鑑 賞 用	基本水量(m³)	5	5	5	5	5	—			一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	
	基本料金(円)	150	200	200	250	250	—			一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	
	超過料金(円/m³)	40	50	50	50	50	—			一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	一般用と同じ	
臨 時 用	基本水量(m³)	1	1	1	1	1	—			1	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	基本料金(円)	40	40	40	40	40	—			150	1,500	2,500	2,500	3,000	4,000	3,883	5,000	5,000		
	超過料金(円/m³)	40	40	40	40	40	—			150	250	280	300	350	350	436	500	500		

※私設プールは7, 8, 9月の3か月に適用し、他の月は公設プールと同じ

料金調定

## (2) 加入金変遷表

(昭和49年10月15日制定)

口 径	加 入 金 (新設工事)
mm	円
1 3	60,000
2 0	60,000
2 5	110,000
4 0	400,000
5 0	700,000
7 5	2,000,000
1 0 0	4,300,000
1 5 0	13,000,000
150mmを超えるもの	市長が別に定める

(昭和53年1月1日改定)

口 径	加 入 金	
	新 設 工 事	増 径 工 事
mm	円	
1 3	90,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、増径後の口径に係る加入金の額と60,000円との差額。
2 0	90,000	
2 5	170,000	
4 0	530,000	
5 0	920,000	
7 5	2,500,000	
1 0 0	5,000,000	
1 5 0	14,000,000	
150mmを超えるもの	市長が別に定める	

(昭和60年4月1日改定)

口 径	加 入 金	
	新 設 工 事	増 径 工 事
mm	円	
1 3	90,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、増径後の口径に係る加入金の額と60,000円との差額。
2 0	90,000	
2 5	170,000	
4 0	530,000	
5 0	920,000	
7 5	2,500,000	
1 0 0	5,000,000	
1 5 0	14,000,000	
150mmを超えるもの	管理者が別に定める	

(平成5年7月1日改定)

口 径	加 入 金	
	新 設 工 事	増 径 工 事
mm	円	
2 0 以下	130,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。
2 5	260,000	
4 0	840,000	
5 0	1,450,000	
7 5	3,500,000	
1 0 0	7,000,000	
1 5 0	19,600,000	
150mmを超えるもの	管理者が別に定める	

(平成10年4月1日改定)

消費税抜き

口 径	加 入 金	
	新 設 工 事	増 径 工 事
mm	円	
2 0 以下	126,200	増口径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。
2 5	252,400	
4 0	815,500	
5 0	1,407,700	
7 5	3,398,000	
1 0 0	6,796,100	
1 5 0	19,029,100	
150mmを超えるもの	管理者が別に定める	

(平成13年4月1日改定)

消費税抜き

口 径	加 入 金	
	新 設 工 事	増 径 工 事
mm	円	
2 0 以下	150,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。
2 5	300,000	
4 0	1,000,000	
5 0	1,700,000	
7 5	4,000,000	
1 0 0	8,000,000	
1 5 0	22,500,000	
150mmを超えるもの	管理者が別に定める	

# 10 手数料一覧表

※大東市水道事業給水条例第31条

(令和元年10月1日改定)

料金調定

種類	口径		単位	金額	備考
	給水管の最大口径				
1 設計手数料	給水管の最大口径	30mm未満	1 件	1,000円	
		75mm未満	1 件	2,000円	
		75mm以上	1 件	3,000円	
2 設計審査手数料	給水管の最大口径	30mm未満	1 件	1,000円	13mm以下で、給水栓 1 栓のみを追加する場合の工事については徴収しない。
		75mm未満	1 件	2,000円	
		75mm以上	1 件	3,000円	
3 竣工検査手数料 (補修を要する場合の再検査手数料についても、同様とする。)	給水管の最大口径	30mm未満	1 件	3,000円	13mm以下で、給水栓 1 栓のみを追加する場合の工事については徴収しない。
		75mm未満	1 件	5,000円	
		75mm以上	1 件	8,000円	
4 指定給水装置工事事業者 指定手数料			1 件	5,000円	
5 指定給水装置工事事業者 指定更新手数料			1 件	5,000円	
6 証書交付手数料			1 件	500円	
7 メーター試験手数料	メーターの口径	25mm以下	1 個	300円	
		40mm	1 個	2,000円	
		50mm	1 個	2,000円	
		75mm	1 個	6,000円	
		100mm以上	1 個	10,000円	

# V 給水装置工事 及び修繕工事状況

- 1 給水装置工事実績表
- 2 量水器関係工事実績表
- 3 修繕工事実績表
- 4 指定給水装置工事事業者

## V 給水装置工事及び修繕工事状況

### 1 給水装置工事实績表

(単位：件)

月	種別	新設工事	増口径	改設	合計	(穿孔)
H31年	4月	20	17	3	40	(19)
R元年	5月	16	12	10	38	(19)
	6月	13	14	4	31	(22)
	7月	23	13	4	40	(12)
	8月	17	10	4	31	(4)
	9月	11	14	5	30	(19)
	10月	16	18	14	48	(14)
	11月	9	16	3	28	(13)
	12月	11	15	5	31	(14)
R2年	1月	18	17	2	37	(14)
	2月	8	7	12	27	(11)
	3月	11	16	6	33	(10)
	計	173	169	72	414	(171)

### 2 量水器関係工事实績表

#### (1) 開栓・閉栓等

(単位：件)

月	種別	新設開栓			既設開栓			閉栓			停水(無届停水含む)			合計		
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
H31年	4月	0	84	84	0	317	317	0	342	342	0	33	33	0	776	776
R元年	5月	0	55	55	0	387	387	0	399	399	0	57	57	0	898	898
	6月	0	51	51	0	289	289	0	274	274	0	61	61	0	675	675
	7月	0	47	47	0	311	311	0	395	395	0	55	55	0	808	808
	8月	0	51	51	0	332	332	0	265	265	0	54	54	0	702	702
	9月	0	70	70	0	295	295	0	302	302	0	48	48	0	715	715
	10月	0	38	38	0	329	329	0	335	335	0	57	57	0	759	759
	11月	0	60	60	0	318	318	0	297	297	0	62	62	0	737	737
	12月	0	77	77	0	306	306	0	286	286	0	49	49	0	718	718
R2年	1月	0	45	45	0	289	289	0	309	309	0	32	32	0	675	675
	2月	0	67	67	0	330	330	0	244	244	0	46	46	0	687	687
	3月	0	64	64	0	664	664	0	489	489	0	46	46	0	1,263	1,263
	計	0	709	709	0	4,167	4,167	0	3,937	3,937	0	600	600	0	9,413	9,413

給水装置工事  
及び修繕工事状況

#### (2) 量水器取替

(単位：件)

月	種別	量水器取替		
		開栓	検満	合計
H31年	4月	37	1,076	1,113
R元年	5月	60	0	60
	6月	43	1,023	1,066
	7月	40	1,366	1,406
	8月	39	150	189
	9月	33	1,121	1,154
	10月	34	1,004	1,038
	11月	34	1,192	1,226
	12月	27	0	27
R2年	1月	34	0	34
	2月	37	0	37
	3月	52	0	52
	計	470	6,932	7,402

### 3 修繕工事实績表

#### (1) 屋内・外修繕

(単位：件)

種別 月	給水栓取替			パッキン取替			給水栓ネジ込			止水栓取替		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
H31年 4月	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	4	4
R元年 5月	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	2
6月	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	3	3
7月	0	3	3	0	3	3	0	0	0	1	2	3
8月	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	3	3
9月	0	8	8	0	5	5	0	0	0	1	18	19
10月	0	1	1	0	4	4	0	0	0	0	4	4
11月	0	5	5	0	5	5	0	1	1	0	0	0
12月	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	11	11
R2年 1月	0	5	5	0	6	6	0	0	0	2	5	7
2月	0	2	2	0	6	6	0	0	0	0	1	1
3月	0	2	2	0	4	4	0	1	1	0	12	12
計	0	31	31	0	45	45	0	2	2	4	65	69

種別 月	止水栓			メーター			VP・PP管			鉛管		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
H31年 4月	2	28	30	0	0	0	1	9	10	1	1	2
R元年 5月	2	23	25	0	0	0	0	6	6	0	0	0
6月	0	25	25	0	0	0	0	5	5	0	1	1
7月	8	14	22	0	0	0	1	5	6	0	2	2
8月	2	35	37	2	9	11	0	14	14	0	2	2
9月	1	22	23	0	15	15	2	6	8	2	1	3
10月	3	29	32	1	6	7	3	7	10	0	0	0
11月	4	38	42	0	2	2	0	10	10	0	0	0
12月	6	35	41	2	7	9	2	26	28	0	2	2
R2年 1月	1	14	15	0	0	0	2	5	7	0	0	0
2月	1	19	20	0	2	2	0	5	5	1	0	1
3月	1	28	29	0	5	5	0	11	11	0	0	0
計	31	310	341	5	46	51	11	109	120	4	9	13

種別 月	鋼管			その他			合計		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
H31年 4月	0	0	0	7	72	79	11	116	127
R元年 5月	0	0	0	4	70	74	6	103	109
6月	0	0	0	3	79	82	3	115	118
7月	0	0	0	20	83	103	30	112	142
8月	0	1	1	45	96	141	49	167	216
9月	0	0	0	22	94	116	28	169	197
10月	0	0	0	7	89	96	14	140	154
11月	0	0	0	17	87	104	21	148	169
12月	0	0	0	7	101	108	17	186	203
R2年 1月	0	0	0	10	72	82	15	107	122
2月	0	0	0	10	67	77	12	102	114
3月	0	0	0	8	92	100	9	155	164
計	0	1	1	160	1,002	1,162	215	1,620	1,835

給水装置工事  
及び修繕工事状況

## (2) 道路上漏水修繕

(単位：件)

種別 月	石綿管			鋳鉄管			VP・PP管			鉛管		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
H31年 4月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
R元年 5月	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2
7月	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	3
8月	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1
9月	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
11月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2
12月	0	0	0	0	0	0	0	12	12	0	0	0
R2年 1月	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	3
2月	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	40	40	0	15	15

種別 月	仕切弁			消火栓			合計		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
H31年 4月	0	0	0	0	0	0	0	2	2
R元年 5月	0	3	3	0	0	0	0	6	6
6月	0	0	0	0	0	0	0	3	3
7月	0	9	9	0	1	1	0	14	14
8月	0	0	0	0	0	0	0	4	4
9月	0	0	0	0	0	0	0	3	3
10月	0	2	2	0	1	1	0	7	7
11月	0	2	2	0	2	2	0	8	8
12月	0	0	0	0	0	0	0	12	12
R2年 1月	0	0	0	1	0	1	1	4	5
2月	0	0	0	0	0	0	0	5	5
3月	0	0	0	0	0	0	0	7	7
計	0	16	16	1	4	5	1	75	76

給水装置工事  
及び修繕工事状況



## 4 指定給水装置工事業者

平成10年4月1日からの水道法改正で、市民サービス向上を目的とする規制緩和がなされ、令和元年度末現在、当市では424者を指定しており、その内訳は次の通りです。

### 都道府県・市町村別指定業者数（事業所所在地別）

令和元年度末現在

○大阪府……396者

市町村名	大東市	大阪市	東大阪市	枚方市	寝屋川市	門真市	四條畷市
業者数	58	74	50	30	25	15	18

市町村名	守口市	堺市	高槻市	八尾市	交野市	岸和田市	松原市
業者数	16	23	13	11	4	4	6

市町村名	摂津市	吹田市	柏原市	羽曳野市	箕面市	藤井寺市	茨木市
業者数	4	5	4	5	2	2	5

市町村名	貝塚市	河内長野市	豊中市	富田林市	和泉市	泉大津市	泉佐野市
業者数	2	3	4	2	5	1	3

市町村名	豊能町	高石市
業者数	1	1

○兵庫県……7者

市町村名	尼崎市	神戸市	西宮市
業者数	3	3	1

○奈良県……8者

市町村名	奈良市	生駒市	大和郡山市	葛城市
業者数	3	3	1	1

○京都府……7者

市町村名	京都市	宇治市	八幡市	精華町	木津川市
業者数	1	1	1	3	1

○神奈川県……1者

市町村名	横浜市
業者数	1

○東京都……2者

市町村名	渋谷区
業者数	2

○愛媛県……1者

市町村名	松山市
業者数	1

○広島県……1者

市町村名	広島市
業者数	1

○愛知県……1者

市町村名	名古屋市
業者数	1

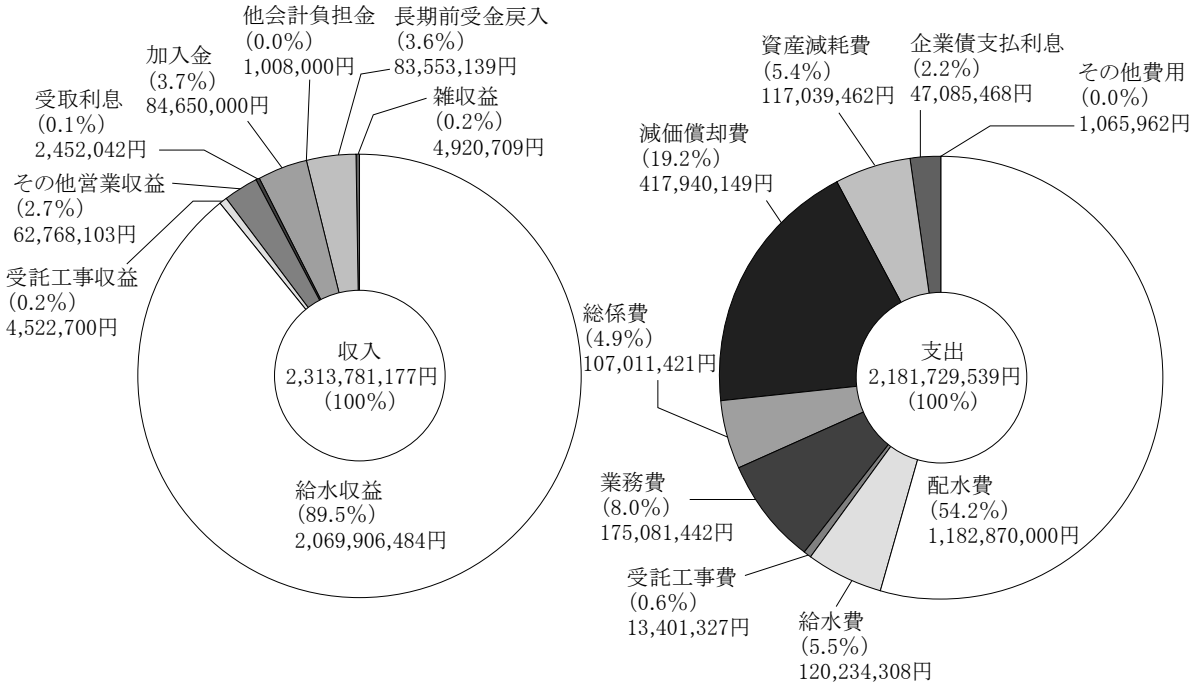
## VI 財 務 狀 況

- 1 収益的・資本的収支構成図
- 2 収 益 的 収 支
- 3 資 本 的 収 支
- 4 貸 借 対 照 表
- 5 企 業 債 償 還 明 細 書
- 6 企 業 債 利 率 別 未 償 還 残 高
- 7 有 形 固 定 資 産 明 細 書
- 8 經 営 分 析
- 9 費 用 構 成 表
- 10 水 道 料 金 原 価 表
- 11 東 部 大 阪 各 市 決 算 比 較 表

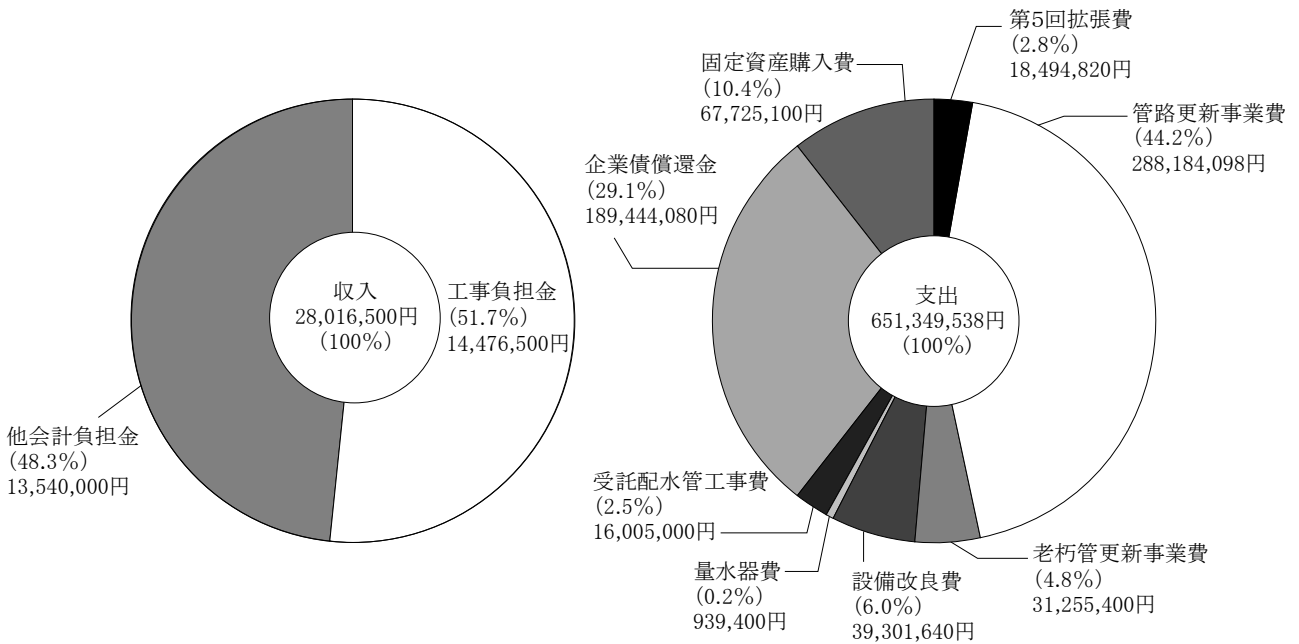
# VI 財 務 状 況

## 1 収益的・資本的収支構成図

【収益的収支】(消費税抜き)



【資本的収支】(消費税込み)



## 2 収 益 的 収 支

科 目	R 元 年 度		H 30 年 度		H 29 年 度		H 28 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%	円	%
収 入	2,313,781,177	100.0	2,332,064,275	100.0	2,307,699,427	100.0	2,363,155,544	100.0
営業収益	2,137,197,287	92.4	2,164,032,616	92.8	2,170,909,203	94.1	2,218,002,854	93.8
給水収益	2,069,906,484	89.5	2,095,474,347	89.8	2,105,851,844	91.3	2,138,883,140	90.5
受託工事収益	4,522,700	0.2	6,443,748	0.3	4,299,852	0.2	14,056,531	0.6
その他営業収益	62,768,103	2.7	62,114,521	2.7	60,757,507	2.6	65,063,183	2.7
営業外収益	176,583,890	7.6	168,031,659	7.2	136,790,224	5.9	145,152,690	6.2
受取利息	2,452,042	0.1	1,261,669	0.0	2,013,218	0.1	2,597,483	0.1
加入金	84,650,000	3.7	86,970,000	3.7	57,500,000	2.5	61,700,000	2.6
他会計負担金	1,008,000	0.0	1,412,000	0.1	1,296,000	0.0	0	0.0
長期前受金戻入	83,553,139	3.6	74,567,471	3.2	72,266,512	3.1	77,190,793	3.3
雑収益	4,920,709	0.2	3,820,519	0.2	3,714,494	0.2	3,664,414	0.2
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
支 出	2,181,729,539	100.0	2,099,220,478	100.0	2,081,853,580	100.0	2,102,368,985	100.0
営業費用	2,133,578,109	97.8	2,046,921,500	97.5	2,024,398,096	97.2	2,041,076,240	97.1
配水費	1,182,870,000	54.2	1,196,939,813	57.0	1,214,874,197	58.3	1,229,199,595	58.5
給水費	120,234,308	5.5	143,370,889	6.8	129,439,801	6.2	137,365,804	6.5
受託工事費	13,401,327	0.6	14,422,292	0.7	12,456,094	0.6	24,491,101	1.2
業務費	175,081,442	8.0	156,625,914	7.4	155,236,036	7.5	153,796,123	7.3
総係費	107,011,421	4.9	116,983,091	5.6	123,987,449	6.0	104,386,154	5.0
減価償却費	417,940,149	19.2	385,479,277	18.4	387,868,699	18.6	387,059,721	18.4
資産減耗費	117,039,462	5.4	33,100,224	1.6	535,820	0.0	4,777,742	0.2
その他営業費用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
営業外費用	48,151,430	2.2	52,298,978	2.5	57,455,484	2.8	61,292,745	2.9
支払利息	47,085,468	2.2	51,613,382	2.5	55,795,406	2.7	59,790,383	2.8
雑支出	1,065,962	0.0	685,596	0.0	1,660,078	0.1	1,502,362	0.1
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
当年度純利益	132,051,638		232,843,797		225,845,847		260,786,559	

※企業の経営成績を明らかにするために、当該事業年度に発生した全ての収益と費用について記載し、純

(消費税抜き)

H 27 年 度		す う 勢 比 率					備 考
金 額	構成比	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	
円	%	%	%	%	%	%	
2,406,945,184	100.0	96	97	96	98	100	
2,237,300,672	93.0	96	97	97	99	100	
2,153,313,994	89.5	96	97	98	99	100	{ 水道料金及びメーター使用 料金収入
9,638,000	0.4	47	67	45	146	100	給水工事収入
74,348,678	3.1	84	84	82	88	100	{ 材料売却及び手数料 収入
169,644,512	7.0	104	99	81	86	100	
3,521,995	0.1	70	36	57	74	100	預金利息
83,530,000	3.4	101	104	69	74	100	
0	0.0	皆増	皆増	皆増	—	—	
78,738,720	3.3	106	95	92	98	100	
3,853,797	0.2	128	99	96	95	100	
0	0.0	—	—	—	—	—	
0	0.0	—	—	—	—	—	
0	0.0	—	—	—	—	—	
2,113,482,901	100.0	103	99	99	99	100	
2,043,425,434	96.7	104	100	99	100	100	
1,247,860,836	59.0	95	96	97	99	100	取水、配水、施設維持管理
145,232,938	6.9	83	99	89	95	100	給水施設の維持管理
17,947,197	0.9	75	80	69	136	100	{ 給水施設の新設・修繕の受託 工事費用
148,596,894	7.0	118	105	104	103	100	{ 料金の調定、検針業務に 関する費用
97,149,270	4.6	110	120	128	107	100	{ 事業活動の全般に関する 費用
384,573,302	18.2	109	100	101	101	100	固定資産の減価償却費
2,064,997	0.1	5668	1603	26	231	100	{ 固定資産の除却及び たな卸資産減耗費
0	0.0	—	—	—	—	—	
70,057,467	3.3	69	75	82	87	100	
63,657,177	3.0	74	81	88	94	100	企業債利息
6,400,290	0.3	17	11	26	23	100	
0	0.0	—	—	—	—	—	
0	0.0	—	—	—	—	—	
293,462,283		45	79	77	89	100	

損益を表示したものです。

### 3 資 本 の 収 支

科 目	R 元 年 度		H 30 年 度		H 29 年 度		H 28 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%	円	%
資本的収入	28,016,500	100.0	11,670,000	100.0	56,070,000	100.0	98,797,317	100.0
企業債	0	0.0	0	0.0	40,000,000	71.3	40,000,000	40.5
工事負担金	14,476,500	51.7	11,670,000	100.0	0	0.0	47,797,317	48.4
他会計負担金	13,540,000	48.3	0	0.0	16,070,000	28.7	11,000,000	11.1
固定資産売却代金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
資本的支出	651,349,538	100.0	729,936,837	100.0	716,502,684	100.0	541,918,572	100.0
建設改良費	461,905,458	70.9	547,658,832	75.0	541,530,574	75.6	374,074,480	69.0
第5回拡張費	18,494,820	2.8	16,128,720	2.2	52,311,960	7.3	27,907,200	5.2
管路更新事業	288,184,098	44.2	311,336,668	42.6	7,329,960	1.0	—	—
老朽管更新事業	31,255,400	4.8	7,279,200	1.0	225,743,125	31.5	155,229,382	28.6
設備改良費	39,301,640	6.0	159,749,084	21.9	221,864,149	31.0	99,557,160	18.4
受託配水管工事費	16,005,000	2.5	0	0.0	0	0.0	50,324,760	9.3
量水器費	939,400	0.2	2,160,000	0.3	2,964,060	0.4	2,949,480	0.5
固定資産購入費	67,725,100	10.4	51,005,160	7.0	31,317,320	4.4	38,106,498	7.0
企業債償還金	189,444,080	29.1	182,278,005	25.0	174,972,110	24.4	167,844,092	31.0
出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
収支差引	△623,333,038		△718,266,837		△660,432,684		△443,121,255	

※施設の整備、拡充等に要した建設改良費、その資金としての企業債収入及び現有する施設に要した企業

(消費税込み)

H 27 年 度		す う 勢 比 率					備 考
金 額	構成比	R 元年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度	
円	%	%	%	%	%	%	
73,873,600	100.0	38	16	76	134	100	
40,000,000	54.1	皆減	皆減	100	100	100	
20,073,600	27.2	72	58	皆減	238	100	受託工事収入
13,800,000	18.7	98	0	116	80	100	{ 新設消火栓設置に伴う負担金収入
0	0.0	—	—	—	—	—	
0	0.0	—	—	—	—	—	
0	0.0	—	—	—	—	—	
524,466,486	100.0	124	139	137	103	100	
362,278,223	69.1	128	151	149	103	100	
28,161,000	5.4	66	57	186	99	100	{ 施設建設費用 配水管布設工事費用
—	—	皆増	皆増	皆増	—	—	
229,280,971	43.7	14	3	98	68	100	
15,971,040	3.0	246	1000	1389	623	100	配水管の布設替工事費用
23,907,592	4.6	67	皆減	皆減	210	100	{ 配水管の移設等の受託工事費用
2,506,140	0.5	37	86	118	118	100	メーター購入費用
62,451,480	11.9	108	82	50	61	100	
162,188,263	30.9	117	112	108	103	100	企業債の元金償還金
0	0.0	—	—	—	—	—	
△450,592,886		138	159	147	98	100	

債の元金償還等を表示したものです。

## 4 貸借対照表

### (1) 借方

科目	R 元 年 度		H 30 年 度		H 29 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%
固定資産	10,250,984,385	74.3	10,305,076,395	74.0	10,215,166,742	73.1
有形固定資産	10,250,167,385	74.3	10,304,259,395	74.0	10,214,349,742	73.1
土地	720,905,422	5.2	720,905,422	5.2	720,905,422	5.2
建物	527,109,630	3.8	522,441,350	3.8	398,696,359	2.9
構築物	7,876,435,711	57.1	7,901,448,697	56.7	7,905,992,632	56.6
機械及び装置	934,549,777	6.8	992,387,492	7.1	813,577,676	5.8
車両及び運搬具	7,154,464	0.1	4,207,417	0.0	4,769,402	0.0
工具器具及び備品	157,907,796	1.1	148,688,103	1.1	108,299,342	0.8
建設仮勘定	26,104,585	0.2	14,180,914	0.1	262,108,909	1.9
無形固定資産	0	0.0	0	0.0	0	0.0
電話加入権	0	0.0	0	0.0	0	0.0
投資	817,000	0.0	817,000	0.0	817,000	0.0
投資	817,000	0.0	817,000	0.0	817,000	0.0
流動資産	3,550,747,408	25.7	3,627,624,605	26.0	3,758,977,056	26.9
現金及び預金	3,305,479,980	23.9	3,404,057,926	24.4	3,430,727,772	24.6
未収金	226,560,372	1.7	218,621,404	1.6	223,359,243	1.6
未収金	232,070,601	—	223,880,597	—	228,576,775	—
貸倒引当金	△ 5,510,229	—	△ 5,259,193	—	△ 5,217,532	—
貯蔵品	5,207,056	0.0	4,945,275	0.0	4,890,041	0.0
短期貸付金	0	0.0	0	0.0	100,000,000	0.7
前払金	13,500,000	0.1	0	0.0	0	0.0
借方合計	13,801,731,793	100.0	13,932,701,000	100.0	13,974,143,798	100.0

※企業の財政状態を明らかにするために、保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表示したものです。



(消費税抜き)

H 28 年 度		H 27 年 度		す う 勢 比 率				
金 額	構成比	金 額	構成比	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
円	%	円	%	%	%	%	%	%
10,099,297,393	72.3	10,144,330,146	73.1	101	102	101	100	100
10,098,480,393	72.3	10,143,513,146	73.1	101	102	101	100	100
720,905,422	5.2	717,571,386	5.2	100	100	100	100	100
408,676,557	2.9	418,656,755	3.0	126	125	95	98	100
7,944,951,646	56.9	7,973,702,652	57.5	99	99	99	100	100
856,981,168	6.1	867,023,759	6.2	108	114	94	99	100
6,559,474	0.0	8,114,026	0.1	88	52	59	81	100
107,567,579	0.8	125,073,187	0.9	126	119	87	86	100
52,838,547	0.4	33,371,381	0.2	78	42	785	158	100
0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	—
0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	—
817,000	0.0	817,000	0.0	100	100	100	100	100
817,000	0.0	817,000	0.0	100	100	100	100	100
3,869,060,969	27.7	3,729,983,000	26.9	95	97	101	104	100
3,155,155,477	22.6	3,184,760,293	23.0	104	107	108	99	100
259,141,999	1.9	240,549,493	1.7	94	91	93	108	100
264,616,896	—	246,552,725	—	94	91	93	107	100
△ 5,474,897	—	△ 6,003,232	—	92	88	87	91	100
4,763,493	0.0	4,673,214	0.0	111	106	105	102	100
450,000,000	3.2	300,000,000	2.2	皆減	皆減	33	150	100
0	0.0	0	0.0	皆増	—	—	—	—
13,968,358,362	100.0	13,874,313,146	100.0	99	100	101	101	100

財務状況

## (2) 貸 方

科目	R 元 年 度		H 30 年 度		H 29 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%
<b>負 債</b>	<b>4,991,153,885</b>	<b>36.2</b>	<b>5,254,174,730</b>	<b>37.8</b>	<b>5,528,461,325</b>	<b>39.6</b>
<b>固 定 負 債</b>	<b>2,817,148,194</b>	<b>20.4</b>	<b>3,020,678,651</b>	<b>21.7</b>	<b>3,223,992,303</b>	<b>23.1</b>
企 業 債	1,918,373,840	13.9	2,113,887,797	15.2	2,303,331,877	16.5
退職給付引当金	140,714,012	1.0	146,901,512	1.1	147,004,334	1.0
特別修繕引当金	53,232,000	0.4	44,881,000	0.3	39,047,000	0.3
修 繕 引 当 金	704,828,342	5.1	715,008,342	5.1	734,609,092	5.3
<b>流 動 負 債</b>	<b>619,582,346</b>	<b>4.5</b>	<b>623,536,095</b>	<b>4.5</b>	<b>631,611,567</b>	<b>4.5</b>
企 業 債	195,513,957	1.4	189,444,080	1.4	182,278,005	1.3
賞 与 引 当 金	17,877,957	0.1	16,684,432	0.1	15,881,268	0.1
未 払 金	339,765,095	2.5	344,795,155	2.5	367,197,925	2.6
前 受 金	53,666	0.0	60,482	0.0	95,167	0.0
預 り 金	66,371,671	0.5	72,551,946	0.5	66,159,202	0.5
預り有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0
<b>繰 延 収 益</b>	<b>1,554,423,345</b>	<b>11.3</b>	<b>1,609,959,984</b>	<b>11.6</b>	<b>1,672,857,455</b>	<b>12.0</b>
長期前受金	3,292,976,292	—	3,301,806,421	—	3,309,376,358	—
長期前受金収益 化 累 計 額	△1,738,552,947	—	△1,691,846,437	—	△1,636,518,903	—
<b>資 本</b>	<b>8,810,577,908</b>	<b>63.8</b>	<b>8,678,526,270</b>	<b>62.2</b>	<b>8,445,682,473</b>	<b>60.4</b>
<b>資 本 金</b>	<b>7,555,182,426</b>	<b>54.7</b>	<b>7,250,614,955</b>	<b>52.0</b>	<b>6,978,348,443</b>	<b>49.9</b>
資 本 金	7,555,182,426	54.7	7,250,614,955	52.0	6,978,348,443	49.9
<b>剰 余 金</b>	<b>1,255,395,482</b>	<b>9.1</b>	<b>1,427,911,315</b>	<b>10.2</b>	<b>1,467,334,030</b>	<b>10.5</b>
資 本 剰 余 金	11,991,000	0.1	11,991,000	0.1	11,991,000	0.1
利 益 剰 余 金	1,243,404,482	9.0	1,415,920,315	10.1	1,455,343,030	10.4
積 立 金	850,000,000	6.2	800,000,000	5.7	880,000,000	6.3
繰越利益剰余金	161,352,844	1.2	153,076,518	1.1	149,497,183	1.1
当年度純利益	132,051,638	0.9	232,843,797	1.7	225,845,847	1.6
その他未処分 利 益 剰 余 金	100,000,000	0.7	230,000,000	1.6	200,000,000	1.4
<b>貸 方 合 計</b>	<b>13,801,731,793</b>	<b>100.0</b>	<b>13,932,701,000</b>	<b>100.0</b>	<b>13,974,143,798</b>	<b>100.0</b>

(消費税抜き)

H 28 年 度		H 27 年 度		す う 勢 比 率				
金 額	構成比	金 額	構成比	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
円	%	円	%	%	%	%	%	%
5,748,521,736	41.2	5,915,263,079	42.6	84	89	93	97	100
3,388,441,856	24.3	3,576,549,038	25.7	79	84	90	95	100
2,445,609,882	17.5	2,580,581,992	18.6	74	82	89	95	100
147,734,882	1.1	156,498,954	1.1	90	94	94	94	100
28,854,000	0.2	15,517,000	0.1	343	289	252	186	100
766,243,092	5.5	823,951,092	5.9	86	87	89	93	100
631,025,913	4.5	591,266,598	4.3	105	105	107	107	100
174,972,110	1.2	167,844,092	1.2	116	113	109	104	100
15,242,325	0.1	16,360,513	0.1	109	102	97	93	100
372,043,114	2.7	344,200,708	2.5	99	100	107	108	100
37,633	0.0	27,080	0.0	198	223	351	139	100
68,730,731	0.5	62,834,205	0.5	106	115	105	109	100
0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	—
1,729,053,967	12.4	1,747,447,443	12.6	89	92	96	99	100
3,293,306,358	—	3,236,063,104	—	102	102	102	102	100
△1,564,252,391	—	△1,488,615,661	—	117	114	110	105	100
8,219,836,626	58.8	7,959,050,067	57.4	111	109	106	103	100
6,551,157,650	46.9	6,372,418,930	45.9	119	114	110	103	100
6,551,157,650	46.9	6,372,418,930	45.9	119	114	110	103	100
1,668,678,976	11.9	1,586,631,137	11.5	79	90	92	105	100
11,991,000	0.1	11,991,000	0.1	100	100	100	100	100
1,656,687,976	11.8	1,574,640,137	11.4	79	90	92	105	100
900,000,000	6.4	1,000,000,000	7.2	85	80	88	90	100
145,901,417	1.0	181,177,854	1.3	89	84	83	81	100
260,786,559	1.9	293,462,283	2.1	45	79	77	89	100
350,000,000	2.5	100,000,000	0.8	100	230	200	350	100
13,968,358,362	100.0	13,874,313,146	100.0	99	100	101	101	100

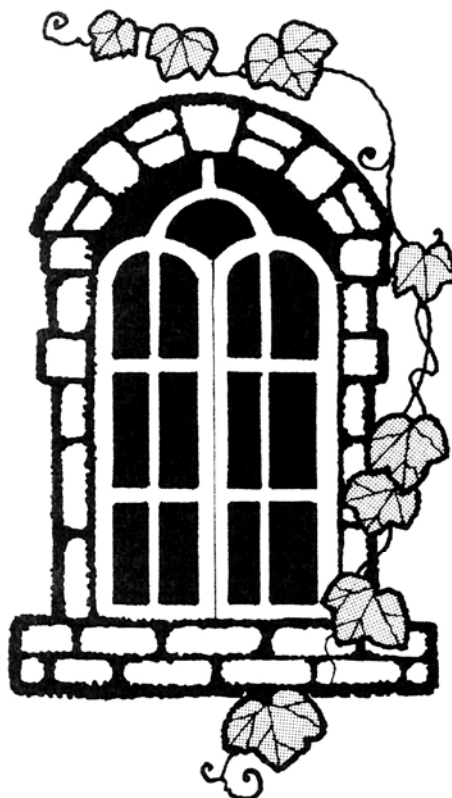
財務状況

## 5 企業債償還明細書

(単位：千円)

借入先	償還元金	償還利息等			償還元利合計	未償還残高
		利息	手数料	計		
財務省	109,860	30,032	0	30,032	139,892	1,403,438
地方公共団体金融機構	79,584	17,054	0	17,054	96,638	710,450
計	189,444	47,086	0	47,086	236,530	2,113,888

※企業債は、毎年9月、3月の2回において元利均等により償還しています。財務省の償還期間は30年、金融機構の償還期間は30年（20年度債までは、28年）となっており、利息分については借入の翌年より償還し、元金分については1～5年間据置後償還しています。



## 6 企業債利率別未償還残高

(単位：千円)

利 率 \ 借入先	財 務 省	地方公共団体金融機構	計
～1.0%未満	112,299	0	112,299
1.0%以上～2.0%未満	537,234	222,968	760,202
2.0%以上～3.0%未満	632,111	437,544	1,069,655
3.0%以上～4.0%未満	67,052	24,095	91,147
4.0%以上～5.0%未満	54,742	25,843	80,585
5.0%以上～	0	0	0
計	1,403,438	710,450	2,113,888

※令和元年度は借り入れをしておりません。

## 7 有形固定資産明細書

### (1) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	720,905,422	0	0	720,905,422
事務所用地	900,472	0	0	900,472
施設用地	720,004,950	0	0	720,004,950
建物	771,142,678	17,898,000	0	789,040,678
事務所用建物	343,285,489	0	0	343,285,489
施設用建物	330,546,189	17,898,000	0	348,444,189
その他建物	0	0	0	0
建物附属設備	97,311,000	0	0	97,311,000
構築物	15,346,686,197	330,328,070	174,778,875	15,502,235,392
導水設備	885,954,135	0	0	885,954,135
送配水設備	14,433,752,981	330,328,070	174,778,875	14,589,302,176
その他構築物	26,979,081	0	0	26,979,081
機械及び装置	1,783,206,177	854,000	0	1,784,060,177
電気設備	1,361,840,555	0	0	1,361,840,555
ポンプ設備	222,921,557	0	0	222,921,557
塩素滅菌設備	16,730,000	0	0	16,730,000
量水器	166,629,730	854,000	0	167,483,730
その他機械及び装置	15,084,335	0	0	15,084,335
車両運搬具	30,070,503	3,670,371	3,516,285	30,224,589
工具、器具及び備品	293,357,677	57,971,489	61,846,709	289,482,457
建設仮勘定	14,180,914	20,847,585	8,923,914	26,104,585
合計	18,959,549,568	431,569,515	249,065,783	19,142,053,300

### (2) 投資

種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
出資金	817,000	0	0	817,000

(単位：円・消費税抜き)

減価償却累計額			年度末償却未済高
増加額	減少額	累計	
0	0	0	720,905,422
0	0	0	900,472
0	0	0	720,004,950
13,229,720	0	261,931,048	527,109,630
5,376,433	0	135,696,831	207,588,658
7,853,287	0	33,788,767	314,655,422
0	0	0	0
0	0	92,445,450	4,865,550
311,749,556	131,187,375	7,625,799,681	7,876,435,711
8,864,254	0	718,179,510	167,774,625
302,358,307	131,187,375	6,885,269,123	7,704,033,053
526,995	0	22,351,048	4,628,033
58,691,715	0	849,510,400	934,549,777
44,381,354	0	668,976,611	692,863,944
11,779,110	0	71,402,052	151,519,505
1,429,200	0	12,587,600	4,142,400
1,102,051	0	82,214,020	85,269,710
0	0	14,330,117	754,218
547,512	3,340,473	23,070,125	7,154,464
33,721,646	46,816,559	131,574,661	157,907,796
0	0	0	26,104,585
417,940,149	181,344,407	8,891,885,915	10,250,167,385

財務状況

備考
地方公共団体金融機構出資金

## 8 経営分析

### (1) 収益分析

科目 款	営業収益				受取利息	加入金
	給水収益	受託工事収益	その他営業収益	計		
水道事業収益	2,069,906,484	4,522,700	62,768,103	2,137,197,287	2,452,042	84,650,000

### (2) 費用分析

科目 節	水道事業費用	構成比	配水費	給水費
給料	92,287,260	4.3	21,174,120	16,998,420
手当	52,977,627	2.4	12,771,735	9,835,172
報酬	8,177,218	0.4	0	3,397,926
法定福利費	30,635,077	1.4	6,937,752	6,026,923
賞与引当金繰入額	16,307,372	0.7	3,828,529	2,894,073
退職給付費	15,621,143	0.7	0	0
小計	216,005,697	9.9	44,712,136	39,152,514
修繕費	23,083,088	1.0	10,921,340	152,048
材料費	1,165,039	0.1	516,915	648,124
負担金	3,661,358	0.2	0	0
受水費	952,629,400	43.7	952,629,400	0
動力費	38,149,375	1.7	38,149,375	0
薬品費	87,000	0.0	87,000	0
委託料	282,685,497	13.0	97,688,602	63,224,570
工事請負費	27,652,000	1.3	18,514,000	8,720,000
路面復旧費	6,542,000	0.3	299,000	6,243,000
備用品費	3,859,083	0.2	146,291	1,922,115
貸倒引当金繰入額	1,023,427	0.0	0	0
特別修繕引当金繰入額	15,517,000	0.7	15,517,000	0
その他	26,538,534	1.2	3,688,941	171,937
減価償却費	417,940,149	19.2	0	0
資産減耗費	117,039,462	5.4	0	0
支払利息及び 企業債取扱諸費	47,085,468	2.1	0	0
雑支出	1,065,962	0.0	0	0
小計	1,965,723,842	90.1	1,138,157,864	81,081,794
合計	2,181,729,539	100.0	1,182,870,000	120,234,308



(単位：円・消費税抜き)

営業外収益				特別利益			合計
他会計負担金	長期前受金戻入	雑収益	計	固定資産売却益	その他特別利益	計	
1,008,000	83,553,139	4,920,709	176,583,890	0	0	0	2,313,781,177

(単位：円・消費税抜き)

受託工事費	業務費	総係費	その他費用
6,096,900	20,876,220	27,141,600	0
3,744,531	9,838,966	16,787,223	0
0	0	4,779,292	0
2,034,827	6,495,717	9,139,858	0
1,077,869	3,381,108	5,125,793	0
0	0	15,621,143	0
12,954,127	40,592,011	78,594,909	0
0	10,168,940	1,840,760	0
0	0	0	0
0	3,069,819	591,539	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	107,871,936	13,900,389	0
418,000	0	0	0
0	0	0	0
0	853,393	937,284	0
0	0	1,023,427	0
0	0	0	0
29,200	12,525,343	10,123,113	0
0	0	0	417,940,149
0	0	0	117,039,462
0	0	0	47,085,468
0	0	0	1,065,962
447,200	134,489,431	28,416,512	583,131,041
13,401,327	175,081,442	107,011,421	583,131,041

### (3) 経営分析表

項目	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	公 式
自己資本構成比率 (%)	75.1	73.8	72.4	71.2	70.0	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
固定資産対長期資本比率 (%)	77.8	77.4	76.6	75.7	76.4	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$
固定資産構成比率 (%)	74.3	74.0	73.1	72.3	73.1	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$
固定負債構成比率 (%)	20.4	21.7	23.1	24.3	25.8	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
流動比率 (%)	573.1	581.8	595.1	613.1	630.8	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
総収益対総費用比率 (%)	106.1	111.1	110.8	112.4	113.9	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
営業収益対営業費用比率 (%)	100.2	105.7	107.2	108.7	109.5	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
企業債償還元金対減価償却比率 (%)	56.7	58.6	55.4	54.2	53.0	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$
企業債償還元金対給水収益比率 (%)	9.2	8.7	8.3	7.8	7.5	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$
企業債利息対給水収益比率 (%)	2.3	2.5	2.6	2.8	3.0	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$
企業債元利償還元金対給水収益比率 (%)	11.4	11.2	11.0	10.6	10.5	$\frac{\text{企業債元利償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$
職員給与費対給水収益比率 (%)	9.8	9.2	9.0	9.0	9.4	$\frac{\text{職員給与費 (受託工事費の給与を除く)}}{\text{給水収益}} \times 100$
現金比率 (%)	533.5	545.9	543.2	500.0	538.6	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
固定資産回転率 (回)	0.21	0.21	0.21	0.22	0.22	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \times 1/2}$
経営資本営業利益率 (%)	0.0	0.8	1.1	1.3	1.4	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本 (総資産 - 繰延収益 - 投資その他の資産 + 繰延資産)}} \times 100$

算式 (R元年度)	経営分析表の説明
$\frac{10,365,001,253}{13,801,731,793} \times 100$	わが国の水道事業は、起債（借入金）によって施設を建設し、料金収入によって償還するという経営のたてまえからこの比率は低いが、あまり低すぎると、水道料金を算出する場合に借入金の元金償還金と支払利息のために水道料金が高くなる。
$\frac{10,250,984,385}{13,182,149,447} \times 100$	これは、固定資産に対する調達原資の適合関係を判断するために用いられ、この比率が100%以上になれば、固定資産の調達原資の一部が短期資産で賄われていることになり、運転資金の不足に苦しめられていることとなる。
$\frac{10,250,984,385}{13,801,731,793} \times 100$	総資産中に固定資産がどれ位占めているかを表す比率であり、一般に設備投資型企業の場合には、この比率が100%近くにも達する。
$\frac{2,817,148,194}{13,801,731,793} \times 100$	この比率は、自己資本構成比率と対応をなすものである。企業の経営状態をみるとき、自己資本構成比率が低く、固定負債構成比率が高ければ、その企業は常に負債の返済に追われ、又、金利負担により企業経営悪化の原因ともなる。
$\frac{3,550,747,408}{619,582,346} \times 100$	この比率は、短期債務に対して、これに応ずるべき流動資産が十分にあるかどうかその割合を明らかにするための比率であって、この比率が高ければ高いほど短期債務の支払いに十分な流動資産を有している。
$\frac{2,313,781,177}{2,181,729,539} \times 100$	この比率が100%以下であることは収支が均衡しておらず赤字であることを示す。
$\frac{2,137,197,287}{2,133,578,109} \times 100$	この比率は営業活動による収益と費用の比で狭義の収益率を示す。この比率が100%以下であれば、経営活動における収支の均衡が計られていないことになる。
$\frac{189,444,080}{334,387,010} \times 100$	固定資産に対する投資は、減価償却費で回収されるものであるということから、この比率が100%以下であれば、100%を下回る額だけ内部資金が留保されたことになり、企業債元利償還金が資金不足の原因とされることはない。
$\frac{189,444,080}{2,069,906,484} \times 100$	企業債償還能力を示すものである。この比率が小さいほど企業債への依存度が小さく経営は安定している。
$\frac{47,085,468}{2,069,906,484} \times 100$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{236,529,548}{2,069,906,484} \times 100$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{202,091,570}{2,069,906,484} \times 100$	この比率が高ければ高いほど、固定費がかさみ、財政硬直化の原因となり経営悪化を意味する。
$\frac{3,305,479,980}{619,582,346} \times 100$	この比率は、企業の支払能力を測定するために用いられるもので、100%以上であることが望ましい。これは、現金が流動負債を弁済してもなお、その企業の支払能力に余力のあることを示すからである。
$\frac{2,132,674,587}{10,278,030,390}$	この比率が高ければ、固定資産が有効利用されていることを示し、低いことは固定資産が営業収益に比べ過大であること、すなわち固定資産への過大投資を意味するものである。
$\frac{3,619,178}{13,774,810,208} \times 100$	投下資本に対する利益の割合を示したもので、一般的には預金金利と比較する。

項 目	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	公 式
経営資本回転数(回)	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$
営業利益対営業収益率(%)	0.2	5.4	6.7	8.0	8.7	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$

#### (4) 業務分析表

項 目	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	公 式
負 荷 率 (%)	91.6	90.9	92.1	89.5	90.4	$\frac{\text{一日平均配水量 (m}^3\text{)}}{\text{一日最大配水量 (m}^3\text{)}} \times 100$
施設利用率 (%)	56.2	59.1	58.5	58.8	59.1	$\frac{\text{一日平均配水量 (m}^3\text{)}}{\text{一日配水能力 (m}^3\text{)}} \times 100$
最大稼働率 (%)	61.3	65.1	63.6	65.7	65.4	$\frac{\text{一日最大配水量 (m}^3\text{)}}{\text{一日配水能力 (m}^3\text{)}} \times 100$
配水管使用効率	51.5	54.2	53.6	54.0	54.5	$\frac{\text{年間総配水量 (m}^3\text{)}}{\text{導送配水管延長 (m)}}$
有 収 率 (%)	96.8	93.0	94.8	95.5	95.2	$\frac{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{年間総配水量 (m}^3\text{)}} \times 100$
固定資産使用効率	12.8	13.4	13.4	13.6	13.7	$\frac{\text{年間総配水量 (m}^3\text{)}}{\text{有形固定資産 (万円)}}$
供給単価(円)	158.71	159.47	158.85	159.62	159.83	$\frac{\text{水道料金 (円)}}{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}$
給水原価(円)	163.53	156.45	154.01	152.58	152.93	$\frac{\text{経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)} - \text{長期前受金戻入 (円)}}{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}$
職員一人当り 有形固定資産 (万円)	42,709	46,838	46,429	43,906	39,014	$\frac{\text{有形固定資産 (万円)}}{\text{全職員数 (人)}}$
職員一人当り 給水人口 (人)	5,472	6,040	6,080	5,833	5,147	$\frac{\text{給水人口 (人)}}{\text{損益勘定職員 (人)}}$
職員一人当り 有収水量 (m <sup>3</sup> )	579,477	642,462	648,364	624,410	549,501	$\frac{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{損益勘定職員 (人)}}$
職員一人当り 営業収益 (千円)	96,940	107,879	108,330	104,950	92,819	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益 (千円)}}{\text{損益勘定職員 (人)}}$

算式 (R元年度)	経営分析表の説明
$\frac{2,137,197,287}{13,774,810,208}$	投下資本の回収速度を示したもので、水道事業では、0.2回以上（5年に1回計資本が回収される）が好ましい。
$\frac{3,619,178}{2,137,197,287} \times 100$	この比率は営業利益の状況を示す比率であり、経営資本営業利益率を高めるためにはこの比率を高める必要がある。

$\frac{35,974}{39,260} \times 100$	負荷率が100%近くになると、ピーク（需要期）とオフ・ピーク（非需要期）の差が縮まっていることを意味し、施設が1年を通じ、平均的に稼働していることを意味している。
$\frac{35,974}{64,000} \times 100$	この比率が高くなれば、施設の効率的な利用を意味し、低ければ施設が遊休していることとなる。
$\frac{39,260}{64,000} \times 100$	最大稼働率が100%を超えれば、配水能力が最大配水量に不足することを意味し、逆の場合には、配水能力に余裕がある。この比率が100%に近づいてきた場合には、数年後の予測最大配水量をもとにして、配水能力を増大するために、拡張改良計画が必要である。
$\frac{13,166,336}{255,782}$	物質的投下資本（配水管）が配水量にどれだけ貢献したのか投資効率を示す。
$\frac{12,748,491}{13,166,336} \times 100$	水道料金徴収の対象となる水量（有収水量）が総配水量に占める比率
$\frac{13,166,336}{1,025,017}$	固定資産に投下された資本の投資効率を示す。
$\frac{2,023,275,270}{12,748,491}$	有収水量1 m <sup>3</sup> あたりの水道料金収入
$\frac{2,084,775,073}{12,748,491}$	有収水量1 m <sup>3</sup> あたりの給水コスト
$\frac{1,025,017}{24}$	事業の規模に対する職員数の適否を検討することになり、労働生産性の良否を示す。
$\frac{120,390}{22}$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{12,748,491}{22}$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{2,132,675}{22}$	上記比率と同じ意味をもつ。

## 9 費用構成表

年度 科目		R 元 年 度		H 30 年 度		H 29 年 度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
		千円	%	千円	%	千円	%
職 員 給 与 費	1. 給 料	92,287	4.2	85,710	4.1	84,132	4.1
	2. 手 当	52,978	2.4	53,833	2.5	50,178	2.4
	3. 報 酬	8,177	0.4	8,139	0.4	11,230	0.5
	4. 法定福利費	30,635	1.4	28,591	1.4	29,121	1.4
	5. 賞与引当金繰入額	16,308	0.8	15,164	0.7	14,364	0.7
	6. 退職給付費	15,621	0.7	15,930	0.8	14,203	0.7
	小 計	216,006	9.9	207,367	9.9	203,228	9.8
	7. 受 水 費	952,629	43.7	991,429	47.2	1,014,429	48.7
	8. 動 力 費	38,149	1.7	40,438	1.9	39,503	1.9
	9. 薬 品 費	87	0.0	145	0.0	145	0.0
	10. 修 繕 費	23,083	1.1	18,818	0.9	19,448	0.9
	11. 材 料 費	1,165	0.0	901	0.0	434	0.0
	12. 委 託 料	282,686	13.0	280,324	13.4	277,971	13.4
	13. 路面復旧費	6,542	0.3	10,087	0.5	14,701	0.7
	14. 工事請負費	27,652	1.3	28,048	1.3	15,487	0.7
	15. 減価償却費	417,940	19.1	385,479	18.4	387,869	18.6
	16. 資産減耗費	117,040	5.4	33,100	1.6	536	0.0
	17. 負担金補助金	3,661	0.2	4,260	0.2	4,338	0.2
	18. 材料売却原価	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	19. 支払利息及び 企業債取扱諸費	47,086	2.2	51,613	2.5	55,795	2.7
	20. 雑 支 出	1,066	0.0	686	0.0	1,660	0.1
	21. そ の 他	46,938	2.1	46,525	2.2	46,310	2.3
合 計		2,181,730	100.0	2,099,220	100.0	2,081,854	100.0

(消費税抜き)

H 28 年 度		H 27 年 度		す う 勢 比 率				
金 額	構成比	金 額	構成比	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
千円	%	千円	%	%	%	%	%	%
87,104	4.1	96,883	4.6	95	88	87	90	100
54,301	2.6	61,085	2.9	87	88	82	89	100
10,500	0.5	8,117	0.4	101	100	138	129	100
29,944	1.4	31,906	1.5	96	90	91	94	100
14,493	0.7	14,992	0.7	109	101	96	97	100
11,716	0.6	4,939	0.2	316	323	288	237	100
208,058	9.9	217,922	10.3	99	95	93	95	100
1,020,698	48.6	1,030,410	48.8	92	96	98	99	100
36,271	1.7	39,862	1.9	96	101	99	91	100
110	0.0	110	0.0	79	132	132	100	100
15,994	0.8	17,447	0.8	132	108	111	92	100
568	0.0	1,645	0.1	71	55	26	35	100
265,865	12.7	245,336	11.6	115	114	113	108	100
13,607	0.7	15,391	0.7	43	66	96	88	100
38,801	1.8	41,115	2.0	67	68	38	94	100
387,060	18.4	384,573	18.2	109	100	101	101	100
4,778	0.2	2,065	0.1	5668	1603	26	231	100
4,627	0.2	2,326	0.1	157	183	187	199	100
0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	—
59,790	2.8	63,657	3.0	74	81	88	94	100
1,502	0.1	6,400	0.3	17	11	26	23	100
44,640	2.1	45,224	2.1	104	103	102	99	100
2,102,369	100.0	2,113,483	100.0	103	99	99	99	100

財務状況

## 10 水道料金原価表（受託工事費を除く）

年 度	R 元 年 度			H 30 年 度			H 29 年 度				
	有収水量 (m <sup>3</sup> )			12, 748, 491			12, 849, 241			12, 967, 276	
費 目	金額	割合	原価	金額	割合	原価	金額	割合	原価		
	千円	%	円	千円	%	円	千円	%	円		
人 件 費	203,052	9.7	15.93	194,394	9.7	15.13	190,870	9.6	14.72		
受 水 費	952,629	45.7	74.73	991,429	49.3	77.16	1,014,429	50.8	78.23		
動 力 費	38,149	1.8	2.99	40,438	2.0	3.15	39,503	2.0	3.05		
委 託 料	282,686	13.6	22.17	280,324	14.0	21.81	277,971	13.9	21.44		
修 繕 費	38,600	1.8	3.03	34,261	1.7	2.67	34,965	1.7	2.70		
材 料 費	1,165	0.1	0.09	901	0.0	0.07	434	0.0	0.03		
諸 経 費	69,982	3.4	5.49	72,859	3.6	5.67	67,026	3.4	5.16		
減 価 償 却 費 等	451,427	21.6	35.41	344,012	17.1	26.77	316,138	15.8	24.38		
支 払 利 息	47,085	2.3	3.69	51,613	2.6	4.02	55,795	2.8	4.30		
損 益 勘 定 合 計	2,084,775	100.0	163.53	2,010,231	100.0	156.45	1,997,131	100.0	154.01		
料金以外の収支差益	193,551		15.18	193,951		15.09	163,178		12.58		



(消費税抜き)

H 28 年 度			H 27 年 度		
13,112,613			13,188,024		
金額	割合	原価	金額	割合	原価
千円	%	円	千円	%	円
194,028	9.7	14.80	203,457	10.1	15.43
1,020,698	51.0	77.84	1,030,410	51.1	78.13
36,271	1.8	2.77	39,862	2.0	3.02
265,697	13.3	20.26	245,336	12.1	18.60
31,466	1.6	2.40	32,964	1.6	2.50
568	0.0	0.04	1,645	0.1	0.13
77,522	3.9	5.91	91,566	4.6	6.94
314,647	15.7	24.00	307,900	15.3	23.35
59,790	3.0	4.56	63,657	3.1	4.83
2,000,687	100.0	152.58	2,016,797	100.0	152.93
168,373		12.84	202,382		15.35

## 11 東部大阪各市決算比較表

(施設及び業務量)

市名 項目	単位	大東市	東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市
現在給水人口	人	120,367	487,383	399,933	266,398	231,189	143,785
給水戸数	戸	57,227	263,973	174,169	130,735	110,299	72,855
配水能力	m <sup>3</sup> /日	64,000	281,080	206,800	153,000	129,000	65,200
年間総配水量	m <sup>3</sup>	13,166,336	55,856,050	45,194,481	30,932,990	23,917,422	16,712,190
自己水	m <sup>3</sup>	0	523,100	38,516,000	0	0	15,985,718
受水	m <sup>3</sup>	13,166,336	55,332,950	6,678,481	30,932,990	23,917,422	726,472
企業団水	m <sup>3</sup>	12,982,156	52,645,820	6,650,440	30,932,990	23,917,422	726,472
その他	m <sup>3</sup>	184,180	2,687,130	28,041	0	0	0
年間総有収水量	m <sup>3</sup>	12,748,491	52,854,503	41,745,634	29,219,674	23,152,781	15,334,763
有収率	%	96.8	94.6	92.4	94.5	96.8	91.8
一日最大配水量	m <sup>3</sup>	39,260	165,620	133,500	92,585	72,207	48,520
一日平均配水量	m <sup>3</sup>	35,974	152,612	123,482	84,516	65,348	45,662
家庭用10m <sup>3</sup> 当り金額	円	1,042	992	990	1,034	1,060	1,098
損益勘定職員 (管理者含む)	人	26	140	79	76	37	36
資本勘定職員	人	2	20	34	12	7	7
職員数合計	人	28	160	113	88	44	43

(収益的収支)

総収益	千円	2,313,781	9,175,431	6,574,294	5,705,491	3,815,667	2,576,751
総費用	千円	2,181,729	8,699,072	5,204,645	5,129,351	3,607,980	2,675,567
単年度損益	千円	132,052	476,359	1,369,649	576,140	207,687	△ 98,816
累積損益	千円	393,404	1,719,390	1,569,649	1,119,401	3,188,198	2,139,402

(資本的収支)

資本的収入	千円	28,017	1,945,137	2,010,368	410,153	609,932	525,695
資本的支出	千円	651,350	3,667,990	5,369,550	2,443,268	1,523,184	1,492,551
差引不足額	千円	623,333	1,722,853	3,359,182	2,033,115	913,252	966,856
補てん財源不足	千円	0	0	0	0	0	0

門真市	交野市	四條畷市	大東市=100 とした比較							
			東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市	門真市	交野市	四條畷市
121,321	77,553	55,637	405	332	221	192	119	101	64	46
62,792	29,339	24,642	461	304	228	193	127	110	51	43
72,000	38,500	18,750	439	323	239	202	102	113	60	29
13,531,160	7,465,656	5,898,243	424	343	235	182	127	103	57	45
0	5,240,901	102,647	—	—	—	—	—	—	—	—
13,531,160	2,224,755	5,795,596	420	51	235	182	6	103	17	44
13,531,160	2,215,350	5,766,421	406	51	238	184	6	104	17	44
0	9,405	29,175	1,459	15	0	0	0	0	5	16
13,021,186	7,391,753	5,583,289	415	327	229	182	120	102	58	44
96.2	99.0	94.7	98	95	98	100	95	99	102	98
41,990	22,750	18,251	422	340	236	184	124	107	58	46
36,970	20,398	16,115	424	343	235	182	127	103	57	45
1,082	1,196	1,130	95	95	99	102	105	104	115	108
22	20	16	538	304	292	142	138	85	77	62
8	7	3	1,000	1,700	600	350	350	400	350	150
30	27	19	571	404	314	157	154	107	96	68

(消費税抜き)

2,663,395	1,352,018	1,159,730	397	284	247	165	111	115	58	50
2,168,959	1,309,043	1,068,887	399	239	235	165	123	99	60	49
494,436	42,975	90,843	361	1,037	436	157	(75)	374	33	69
985,981	2,403,863	373,368	437	399	285	810	544	251	611	95

(消費税込み)

200,562	891,941	302,571	6,943	7,176	1,464	2,177	1,876	716	3,184	1,080
1,084,155	1,410,611	610,393	563	824	375	234	229	166	217	94
883,593	518,670	307,822	276	539	326	147	155	142	83	49
0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—

## (業務分析)

項目	市名						
	単位	大東市	東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市
負荷率	%	91.6	92.2	92.5	91.3	90.5	94.1
施設利用率	%	56.2	54.3	59.7	55.2	50.7	70.0
最大稼働率	%	61.3	58.9	64.6	60.5	56.0	74.4
配水管使用効率	m <sup>3</sup> /m	51.5	53.7	38.5	41.7	38.4	53.2
固定資産使用効率	m <sup>3</sup> /万円	12.8	15.1	6.9	10.9	15.5	9.4
供給単価	円	162.4	155.9	136.1	169.4	151.7	154.1
給水原価	円	163.5	160.1	111.6	162.3	151.9	150.5
※1 職員一人当り 有形固定資産	千円	366,077	233,259	581,686	323,597	349,672	414,052
※2 職員一人当り 給水人口	人	4,630	3,506	5,062	3,505	6,248	3,994
※2 職員一人当り 有収水量	m <sup>3</sup>	490,327	380,248	528,426	384,469	625,751	425,966
※2 職員一人当り 営業収益	千円	82,026	62,581	72,434	67,582	98,442	67,564

※1 職員とは、管理者・再任用短時間勤務職員・任期付短時間勤務職員を除く全職員

※2 職員とは、管理者・再任用短時間勤務職員・任期付短時間勤務職員を除く損益勘定職員

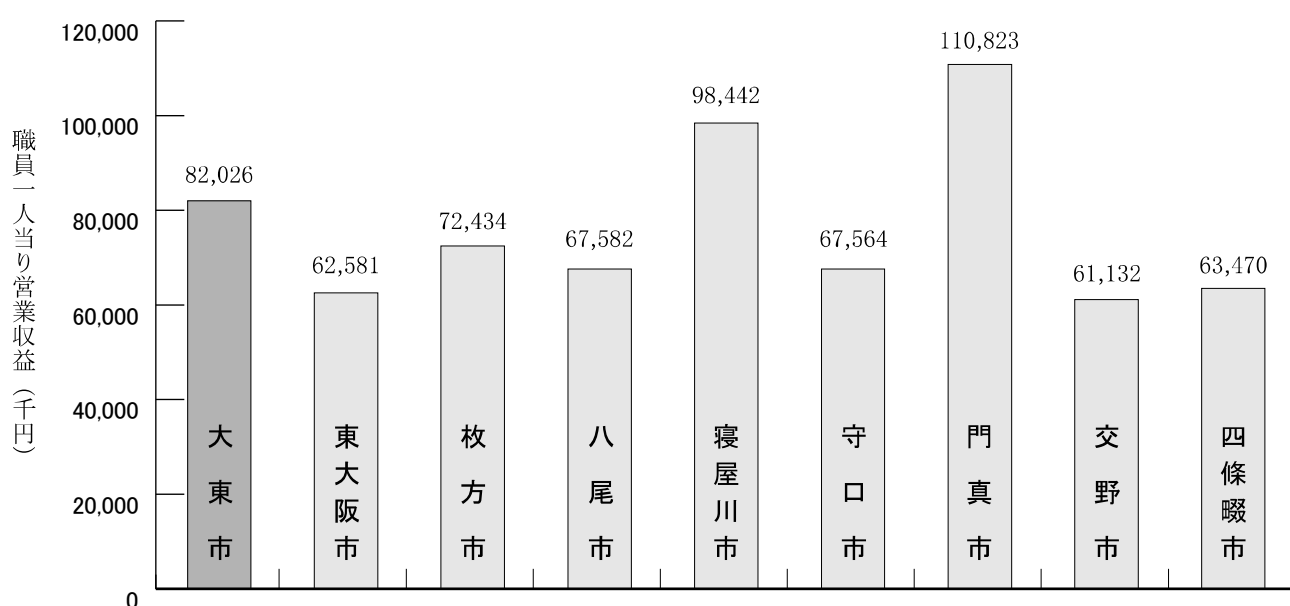
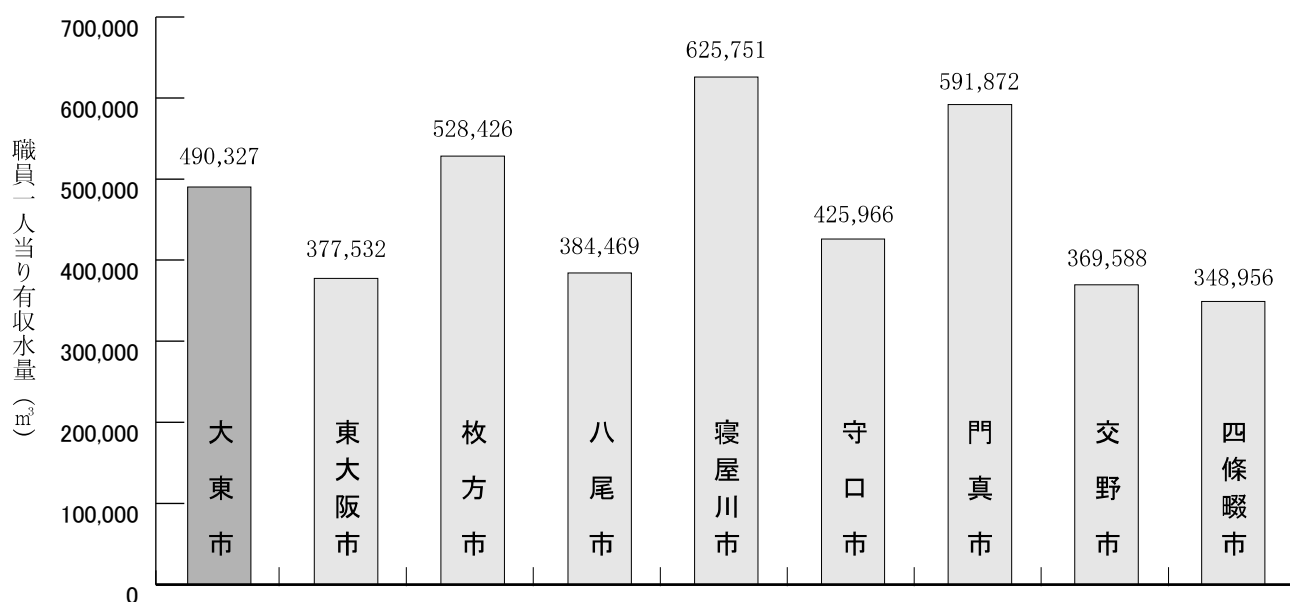
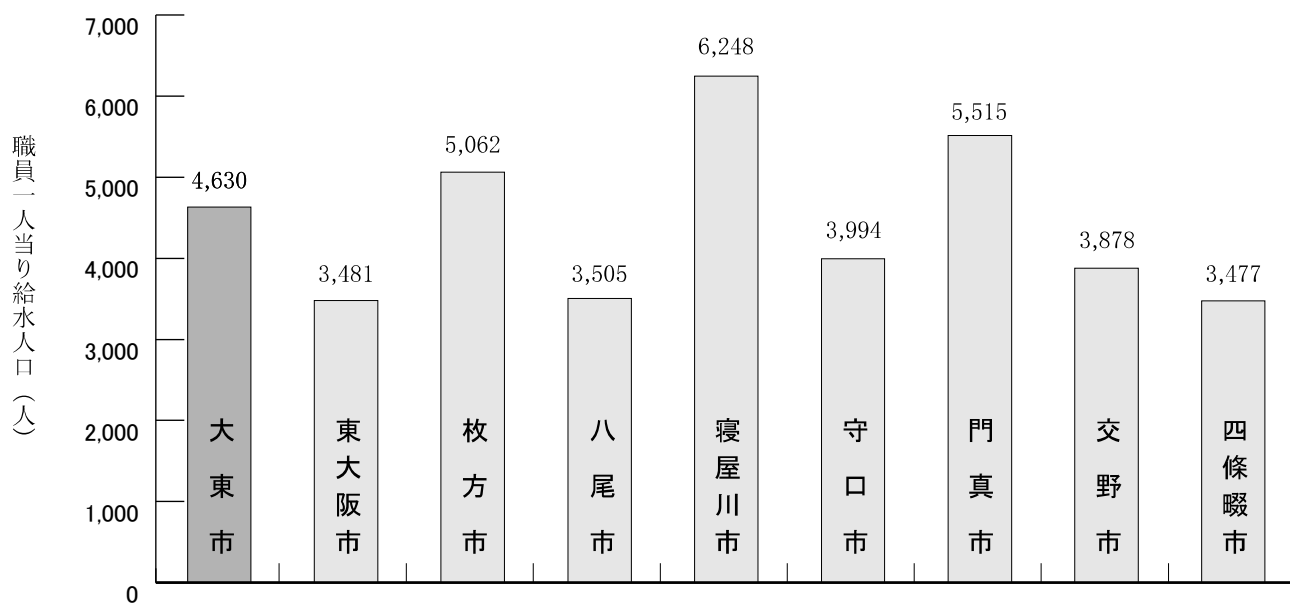
## (経営分析)

固定資産構成比率	%	74.3	83.0	89.8	84.4	68.4	89.0
固定負債構成比率	%	20.4	39.9	25.3	37.6	42.5	47.6
固定資産対長期 資本比率	%	77.8	89.6	93.6	89.6	134.7	95.2
自己資本構成比率	%	75.1	52.8	70.7	56.7	50.8	45.9
流動比率	%	573.1	231.4	252.2	270.9	470.8	168.7
営業収支比率	%	100.6	104.1	118.7	111.2	107.4	112.9
企業債償還元金 対料金収入比率	%	9.2	11.9	29.6	18.7	14.3	34.2
企業債元利償還金 対料金収入比率	%	11.4	15.4	35.1	23.0	18.7	42.1
現金預金比率	%	533.5	277.4	229.5	215.9	231.0	143.5
固定資産回転率	回	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1
職員給与費 対料金収入比率	%	9.4	14.6	10.4	10.6	9.9	15.6

門真市	交野市	四條畷市	大東市=100 とした比較							
			東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市	門真市	交野市	四條畷市
88.0	89.7	88.3	101	101	100	99	103	96	98	96
51.3	53.0	85.9	97	106	98	90	125	91	94	153
58.3	59.1	97.3	96	105	99	91	121	95	96	159
60.1	24.5	29.8	104	75	81	75	103	117	48	58
12.5	5.4	9.4	118	54	85	121	73	97	42	73
181.7	157.0	174.1	96	84	104	93	95	112	97	107
153.3	168.5	172.3	98	68	99	93	92	94	103	105
362,061	511,430	331,817	64	159	88	96	113	99	140	91
5,515	3,877	3,477	76	109	76	135	86	119	84	75
591,872	369,588	348,955	78	108	78	128	87	121	75	71
110,823	61,132	63,470	76	88	82	120	82	135	75	77

72.4	82.1	85.6	112	121	114	92	120	97	110	115
23.8	53.7	30.9	196	124	184	208	233	116	263	151
76.2	85.8	92.1	115	120	115	173	122	98	110	118
71.3	42.1	62.1	70	94	75	68	61	95	56	83
560.0	419.9	205.4	40	44	47	82	29	98	73	36
118.1	104.4	99.3	103	118	110	107	112	117	104	99
11.3	33.2	17.4	129	322	203	155	372	123	361	189
14.5	45.0	21.6	135	308	202	164	369	127	395	189
477.1	381.0	178.5	52	43	40	43	27	89	71	33
0.2	0.1	0.2	100	43	90	30	50	114	50	100
6.8	17.4	15.7	155	110	113	106	166	73	185	167

## 職員一人当り比較表（東部大阪各市）

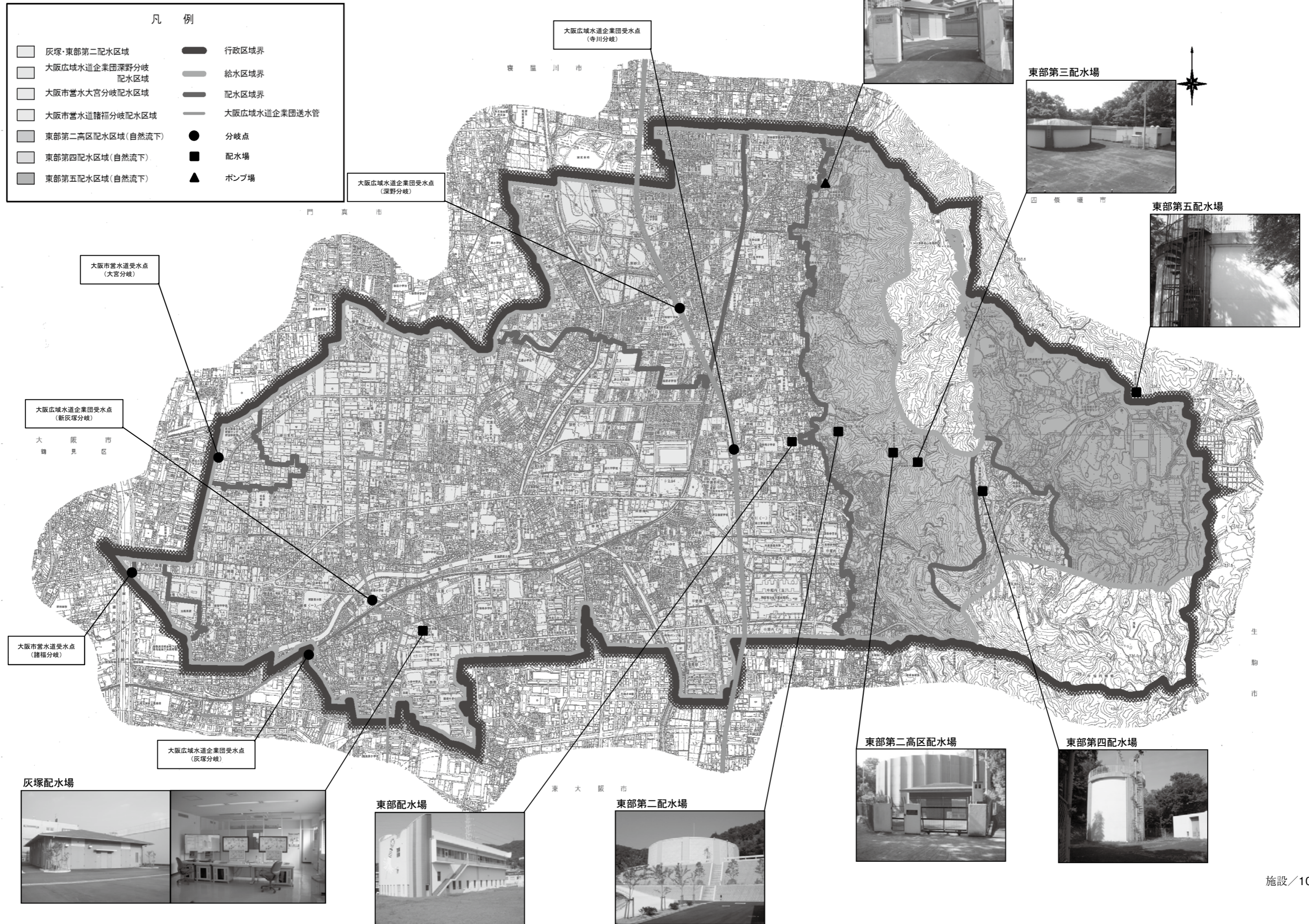


# Ⅶ 施 設

- 1 施 設 位 置 図
- 2 施 設 概 要
- 3 水 源 別 計 画 水 量 表
- 4 管 路 用 地 等

# VII 施設

## 1 施設位置図



施設



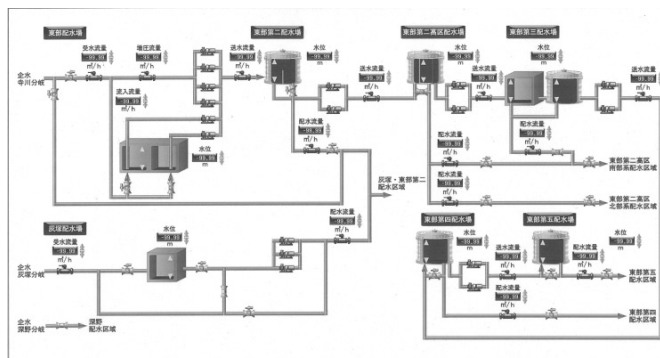
## 2 施設概要

### (1) 中央管理センター

灰塚配水場管理棟3階の中央管理センターにて、市内の全水道施設が集中管理されています。



設備全体フロー監視画面



機器構成	数量	概略仕様	設備年月日
大型監視表示装置	2台	52型液晶ディスプレイ自立型	H20.10.1
配水場用監視装置		システムLAN(ローカルエリアネットワーク)同軸CPU間リンク方式、相互バックアップ機能付	H20.10.1
灰塚用	1台	工業用PC 24インチ液晶モニター O Aデスク型	
東部用	1台	工業用PC 24インチ液晶モニター O Aデスク型	
プリンタ装置	2台	カラーレーザープリンター(LBP)	H20.10.1
情報処理装置		テレメーター装置 NTT専用回線 3.4KHz	H20.10.1
No. 1	1面	東部・東部第二・東部第二高区・東部第三配水場	
No. 2	1面	東部第四・東部第五配水場	
データロガー装置		プログラマブルロジックコントローラー(PLC)	H20.10.1
No. 1	1台	二重化	
No. 2	1台	二重化	
自所入出力装置	1面	プログラマブルロジックコントローラー(PLC) 灰塚場内通信用(光ファイバー線)	H20.10.1
配水場用ITV監視装置		NTT広域IP網 Bフレッツ 100Mbps 光回線	H20.10.1
東部用	1台	17インチ液晶モニター O Aデスク型 電動ドーム型 カメラ2台 赤外線センサー13対向	
東部第二用	1台	17インチ液晶モニター O Aデスク型 電動ドーム型 カメラ3台 赤外線センサー18対向	
中央分電盤	1面		H20.10.1
無停電電源装置	1台	10kVA	H20.10.1
リモート監視通信装置	1面	リモート監視センター通報用	H20.10.1
水質監視モニター監視装置	1台	DMT700形 17型液晶モニター LP-S5300	H30.3.31

## (2) 灰塚配水場



所在地 大東市灰塚四丁目1番1号  
 面積 10,707.29㎡ (管理棟 517.99㎡含む)  
 水源 企業団水 (灰塚分岐)  
 配水方式 ポンプ圧送式

### 配水ポンプ

配水ポンプ室	444.38㎡ 鉄筋コンクリート平屋建 1棟					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
両吸込 渦巻ポンプ変速	8.34m <sup>3</sup> /分	40m	250/150mm	75kW	3	H27.3.31
備考						

### 配水池

構造	巾	長さ	深さ	容量	池数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	24.3m	29.3m	6.4m	4,500 m <sup>3</sup>	1	S58.3.21
備考	水位計・投込型 (圧力式) H. W. L = T P + 8.7m    L. W. L = T P + 2.3m (4,500m <sup>3</sup> )					

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 LF130形 700m <sup>3</sup> /時	400mm	1	H25.4.30	企業団水 (受水)
電磁式	電磁流量計 FMR-404U形 2,000m <sup>3</sup> /時	400mm	1	H27.3.31	大東市 (配水)

### 電気設備

	内	容	設備年月日
屋内変電室	変圧器容量 (三相)	6,600/440V 500kVA	H27.3.31
	〃 (三相)	440/210V 30kVA	H27.3.31
	〃 (单相)	440/210-105V 30kVA	H27.3.31
備考			

### 緊急遮断弁

動作設定	動作開度	表示
震度3	動作なし	地震発生
震度4	20%	緊急遮断

### (3) 東 部 配 水 場



所在地 大東市野崎三丁目1番20号  
 面積 5,575.17㎡  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 H20.6より受水送水施設に変更

#### 管 理 棟

送水ポンプ室	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階（ポンプ井） 建築面積479㎡ 延べ床面積963.3㎡					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
増圧ポンプ	10.6m <sup>3</sup> /分	35m	300/200mm	90kW	4	H20.5.1
加圧ポンプ	10.5m <sup>3</sup> /分	62m	300/200mm	160kW	2	H20.5.1
備考						

#### 吊 揚 機

クレーン	型 式	台 数	設備年月日
	天井式ホイストクレーン 2.8ton	1	S51.7.1

#### 配 水 池

構 造	巾	長 さ	深 さ	容 量	池 数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	50m	29m	4.4m	5,800m <sup>3</sup>	1	S51.7.1
〃	58.3m	31.2m	4.4m	7,800m <sup>3</sup>	1	S53.9.18
備 考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 9.4m L. W. L = T P + 5.0m					

#### 吸 水 井

構 造	巾	長 さ	深 さ	容 量	池 数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	11.3m	14.8m	4.4m	700m <sup>3</sup>	2	S51.7.1
備 考	ポンプ室の地下					

#### 流 量 計

型 式	構 造	口 径	台 数	設備年月日	備 考
電 磁 式	電磁流量計 2,500m <sup>3</sup> /時	600mm	1	H25.5.29	企業団水 (受水)
	電磁流量計 FMR 204U形 3,000m <sup>3</sup> /時	400mm	1	H11.3.30	大東市 (受水)
	電磁流量計 FMR 204U形 3,000m <sup>3</sup> /時	400mm	1	H10.3.28	〃 (送水)
	電磁流量計 FMR 204AU形 3,000m <sup>3</sup> /時	400mm	1	H20.5.1	〃 (増圧流量)

#### 電 気 設 備

	内 容	設備年月日
屋 内 変 電 室	変圧器容量（三相） 6,600/440V 750kVA	H20.7.1
	〃（三相） 6,600/210V 30kVA	H20.7.1
	〃（単相） 6,600/105V 75kVA	H20.7.1
備 考		

#### (4) 東部第二配水場



所在地 大東市野崎三丁目11番12号  
 面積 5,567.72㎡  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 自然流下方式

#### 管 理 棟

送水ポンプ室	鉄筋コンクリート造 建築面積171.17㎡ 延床面積160.57㎡					
型 式	吐出量	全揚程	口 径	出 力	台 数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	3.0m <sup>3</sup> /分	110m	150/150mm	90kW	2	H29. 3. 28
備 考						

#### 配 水 池

構 造	直 径	深 さ	容 量	池 数	設備年月日
プレストレスト・ コンクリート造	32.2m	10m	8,000m <sup>3</sup>	1 (2槽)	H20. 5. 1
備 考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 58.50m      L. W. L = T P + 48.50m				

#### 流 量 計

型 式	構 造	口 径	台 数	設備年月日	備 考
電磁式	電磁流量計				(配 水)
	FMR 204A形	3,000m <sup>3</sup> /時	500mm	1	H20. 5. 1
超音波式	超音波流量計				(送 水)
	FUR-2S形	600m <sup>3</sup> /時	150mm	1	H20. 5. 1

#### 電 気 設 備

	内	容			設備年月日
屋 内 変 電 室	変圧器容量（三相）	6,600/440V	500kVA		H31. 3. 25
	〃 （三相）	440/210V	20kVA		H31. 3. 25
	〃 （単相）	440/210-105V	10kVA		H31. 3. 25
備 考					

#### 緊 急 遮 断 弁

動作設定	動作開度	表示
震度4	全閉	緊急遮断
270m <sup>3</sup> /h以上	全閉	緊急遮断

## (5) 東部第二高区配水場



所在地 大東市大字寺川714番地  
 面積 4,976㎡  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 自然流下方式

### 送水ポンプ

送水ポンプ室	48.4㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	1.0m <sup>3</sup> /分	42m	100mm	15kW	2	H29. 3. 28

### 配水池

構造	直径	深さ	容量	池数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	28.2m	10m	6,000m <sup>3</sup>	1	H 6. 3. 31
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 148.0m    L. W. L = T P + 138.0m				

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-8W形 600m <sup>3</sup> /時	250mm	1	H 6. 7. 1	(配水)
電磁式	電磁流量計 FMR-8W形 300m <sup>3</sup> /時	150mm	1	H 6. 7. 1	(配水)
電磁式	電磁流量計 FMR-7W形 180m <sup>3</sup> /時	80mm	1	H 6. 7. 1	(送水)

### 消毒設備

薬品	型式	出力	台数
次亜塩素酸ナトリウム	0~36ml/分 1.0MPa	0.1kW	2
備考	タンク容量 1000 P. E製 H24. 2. 21		

### 緊急遮断弁

	動作設定	動作開度	表示
北部	870m <sup>3</sup> /h以上	20%	緊急遮断
南部	310m <sup>3</sup> /h以上	20%	閉鎖中

## (6) 東部第三配水場



所在地 大東市野崎1127番地の2  
 面積 5,940㎡  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 自然流下方式（休止中）

### 送水ポンプ

送水ポンプ室	53.3㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	1.1m <sup>3</sup> /分	132m	80mm	45kW	2	H 8. 3. 27

### 配水池

構造	巾	長さ	深さ	容量	池数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	8.0m	12.5m	4.0m	400m <sup>3</sup>	1	S56. 11. 11
プレストレスト コンクリート造	内径14.0m		4.0m	600m <sup>3</sup>	1	S61. 3. 4
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 173.5m    L. W. L = T P + 169.5m					

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-6W形 300m <sup>3</sup> /時	100mm	1	S57. 2. 9	(配水) 休止中
電磁式	電磁流量計 FMR-6W形 180m <sup>3</sup> /時	80mm	1	S57. 2. 9	(送水)

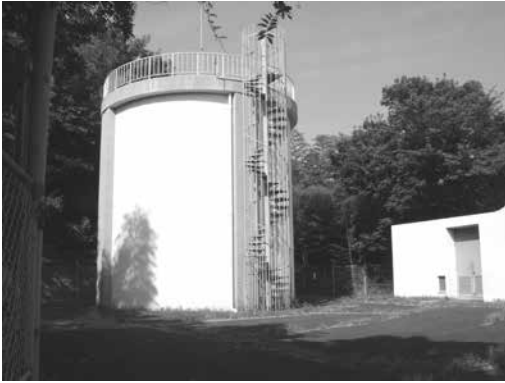
### 消毒設備

薬品	型式	出力	台数
次亜塩素酸ナトリウム	0~36m <sup>3</sup> /分 1.0MPa	0.1kW	2
備考	タンク容量 1000 P. E製 H23. 9. 17		

### 電気設備

内 容				設備年月日
屋外変電室	変圧器容量（三相）	6,600/220V	150kVA	H 8. 3. 15
	〃（单相）	6,600/110V	10kVA	H 8. 3. 15
備考				

## (7) 東部第四配水場



所在地	大東市大字龍間1535番地
面積	6,978.17㎡（進入道路382.80㎡含む）
水源	企業団水（寺川分岐）
配水方式	自然流下方式

### 送水ポンプ

送水ポンプ室	48.4㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	0.5m <sup>3</sup> /分	72m	80mm	15kW	2	H22. 3. 21

### 配水池

構造	直径	深さ	容量	池数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	8.0m	8.0m	400m <sup>3</sup>	1	S56.12.18
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 271.5m      L. W. L = T P + 263.5m				

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-6W形 160m <sup>3</sup> /時	80mm	1	S57. 2. 9	(配水)
電磁式	電磁流量計 FMR-6W形 180m <sup>3</sup> /時	80mm	1	S58. 3. 31	(送水)

### 消毒設備

薬品	型式	出力	台数
次亜塩素酸ナトリウム	0~36ml/分 1.0MPa	0.1kW	2
備考	タンク容量 1000 P. E製		H23. 9. 27

### 緊急遮断弁

動作設定	動作開度	表示
震度3	50%	地震発生
震度4	20%	緊急遮断
120m <sup>3</sup> /h以上	20%	緊急遮断

## (8) 東部第五配水場



所在地 四條畷市南野2130番地  
 面積 8,023m<sup>2</sup>  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 自然流下方式

### 配水池

構造	直径	深さ	容量	池数	設備年月日
プレストレストコンクリート造	11.7m	3.8m	400m <sup>3</sup>	1	S58. 3. 31
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 327. 2m      L. W. L = T P + 323. 4m				

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-6W形 160m <sup>3</sup> /時	80mm	1	S58. 3. 31	(配水)

### 緊急遮断弁

動作設定	動作開度	表示
震度3	50%	地震発生
震度4	20%	緊急遮断
120m <sup>3</sup> /h以上	20%	緊急遮断



### (9) 北条ポンプ場



所在地 大東市北条四丁目1837番の3  
 面積 240.77㎡  
 水源 灰塚・東部第二配水区域  
 配水方式 加圧ブースター方式

#### 配水ポンプ

配水ポンプ室	74.06㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	1.0m <sup>3</sup> /分	63m	100mm	18.5kW	3	H30. 5.31

#### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-404U形 150m <sup>3</sup> /時	150mm	1	H30. 5.31	(配水)

(10) 水質監視モニター



水質監視モニター

型式	所在地	通信網	設置場所	系 統	設備年月日
AN700A	三箇一丁目322番1号	光回線	三箇小学校内	東部第二配水系中間	H25. 3. 31
	新田中町6番	〃	新田中央公園内	東部第二配水系末端	H27. 3. 31
	〃	〃	〃	大阪市水系末端	〃
	野崎三丁目1番20号	〃	東部配水場内	東部系受水	H28. 3. 31
	大字龍間698番2号	ISDN	龍間児童遊園内	東部第四配水系末端	〃
	寺川五丁目576番	光回線	寺川第5児童遊園内	東部第二高区南部系末端	H29. 3. 31
	灰塚四丁目1番1号	LAN	灰塚配水場内	灰塚系受水	H30. 3. 31
	朋来2丁目161-37	光回線	朋来第1公園内	灰塚系末端	H31. 3. 31
	北条4丁目1837-3	〃	北条ポンプ場内	東部第二高区北部系末端	〃

## 設定値一覧

### 東部第二配水系中間・末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.4mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.3MPa
備考					

### 大阪市水系末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	0.6mg/ℓ	0.1mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.50	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.2MPa
備考					

### 東部系受水

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.4mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.2MPa
備考					

### 東部第四配水系末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.2mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.2MPa
備考					

### 灰塚系末端、東部第二高区北部系末端・南部系末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.3mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.3MPa
備考					

灰塚系受水

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.5mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
PH	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.3MPa
備考					

### 3 水源別計画水量表

配水場分岐名	区分	水源	計画最大給水量 (m <sup>3</sup> )	給水区分
灰塚配水場		企業団水道	62,000	平野地帯
東部配水場		〃		平野地帯
東部第二配水場		〃		山岳地帯
東部第二高区配水場		〃		山岳地帯
東部第三配水場		〃		〃
東部第四配水場		〃		〃
東部第五配水場		〃		〃
深野分岐		〃	2,000	新田地区
大宮分岐		大阪市営水道		諸福地区
諸福分岐		〃		
合計			64,000	

### 4 管路用地等

施設名	面積 (m <sup>2</sup> )	所在地	備考
管路用地等	4,076	大東市南郷町、太子田二丁目、新田西町、野崎四丁目、灰塚二丁目、氷野一丁目、深野五丁目、赤井三丁目、野崎二丁目、大字龍間	

# VIII 広 報

## 1 広報だいたう掲載記事

1 広報だいとう掲載記事

H31年 4 月

上下水道料金を納入通  
知書でお支払いの人へ

4月から、「payB（ペイビー）」  
で上下水道料金の支払いができるよう  
になりました。payBとは、事前に  
登録した預貯金口座から直接納付がで  
きるアプリ決済サービスです。納入通  
知書に印刷されているバーコードを、  
スマートフォンやタブレット端末のカ  
メラ機能で読み取ること、自宅など  
で支払いができます。詳しく  
はホームページをご覧ください。  
1193  
図上下水道局お客さまセンター ☎871・



H31年 6 月

6月1日～7日 水道週間  
スローガン「いつもの水に  
いつもの水に 日々感謝」

水道週間を機に、水道水を今一度見  
直してみませんか。

市の水道水は、安全でよりおいしい  
水「高度浄水処理水」です。毎年開催

している「利き水会」  
でも多くの人から  
「おいしい」という声  
をいただいています。  
懸賞作品を募集



〈作文の部〉水道に関する自由な作  
文。小学校低学年(800字程度)、小学校  
高学年(1200字程度)、中学生  
(1600字程度)  
〈図画の部〉小・中学生「水道に関す  
るもの」

〈習字の部〉小学校低学年「みず」、  
小学校高学年「水道週間」

〈標語の部〉「水道に関するもの」

■7月10日(当日消印有効)までに、  
〒102・0074 東京都千代田区九段  
南4・8・9 日本水道新聞社 水道週  
間懸賞募集係

図上下水道局総務課 ☎871・1193



上下水道局からのお知らせ

水道事業の業務状況

平成30年度は、前年度と比較して給水人口が800人減少する一方で、給水戸数は284戸増加し、年間総配水量は前年度と比較して約14万m<sup>3</sup>(1.0%)増加しました。

平成30年度の経営状況について、まず収入面では、給水収益は減少しましたが、加入金の増加などにより、収入合計23億3,206万円となり、前年度決算額に比べて2,436万円(1.1%)の増となりました。

支出面では、受水単価が下がったことにより受水費は減少しましたが、資産減耗費の増加により、支出合計20億9,922万円となり、前年度決算額に比べて1,737万円(0.8%)の増となりました。

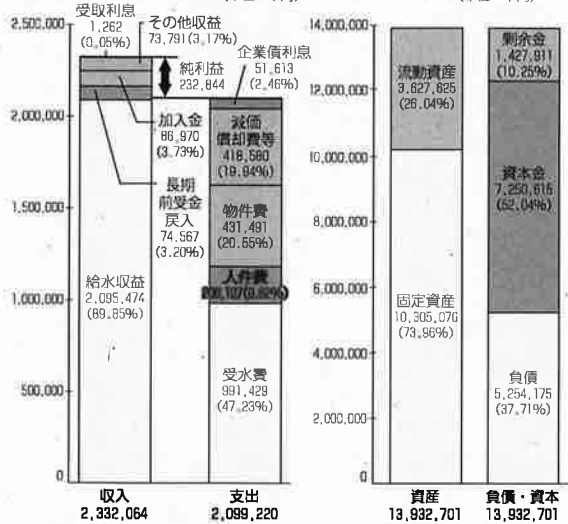
これにより、平成30年度決算は2億3,284万円の純利益を計上することとなりました。

建設改良事業については、平成30年度から新たに管路更新事業に取り組んでおり1,022本の更新を行いました。

今後も、より一層の効率化と経費節減などを図り、市民の皆さんへの安定給水の推進に努めてまいります。

損益計算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)  
(単位：千円)



収入計 2,332,064千円 - 支出計 2,099,220千円 = 純利益 232,844千円

水道事業業務表 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	平成30年度	前年度比
給水区域内総人口	120,799人	△800人
給水人口	120,791人	△800人
給水戸数	56,651戸	284戸
普及率	99.9%	—
年間総配水量	13,815,045m <sup>3</sup> (100%)	143,532m <sup>3</sup>
企業団水道受水分	13,636,850m <sup>3</sup> (98.7%)	61,349m <sup>3</sup>
大阪市営水道受水分	178,195m <sup>3</sup> (1.3%)	82,183m <sup>3</sup>

利き水会  
おいしくて安全!  
大阪の水道水

11月3日(祝)午前9時30分～午後3時  
(景品がなくなり次第終了)



大阪府総合文化センター前  
水道水と市販ミネラルウォーターの飲み比べ。参加者には抽選で景品あり

〒119-0191  
大阪府東淀川区  
上下水道局総務課 ☎ 871・1191



上下水道局からのお知らせ

令和元年度水道事業の上半期決算

令和元年度の上半期は、前年度と比較して給水人口が609人減少する一方で、給水戸数は414戸増加しました。

有収水量は6,427,070m<sup>3</sup>で前年度と比較して1.3% (86,623m<sup>3</sup>)減少しました。

用途別では前年度と比べて、一般家庭用で1.1% (58,732m<sup>3</sup>)、官公署・学校・病院用で6.4% (26,537m<sup>3</sup>)、浴場用で21.1% (3,471m<sup>3</sup>)、臨時用で10.0% (820m<sup>3</sup>)減少しましたが、事業用で0.5% (2,937m<sup>3</sup>)増加しました。

経営状況について、まず収入面では、有収水量の減少に伴い給水収益は減少しましたが、加入金が増加したことにより、収入合計は11億7,668万円となり、前年度に比べて686万円(0.6%)の減となりました。

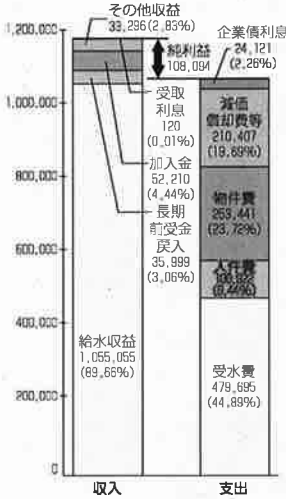
支出面では、受水費の減少などにより、支出合計は10億6,859万円となり、前年度決算額に比べて143万円(0.1%)の減となりました。

これにより、令和元年度上半期決算は1億809万円の純利益を計上することとなりました。

今後も、より一層の効率化と経費節減などを図り、市民の皆さんへの安定給水の推進に努めます。

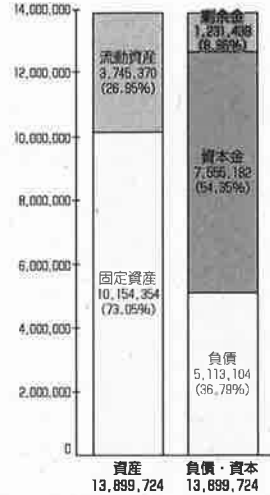
損益計算書

(平成31年4月1日～令和元年9月30日)  
(単位：千円)



貸借対照表

(令和元年9月30日)  
(単位：千円)



収入計 1,176,680千円 - 支出計 1,068,586千円 = 純利益 108,094千円

水道事業業務表 (平成31年4月1日～令和元年9月30日)

項目	令和元年度上半期	前年度比
給水区域内総人口	120,571人	△611人
給水人口	120,565人	△609人
給水戸数	56,901戸	414戸
普及率	99.9%	-
上半期総配水量	6,630,412m <sup>3</sup> (100.0%)	△334,629m <sup>3</sup>
企業団水道受水分	6,537,247m <sup>3</sup> (98.6%)	△335,713m <sup>3</sup>
大阪市営水道受水分	93,165m <sup>3</sup> (1.4%)	1,084m <sup>3</sup>





令和元年度版  
大東市水道事業概要

(限定160部)

発行 令和2年10月

編集 大東市上下水道局総務課

〒574-0043 大阪府大東市灰塚四丁目1番1号

電話……………072-871-1191

FAX……………072-871-1600

E-mail ………d\_suido@city.daito.lg.jp

